

FUNAI

地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

1010 シリーズ

取扱説明書

安全上のご注意	6
各部のはたらき	12
準備(接続とかんたん一括設定)	16
デジタル放送を見る	32
テレビを使いこなす	44
視聴予約する	53
お好みに合わせて設定する	59
録画する	88
お知らせ	105
さまざまな情報	108

型番

FL-40H1010
FL-32H1010
FL-24H1010



	ページ
安全上のご注意	
安全のために必ずお守りください	6
ご使用上のお願い	10
● 電波妨害について	10
● 搬送について	10
● 画面の残像について	10
● 動作時の本機の温度について	10
● 液晶パネルについて	10
● 本機の設置についてのお願い	11
● 転倒防止についてのお願い	11
各部のはたらき	
本機前面／側面／背面	12
リモコン	14
● ふだんよく使うボタン	14
● さらに便利に使いこなすボタン	15
準備 (接続とかんたん一括設定)	
テレビを見るまでの準備の流れ	16
準備 1 付属品の確認	17
準備 2 リモコンの準備	17
● 乾電池を入れる	17
準備 3 スタンドを取り付ける	18
準備 4 miniB-CASカードを入れる	19
● miniB-CASカードの入れかた	19
準備 5 アンテナをつなぐ	20
● UHFアンテナ	20
● BS・110度CSアンテナ	21
● レコーダーを通して接続するとき	22
● CATV(ケーブルテレビ)アンテナ	22
準備 5-1 他の機器とつなぐ	23
● ビデオまたはDVD プレーヤーとの接続	23
● HDMI機器との接続	24
準備 5-2 LAN端子につなぐ	26
● FTTH／CATV回線	27
● ADSL回線	27
準備 5-3 USB-HDD(外付け)をつなぐ	28
準備 6 電源を入れる	29
● 電源コードをつなぐ	29
● 電源を入れる	29
準備 7 かんたん一括設定をする	30
デジタル放送を見る	
デジタル放送を見る(地上・BS・110度CSデジタル) ...	32
データ放送を見る	33
他の機器の映像を見る(入力切替)	34
音声を切り換える	34
自動的に電源をオフにする(おやすみタイマー)	34

デジタル放送を見る

画面表示を表示する	35
字幕を出す	35
画面モードを選ぶ	36
番組表を見る	38
● 番組表を表示する／消す	38
● 番組表を使う	39
● 番組表の表示／受信について	40
見たい番組を探す (番組検索／ジャンル・出演者)	41
注目番組一覧を表示する	42
番組のくわしい情報 (番組内容) を見る	43
● 番組内容を表示する／消す	43
● 番組表や番組検索から表示するとき	43

テレビを使いこなす

メニュー機能の使いかた	44
● 基本的な使いかた	44
● 各項目で操作できる内容	45
チャンネル内の映像を切り換える (映像切換)	46
ヘッドホンの音量を調節する	46
画面を静止させる (静止画)	47
本機や放送局からのお知らせを読む	47
CSボードを読む (110度CSデジタル放送からのお知らせ)	48
miniB-CASカード情報を確認する	48
デジタル放送の受信状況を確認する (アンテナレベル)	49
HDMI-CEC機能を使う	50
● HDMI-CEC対応機器の操作のしかた	50
● HDMI-CEC対応AVアンプの音量を調節する	50
● 接続機器の電源をオフにする	51
● 接続機器に連動して本機の電源を入れる	51
● デジタル放送を今すぐ録る	51
● コンテンツ一覧を表示する	52

視聴予約する

視聴予約について	53
番組表や番組検索から予約する	54
時刻を指定して予約する (時刻指定予約)	55
予約を確認する／取り消す	57

お好みに合わせて設定する

画質設定をする	59
● 画質設定の表示のしかた	59
● 映像モードを切り換える	59
● 画質調整をする	60
● ノイズ低減を設定する	60
● さらに細かく画質設定をする (詳細調整)	61

お好みに合わせて設定する

音声設定をする	62
● 音声設定の表示のしかた	62
● 音声モードを切り換える	63
● 音質調整をする	63
● DTS TruSurround™を楽しむ	64
● ぴったり音量にする	64
● デジタル音声出力設定をする	64
● スピーカー出力を設定する	65
● ヘッドホンの出力設定をする (ヘッドホン出力)	65
省エネ設定をする	66
● 省エネ設定の表示のしかた	66
● 省エネ設定をする	66
制限設定をする	67
● 制限設定の表示のしかた	67
● 暗証番号を登録して視聴制限を設定する	67
接続機器設定をする	70
● 接続機器設定の表示のしかた	70
● HDMI-CECの設定をする	70
画面設定をする	71
● 画面設定の表示のしかた	71
● ビデオ画面自動切換の設定をする	71
放送受信設定をする	72
● かんたん一括設定で再設定する	72
● 地上デジタル放送のチャンネル設定をする	72
● 数字ボタンのチャンネルを追加・変更する	74
● チャンネルの飛び越し(スキップ)を設定する	75
● 受信状態の確認をする	75
● 文字スーパーを設定する	77
● 地域と郵便番号を設定する	78
● 番組表(Gガイド)の設定をする	79
その他の設定をする	80
● ネットワークの設定をする	80
● その他の設定の表示のしかた	80
● クイック起動を設定する	84
● 緊急警報放送の受信を設定する	84
● 放送波による自動更新設定をする	85
設定を初期化する	86
● 一部の設定を初期化する	86
● すべての設定を初期化する	86

録画する

USB-HDDについて	88
● USB-HDDとは?	88
● USB-HDDへの録画(録音)について	88
● USB-HDDをお使いになる前に	88
● 録画番組の構成について	89
● およその録画時間(目安)	89
● 録画の種類	89
● 同時操作	89
● 録画についての制限事項	90
● 予約についての制限事項	90
● 予約をしたときの本機の動き	90
● 予約が重なった場合	90
● 複数の録画予約の優先順位	90
● 録画予約が実行されない条件	90

録画する

USB-HDDを登録する／登録名を変更する	91
● USB-HDDを登録する	91
● USB-HDDの登録名を変更する	92
USB-HDDに録画する	93
● 今すぐ録画をする	93
● 番組表から一発予約で予約する	93
USB-HDDに録画予約をする	94
● 番組を録画予約する	94
● 時刻を指定して予約する（時刻指定予約）	96
● 予約を確認する／修正する／取り消す	97
USB-HDDに録画した番組を見る（再生する）	99
● 通常の再生	99
● いろいろな見かた	99
● 番組を保護する・保護を解除する	101
番組をムーブ（移動）する	101
● 番組をムーブ（移動）する	101
番組を消去する	102
● 番組を消去する	102
● 保護されていない番組を全消去する	103
USB-HDDを初期化する／番組を全消去する／登録を解除する ..	104
● USB-HDDを初期化する	104
● USB-HDDの登録を解除する	104

お知らせ

miniB-CASカードについて	105
デジタル放送について	105
スタンドの取りはずしかた	107

さまざまな情報

仕様	108
保証とアフターサービス	109
症状診断シート	110
困ったときは	111
● よくあるご質問	111
メッセージ表示一覧	116
お手入れのしかた	117
アイコン一覧	118
用語の説明	118
著作権などについて	120
さくいん	130
壁掛けユニット取り付け時について	131

安全のために必ずお守りください

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

■ 絵表示について

- この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの
 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの

● 絵表示の例

 ● 記号は必ず行っていただきたい行為を示しています。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)が描かれています。
 ⊘ 記号は禁止の行為であることを示しています。 図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
 △ 記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを示しています。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

● 絵表示の意味

- | | |
|--|---|
|  必ず指示に従い、行ってください。 |  必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 |
|  絶対に行わないでください。 |  絶対に分解／修理はしないでください。 |
|  絶対に触れないでください。 |  絶対に水場では使用しないでください。 |
|  絶対に濡らさないでください。 |  絶対に濡れた手で触れないでください。 |
|  注意してください。 |  高温に注意してください。 |
|  破裂に注意してください。 |  指をはさまないように注意してください。 |

家庭用品品質表示法に基づく表示

使用上のご注意

- 内部の温度が上昇しますので、設置の際は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
- 温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
- 感電の危険があるため、裏ぶたを開けないでください。
- ちり、ほこりを取るため内部を掃除するときは、販売店、電気店などにご相談ください。

表示者 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号 船井電機株式会社

※ この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

■ 眼精疲労について

- 長時間液晶テレビの映像を見続けると、目に疲労が蓄積されます。

■ 本液晶テレビの廃棄

- 事業者が廃棄する場合
本液晶テレビを廃棄するときには廃棄物管理票(マニフェスト)の発行が義務づけられています。くわしくは各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理票は、(社)全国産業廃棄物連合会に用意されています。
- 個人が廃棄する場合
本機を廃棄されるときは「すべての初期化」を行うことをおすすめします。くわしくは [P.86](#) をご覧ください。

■ ご注意

- 本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。
- ビデオの上に本機を直接置いた場合は、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、ビデオと本機を離してください。

警告

■ ご使用になるとき

	本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となるため注意してください。
	本機の上に水などの入った容器や金属物、ろうそくを置かない（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）
水漏れ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● こぼれて本機の内部に入った場合は、火災・感電の原因になります。
	本機を水でぬらさない
水濡れ禁止	水滴のかかる場所に置かない
	水場での使用禁止
<ul style="list-style-type: none"> ● 海岸・水場や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。 ● 風呂場では使用しないでください。 ● 内部に水が入ると火災・感電につながります。 	
	本機を改造または分解しない
改造・分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 裏ぶた、キャビネット、カバーははずさないでください。感電の原因になります。 ● 内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
	アンテナは送配電線から離れた場所に設置する
注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 倒れた場合は感電事故の原因になります。
	本製品にダストブレー（エアダスター）を使用しない
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品内部にガスが溜まった場合は、引火し爆発する恐れがあります。
	miniB-CASカードは乳幼児の手の届くところに放置しない
放置禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● miniB-CASカードを台紙から取り出したら、ただちにminiB-CASカード挿入口に挿し込んでください。 ● 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

■ 電池の取り扱い

	乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものを使用する
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。
	電池は乳幼児の手の届くところに置かない
注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

■ 電源コード・プラグの取り扱い

電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントを使用してください。
通電を遮断するには、電源プラグを抜いてください。

	本機を指定（表示）された電源電圧（交流100V）以外で使用しない
交流100V	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定（表示）以外で使用すると火災・感電・故障の原因になります。 ● 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。
	電源プラグのほこりなどはとる
ほこりをとる	<ul style="list-style-type: none"> ● 絶縁不良となり火災・感電の原因となります。 ● ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。
	雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグに触れない
接触禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 落雷すると感電することがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き挿ししたり、水や液体をかけたりしない
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 水は電気を通しますので感電の恐れがあります。 ● 必ずかわいた手で持ってください。
	電源コードを正しく使用する
禁止	<ul style="list-style-type: none"> - 束ねない - 延長・タコ足配線しない - 固定しない <ul style="list-style-type: none"> ● 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因になります。 ● タコ足配線すると発熱し火災・故障の原因になります。
	電源コードを傷つけない
禁止	<ul style="list-style-type: none"> - 破損させない - 引っぱらない - 切断しない - 曲げない - 加熱しない - 加工しない - ねじらない - 重いものをのせない <ul style="list-style-type: none"> ● そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源は、必要に応じてブレーカやヒューズを設置した専用回路からとる
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 発火の原因になります。
	電源プラグは確実に挿し込み、抜き挿しが弱くなったものは使用しない
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 不完全な挿し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因になります。 ● 時々点検をしてください。

安全のために必ずお守りください (つづき)

警告

■ 電源コード・プラグの取り扱い (つづき)

 禁止	本機の開口部 (通風孔など) から内部に金属類や燃えやすいものなどを挿し込まない
	● 火災・感電の原因になります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
 禁止	電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ (こたつの中やサウナなど) で使用しない
	● 感電・火災の原因になります。
 注意	電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手が届いたりするところに放置しない
	● 感電の原因になります。
 注意	電源コードを動かすと電源が入ったり、切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない
	● コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因になります。
 使用禁止	本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く
 プラグを抜く	
	● そのまま使うと火災・感電の原因になります。 お買い上げの販売店にご連絡ください。 ● 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 異常が発生したときは電源プラグを抜く

 使用禁止	本機や電源コードが異常なとき (煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする) は使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く
 プラグを抜く	
	● そのまま使うと火災・感電の原因になります。 お客様による修理は危険ですからお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
 使用禁止	本機を落としたり、キャビネットを破損したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜く
 プラグを抜く	
	● そのまま使うと火災・感電の原因になります。 お買い上げの販売店にご連絡ください。



注意



プラグを抜く

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。



注意



プラグを抜く

電源プラグやコードが傷んでいる場合 (刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など) は、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。

注意

■ 設置・移動のご注意



塩害注意

海水や塩害に注意

- 海辺にお住まいの方は窓からの海水や塩害に注意してください。



使用禁止

本機を車の中で使用しない
自動車内に放置しない

- 本機は車載用ではありません。
- 車載で使用した場合は、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因になります。
- 市販されている電源コンバーターなどや、お車に付いている AC コンセントを使って本機を使用しないでください。



設置禁止

本機を次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く
- 他のテレビの近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ

- 発熱による変形や火災・感電・故障の原因になります。



禁止

本機の上に乗ったり、ぶらさがったりしない

- バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない

- 故障の原因となることがあります。

	本機の通風孔をふさがない - 風通しの悪い狭い場所に置かない - じゅうたんや布団の上に置かない - テーブルクロスなどをかけない - 本機の設置は、上面 30 cm 以上、背面 20 cm 以上、左右 10 cm 以上の間隔をおく
	• 内部に熱がこもり火災の原因となります。
	本機をキャスター付きテレビ台に設置する場合には、キャスター止めをする
	• 動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	アンテナ工事は専門業者にお願いする
	• アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。
	安定した場所に設置する
	正しく設置する • 本機は安定した場所に設置してください。 転倒し、けがの原因となることがあります。

■ 電源コード・プラグの取り扱いの注意

	お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く
	プラグを抜く • 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜いておく
	プラグを抜く - 長時間外出するとき - 旅行をするとき • 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	本機を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や外部の接続線もはずす
	• そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。
	電源コードを引っ張らない
	• 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。 • 必ず電源プラグを持って抜いてください。
	電源コードを引き回さない
	• 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。 • コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。

	電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない
	• 発煙や発火の原因となります。
	電源コードを熱器具に近付けない
	• コードの被覆が溶けて火災／感電の原因となることがあります。

■ ご使用になる時のご注意

	年に一度を目安に本機内部の掃除を依頼する
	掃除 • 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。 • 内部の掃除やその費用については、お買い求めの販売店にご相談ください。
	液晶パネルの破損
	• 液晶パネルはガラスでできています。液晶パネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをする恐れがあります。

■ 電池の取り扱いについての注意

	乾電池は正しく挿入する
	正しく入れる • プラス (+) とマイナス (-) の向きを正しく入れる • 誤って挿入すると破裂・液漏れによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	指定されていない電池を使用しない
	使用禁止 • 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
	新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
	使用禁止 • 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
	乾電池の取り扱いに注意
	破裂注意 - ショートさせない - 分解・加熱をしない - 火の中に投入しない - 日光や火などの過度の熱にさらさない • 破裂する危険があります。

ご使用上のお願い

ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

電波妨害について

- 本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」や「パソコン」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。このときは機器に影響のないところまで本機から離してください。

搬送について

- 引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装シート・袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合は、液晶パネルのガラスが破損したり、輝点や黒点が増加したりすることがあります。

画面の残像について

- 静止画を長時間表示された場合や、画面モードを「ノーマル」で長時間ご使用された場合は、部分的に映像が消えない(残像)症状が発生することがありますが、これは故障ではありません。通常の動画放送をご覧いただくことにより、次第に目立たなくなります。

動作時の本機の温度について

- 本機や上面の一部は温度が高くなりますので、ご注意ください。品質・性能には問題ありません。

液晶パネルについて

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布でふきとってください。液晶パネルを素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合はすぐにふきとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。硬いもので液晶パネルの表面を押ししたり、ひっかいたりしないでください。

- 液晶パネルの輝点(点灯したままの点)や黒点(点灯しない点)は保証の対象とはなりません。
- お客様または第三者が本機の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機でお客様が設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、「すべての初期化」[P.86](#)により個人情報を消去されることをおすすめします。
- 受信異常により、本機の操作ができなくなった場合は電源プラグを抜き、しばらくしてから電源プラグを挿しなおしてみてください。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを楽しむことは、有料サービス契約上禁止されています。
- 付属のminiB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合はただちにB-CAS((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ)カスタマーセンター [P.105](#)へご連絡ください。なお、お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- 万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
- お客様がビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域(VHF:90~222MHz、UHF:470~770MHz、BS:1032MHz~1336MHz、CS:1595MHz~2071MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

衛星デジタル放送の場合、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。(降雨対応放送が行われている場合)降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

本機に付属しているminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください

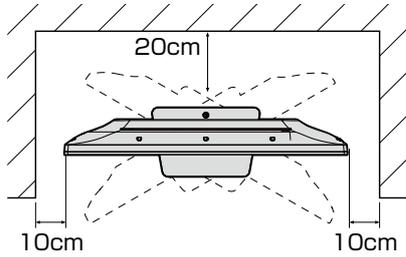
miniB-CASカード挿入口には、正規のminiB-CASカード以外のもので挿入すると本機が故障したり破損したりすることがあります。

電源プラグはコンセントから頻繁に抜かないことをおすすめします

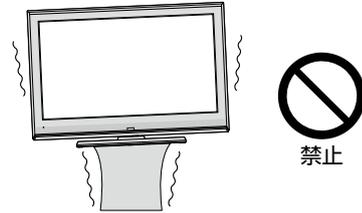
長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしないことをおすすめします。本機は電源「切」(待機)状態でも、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合があります。

● 本機の設置についてのお願い

- 最低限、下図のスペースを取ってください。



- 不安定な場所に置かないでください。
台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。



!お願い

- 傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置をさけてください。
- 本機の下へ物をはさまないでください。

● 転倒防止についてのお願い

!注意

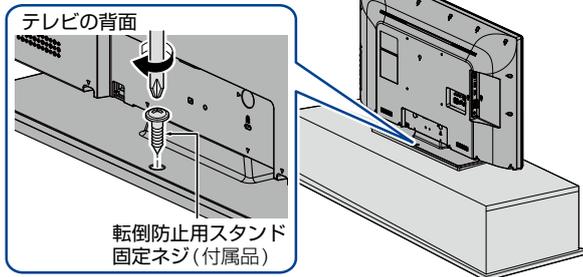
衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因になることがあります。ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら次の処置をお願いします。次の処置内容は、振動や衝撃での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するためのものです。すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

■ テレビ台や家具などへの固定

お使いのテレビ台や家具が木製の場合は、下図の通り、天板と本機のスタンド（1箇所）を転倒防止用スタンド固定ネジ（付属品）で固定させてください。

また、スチール製やガラス製など、テレビ台や家具に転倒防止用スタンド固定ネジ（付属品）で固定できないときや、強度が十分でないときは、お買い上げの販売店や工事店までご相談ください。

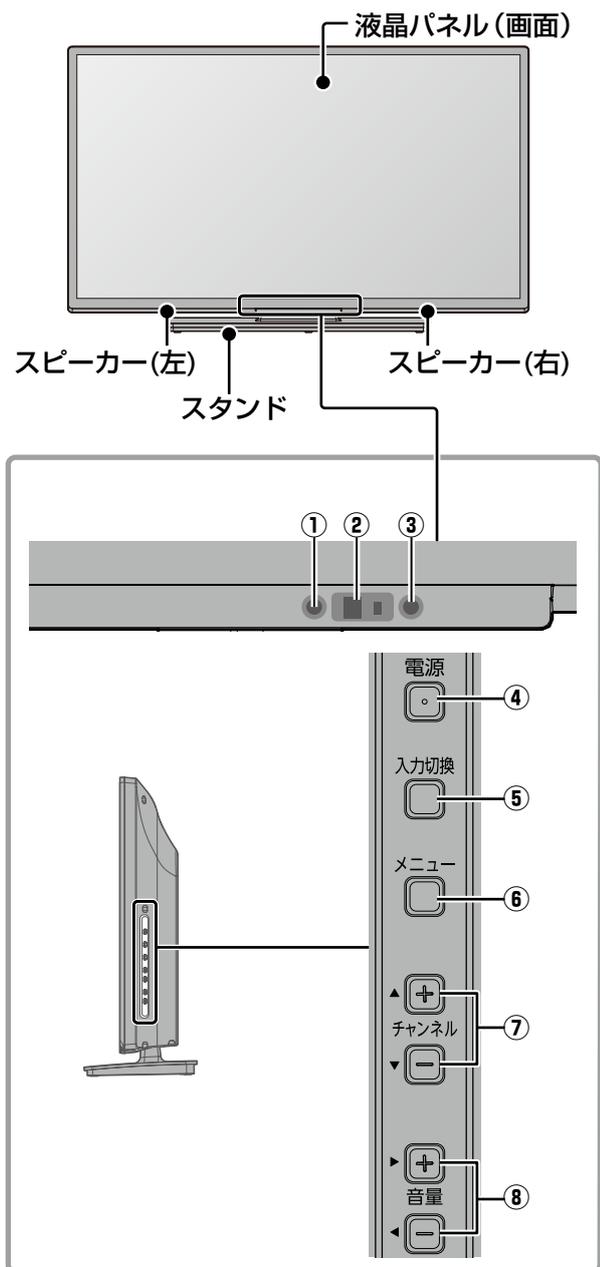
本機のスタンドの穴に
転倒防止用スタンド固定ネジ（付属品）
で固定してください。



!お願い

- 再び移動させるときは転倒防止用スタンド固定ネジ（付属品）をはずしてから行ってください。
- 転倒防止用スタンド固定ネジ（付属品）の取り付けは確実に行ってください。

本機前面／側面／背面



各部のはたらき

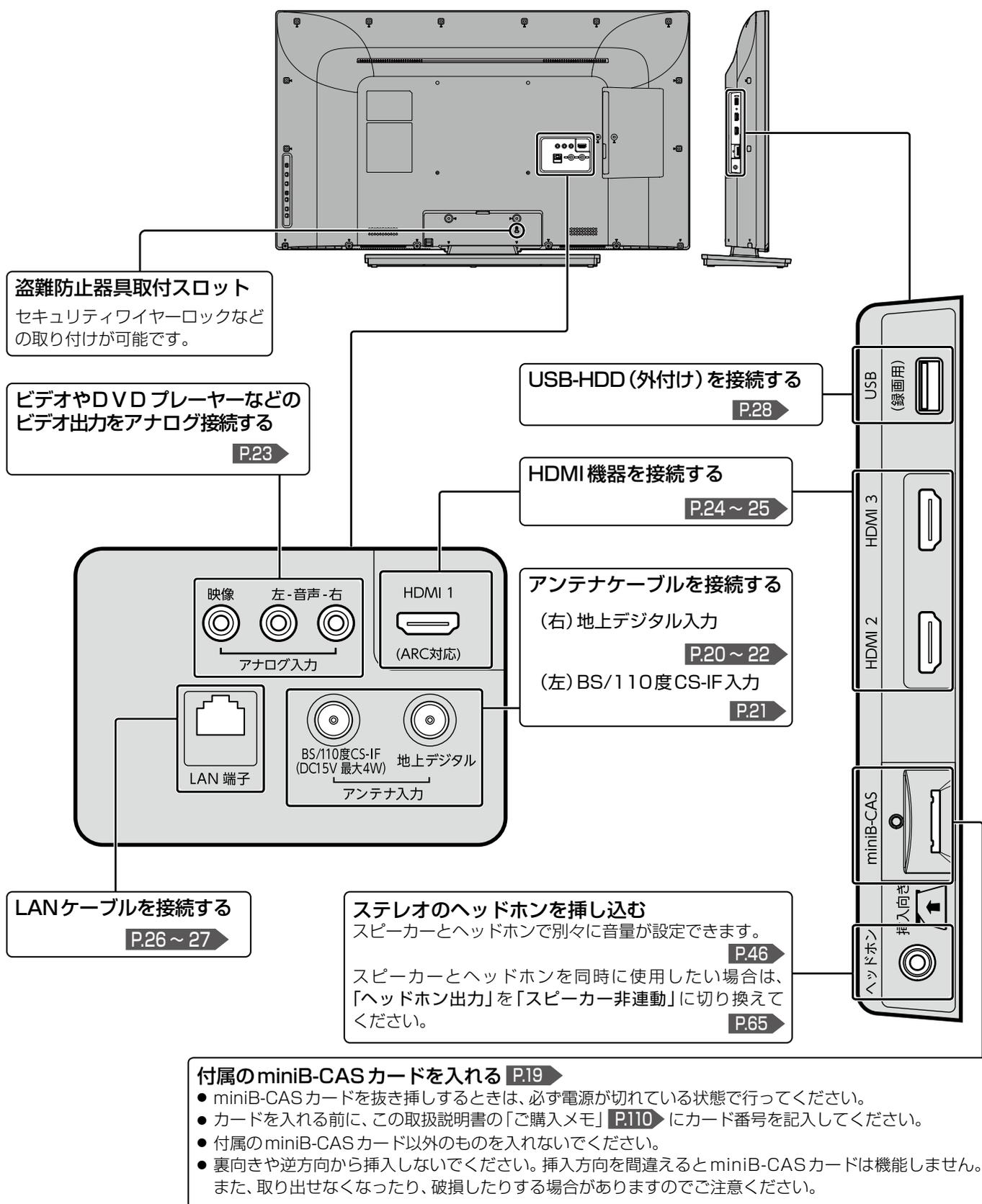
お知らせ

- 電源ボタンで「切」にすると待機状態になり、最小限のシステム機能およびデジタルチューナーなどの回路は通電しています。
- 本機は待機状態のときに、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、電源プラグをコンセントから抜かないことをおすすめします。
- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから電源プラグを挿しなおしてみてください。
- テレビ画面に向けて光線銃などを使い、画面を標的にするゲームでは、正しく動作しないことがあります。くわしくはゲームの取扱説明書をご覧ください。
- ビデオの特殊再生機能（早送り、一時停止など）を使うと映像が乱れることがあります。

- ① **電源LED P.32**
青点滅・・・リモコンまたは本機の電源ボタンで「入」にし、テレビが起動中の状態
青点灯・・・リモコンまたは本機の電源ボタンで「入」にし、テレビが通常動作している状態
- ② **リモコン受光部 P.14**
- ③ **機能LED P.90**
白点灯・・・予約があるとき、または録画中
- ④ **電源**
電源を「入」／「切」します。
- ⑤ **入力切換 P.34**
BDレコーダーなどを見るときに押します。
〈例：地上デジタル放送視聴時〉押すごとに、
地上→BS→CS→ビデオ→
HDMI1→HDMI2→HDMI3→地上・・・
の順に切り換わります。
メニュー画面表示中はリモコンの **決定** と同じはたらきをします。 **P.14**
- ⑥ **メニュー P.44～45**
メニュー画面を表示します。
- ⑦ **チャンネル+/- P.32**
チャンネルを切り換えます。視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換えます。
ビデオ入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。
メニュー画面表示中はリモコンの **▲** または **▼** と同じはたらきをします。 **P.44～45**
- ⑧ **音量+/- P.32**
音量を調節します。
メニュー画面表示中はリモコンの **◀** または **▶** と同じはたらきをします。 **P.44～45**

！お願い

- 接続は電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
映像…黄、音声-左…白、音声-右…赤
- プラグはしっかり挿し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 接続する機器が近すぎると、機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあるので、十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。



お知らせ

本書で使用している本機背面のイラストは、一部をのぞき「FL-40H1010」です。

リモコン

● ぶだんよく使うボタン

各部のはたらき

押すごとに、入力が切り換わる
〈例：地上デジタル放送視聴時〉
地上→BS→CS→ビデオ→HDMI1→
HDMI2→HDMI3→地上・・・
の順に切り換わります。 **P.34**

視聴している放送の種類の中で
チャンネルを順送り、または逆送り
で切り換える **P.32**
ビデオ入力などの映像を見ているときは、
最後に見ていた放送波を表示して、チャン
ネルを切り換えます。
視聴しないチャンネルをスキップする
ことができます。

放送波を切り換える **P.32**
地上 ……地上デジタル放送
BS ……BSデジタル放送
CS ……110度CSデジタル放送

番組表を表示する **P.38**

選択や決定などをする

1つ前の画面に戻る

テレビ放送に連動したデータ放送
画面を表示する **P.33**

番組を録画する **P.93**

電源を「入」/「切」する **P.32**

数字ボタン **P.32**
チャンネルを直接選んだり、数字を入力
したりします。

音量を調節する **P.32**

音を一時的に消す **P.50**
もう一度押すと元の音量に戻ります。

メニューの操作を始めるときと
終わるときに押す **P.44**

番組表、録画一覧の表示中やデータ
放送などで、画面に色ボタンの表示
があるときに使用する **P.33**
画面によって機能が変わるので、画面下部
の説明に従って操作してください。

！お願い

- ボタンを押すときは、真上から力を入
れすぎないように押してください。
- リモコンは精密機器です。丁寧に扱っ
てください。

リモコンの取り扱い

落としたり、衝撃を
与えたりしない。



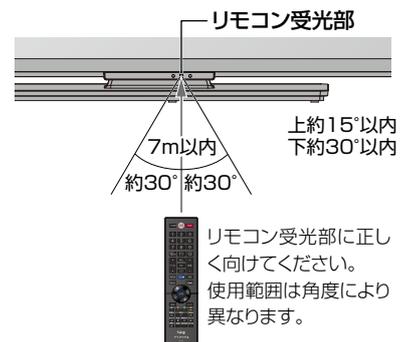
水をかけたり、ぬれたもの
の上に置いたりしない。



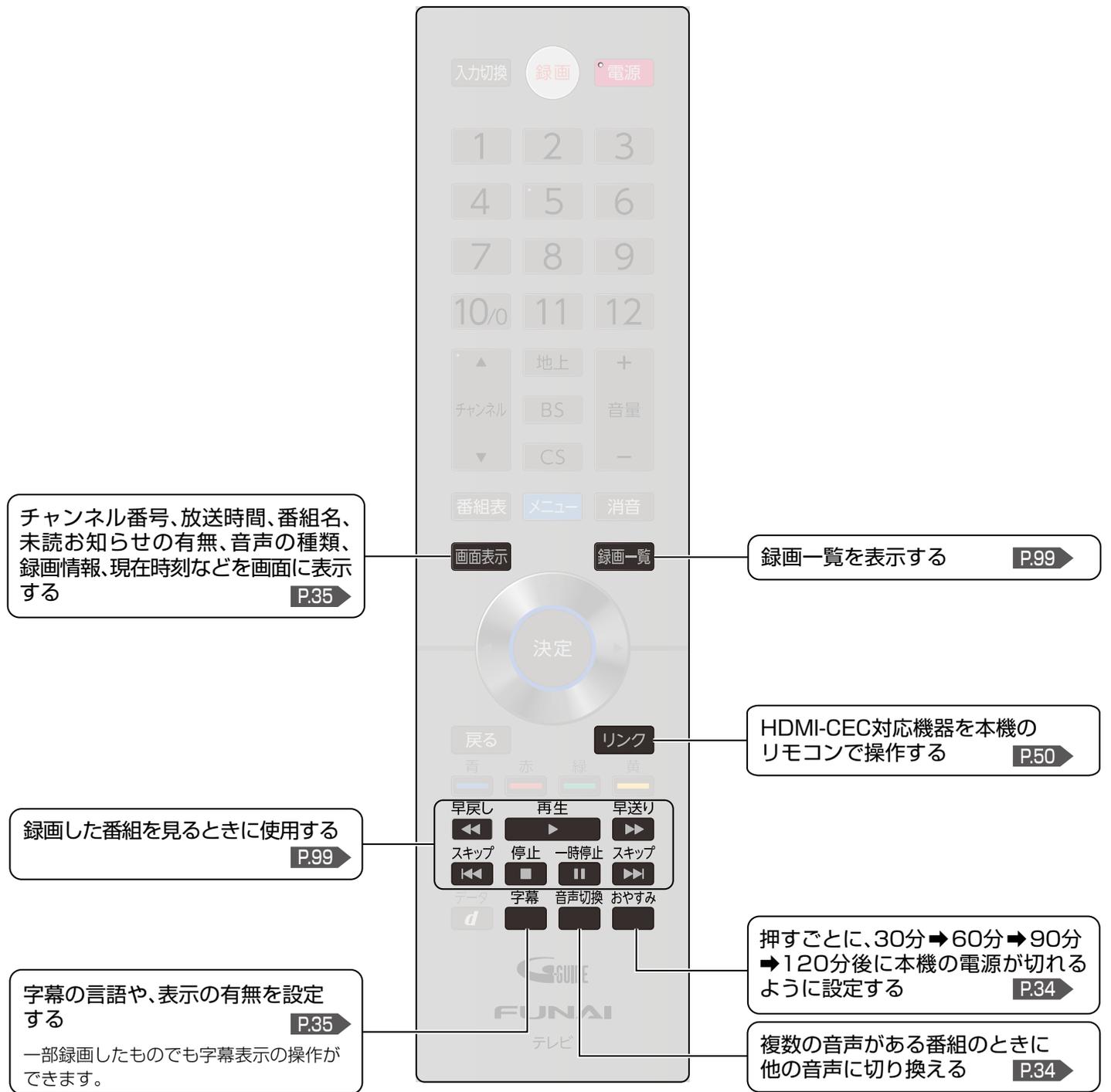
ベンジン、シンナーなど揮発
性の高い液体でふかない。



リモコンの使用範囲



● さらに便利に使いこなすボタン



テレビを見るまでの準備の流れ

準備 1

付属品の確認



P.17

準備 2

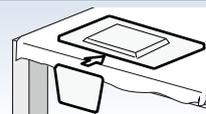
リモコンの準備



P.17

準備 3

スタンドを取り付ける



P.18

準備 4

miniB-CASカードを入れる

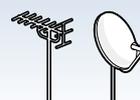
デジタル放送を視聴するために必要です。



P.19

準備 5

アンテナをつなぐ



P.20

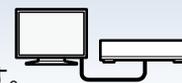
必要により

必ず行う

準備 5-1

他の機器とつなぐ

お手持ちの録画・再生機器を利用できます。

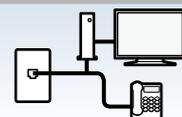


P.23

準備 5-2

LAN端子につなぐ

ブロードバンド回線経由で、
一層充実したデータ放送が楽しめます。

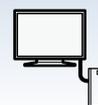


P.26

準備 5-3

USB-HDD(外付け)をつなぐ

USB-HDD(市販品)をつなぐと、録画時間を
より増やすことができます。



P.28

準備 6

電源を入れる



P.29

準備 7

「かんたん一括設定」をする

テレビを見るための基本的な設定がかんたんにできます。



P.30

準備(接続とかんたん一括設定)

準備 1

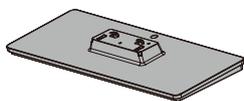
付属品の確認



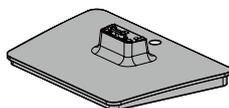
※最初に本機と付属品のスタンドをスタンド取付ネジで確実に取り付けてください。
本機とスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因になります。また、テレビ台や床などが傷つくことがあります。
取り付け方法は、「スタンドを取り付ける」 P.18 または付属品の「はじめるガイド」をご覧ください。

スタンド…1台

FL-40H1010



FL-32H1010 / FL-24H1010



スタンド取付ネジ……………3本



FL-40H1010 … M4 × 20 mm

FL-32H1010 … 4 × 14 mm

FL-24H1010 … 4 × 14 mm

リモコン…1台

型番: FRM-104TV

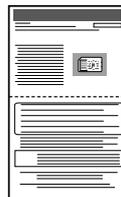


単4形乾電池…2本

(リモコン動作確認用)



miniB-CASカード…1枚

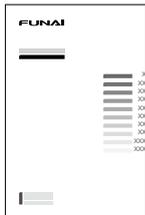


miniB-CASカード

挿入口のふた…1個



取扱説明書(本書)…1冊



はじめるガイド…1枚



保証書…1枚



ふた専用ネジ…1本

(3 × 10 mm)



転倒防止用スタンド固定ネジ…1本

(3.5 × 20mm)



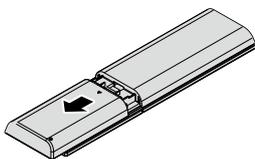
B-CASカードのご利用方法…1部

準備 2

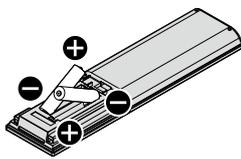
リモコンの準備

乾電池を入れる

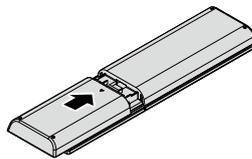
1 裏ぶたをはずす



2 \oplus \ominus をよく確かめて
 \ominus 側から正しく入れる



3 裏ぶたをつける



警告

乾電池および乾電池の入ったリモコンは、直射日光の当たるところや熱器具、直火のそばなど温度が上がるところに置かない。

注意

乾電池は \ominus 側から入れる

お知らせ

- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。
- 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単4形乾電池(1.5 V 2本)をお使いください。
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 乾電池ご使用の際は、新しい乾電池と古い乾電池や異なる種類の乾電池(アルカリ乾電池とマンガン乾電池など)を混ぜず、同一メーカー・同一型番のものを同時にご使用ください。違う乾電池を混ぜると、それぞれの乾電池の性能が違うため、発熱、破裂、発火の原因につながりますのでご注意ください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。

アルカリ乾電池ご使用の注意

アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆(外枠の被覆がはがれている場合)に同時に接触した場合は、乾電池そのものがショート(短絡)状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。

準備3 スタンドを取り付ける

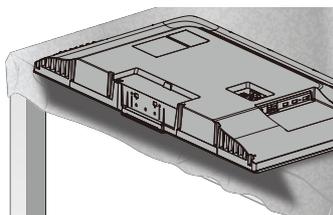
お買い上げ時、スタンドは取りはずされている状態です。
本機にスタンドを取り付ける際には、スタンドの前後が正しい方向に合うように注意してください。
くわしくは付属品の『はじめるガイド』をご覧ください。

注意

本機にスタンドを取り付け
ないと製品が転倒し、けが
の原因になったり、テレビ
台や床などが傷ついたりす
ることがあります。

1 液晶パネル面を下にして、柔らかい布を敷いた平らなテーブルの上に置く

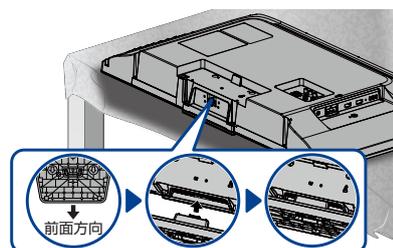
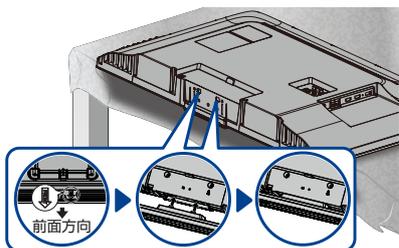
- 画面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- テーブルは必ず安定した場所に置いてください。
- テーブルは必ず本機の重さに耐えることができ、本機より大きいものを使用してください。



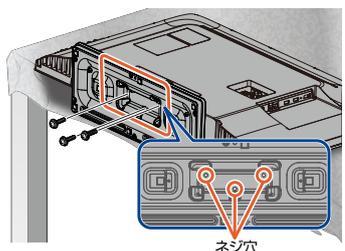
FL-40H1010

FL-32H1010 / FL-24H1010

2 スタンドを本機にゆっくりと、完全に挿入する



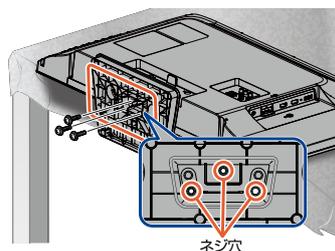
3 スタンド取付ネジ (M4 × 20 mm、または4 × 14 mm) を3箇所のネジ穴に、プラスドライバーでしっかりと締める スタンドにがたつきがないかを確認する



お願い

ネジはまっすぐ締めて
ください。

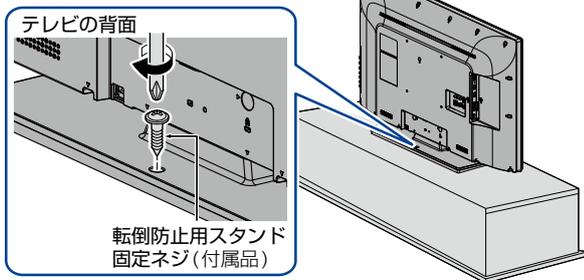
- ネジ山が破損する恐れがあります。



4 本機を持ち上げ、テレビ台などに設置する プラスドライバーと転倒防止用スタンド固定ネジ (付属品) を使って、本機をテレビ台や家具などに取り付ける

- お使いのテレビ台や家具が木製の場合は、下図の通り、天板と本機のスタンド (1 箇所) を転倒防止用スタンド固定ネジ (付属品) で固定させてください。
- また、スチール製やガラス製など、テレビ台や家具に転倒防止用スタンド固定ネジ (付属品) で固定できないときや、強度が十分でないときは、お買い上げの販売店や工事店までご相談ください。

本機のスタンドの穴に
転倒防止用スタンド固定ネジ (付属品)
で固定してください。



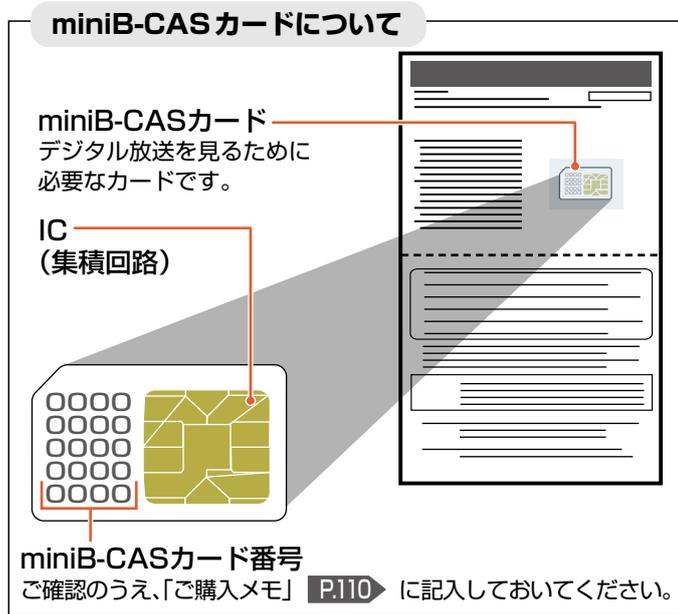
お買い上げ時、スタンドは取りはずされて
いる状態です。お買い上げの機種によって、
スタンドの取り付けかたは異なります。
また、本機にスタンドを取り付ける際には、
スタンドの前後が正しい方向となっている
かどうか注意して取り付けてください。

お願い

- **FL-40H1010** のスタンドの取り付けは、必ず大人2人以上で作業を行ってください。
- スタンド取付ネジは、取扱説明書などの付属品と同じ袋に入っています。
- スタンド取付ネジをドライバーで締める際は、ネジに合ったドライバーをご使用ください。
- すべてのスタンド取付ネジがしっかりと締まっているか確認してください。スタンドが適切に取り付けられていなければ、本機が転倒や落下する原因となり、本機を傷つけるだけでなく、けがをする恐れがありますのでご注意ください。

準備 4 miniB-CASカードを入れる

本機には、miniB-CASカードを付属しています。miniB-CASカードはデジタル放送を見るために必要です。番組の著作権保護のため、miniB-CASカードを本機に挿入しないとデジタル放送を見ることができません。現在、デジタル放送をご覧にならなくてもminiB-CASカードは必ず本機へ挿入した状態でご使用ください。miniB-CASカードについて、くわしくは **P.105** をご覧ください。



!お願い

- カードを入れる前に、この取扱説明書の「ご購入メモ」 **P.110** にカード番号を記入してください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- IC(集積回路)部には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- 本機の使用中はminiB-CASカードを抜き挿ししないでください。デジタル放送の視聴ができなくなります。
- miniB-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にminiB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き挿しをしないでください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。また、取り出せなくなったり、破損したりする場合がありますのでご注意ください。

● miniB-CASカードの入れかた

miniB-CASカードを入れただけでは、有料放送の契約料・受信料などを課せられることはありません。

1 電源プラグをコンセントに挿していないことを確認する

- miniB-CASカードを挿すときは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

2 赤色面を手前に向け、切り欠きのある側からminiB-CASカードをまっすぐ挿入する

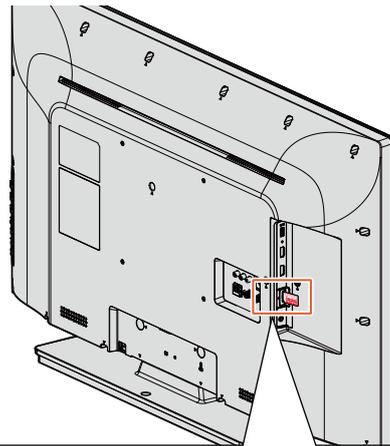
- カチッと合まるまで押し込んでください。
- カードは一部分が見えた状態となります。

3 ふたをして、専用ネジ(3 × 10 mm)で止める

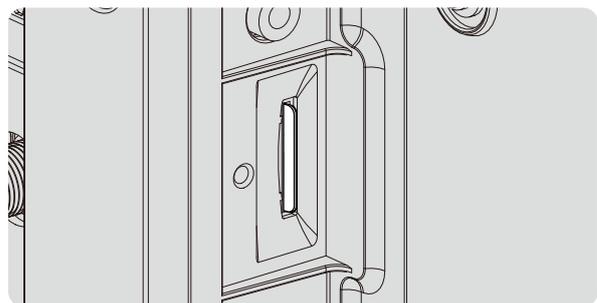
- ネジに合ったプラスドライバーをご使用ください。

!警告

miniB-CASカードは幼児の手の届くところに放置しないでください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

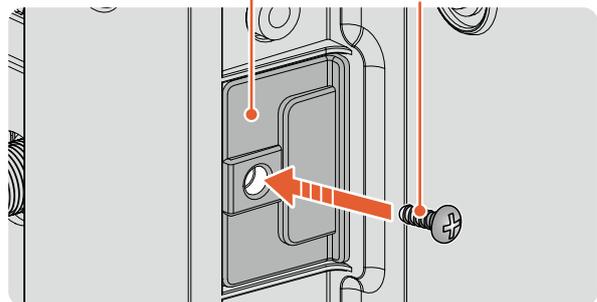


切り欠きのある側



ふた(付属品)

ふた専用ネジ(付属品)



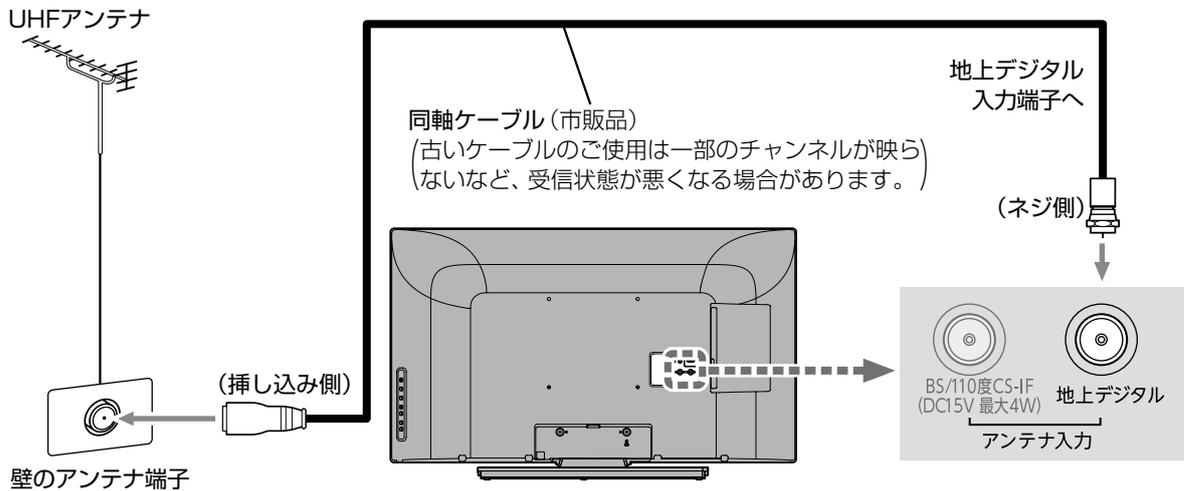
準備5 アンテナをつなぐ

本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。

P.20~22 の図を参考にして、あてはまる接続を確実に行ってください。

● UHFアンテナ 地上デジタル放送を見るとき

- 地上デジタル放送をご覧になるためには、UHFアンテナとの接続が必要です。
- UHFアンテナは、地上デジタル放送対応のアンテナをおすすめします。また、ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。



準備(接続とかんたん一括設定)

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「困ったときは (地上デジタル放送のとき)」 P.113 をご覧ください。

映像にしまが出たり、縦線状の妨害が出たりするとき

本機のようなプログレッシブ表示に対応したテレビ受像機は、デジタル回路を多く内蔵しています。このためアンテナ接続部のシールドをより強化して、デジタル回路から同軸ケーブルに飛び込むノイズを抑え込むことが、よりきれいな映像でご覧いただくためのコツです。

！お願い

- アンテナ線の接続には、同軸ケーブル (市販品) に F 形接栓 (市販品) を取り付けたものを使用してください。妨害を受けにくい二重シールドタイプ (3C-FB、5C-FB など) をおすすめします。
- 平行フィーダー線や F 形接栓以外の同軸ケーブル用コネクタは、内部のデジタル回路やパソコン、他のオーディオ機器などからの妨害を受けやすくなりますのでなるべく使用しないでください。
- アンテナ分配器などを使用されている場合は、それらの器具のシールド効果が弱い場合は、本機から遠ざけると妨害が減ることがあります。

アンテナの場所

妨害電波の影響をさけるため交通の煩雑な道路、電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離してください。

万一アンテナが倒れた場合の事故を防ぐためにも有効です。なおアンテナ工事には技術と経験が必要です。販売店にご相談ください。

アンテナの定期的な点検・交換を

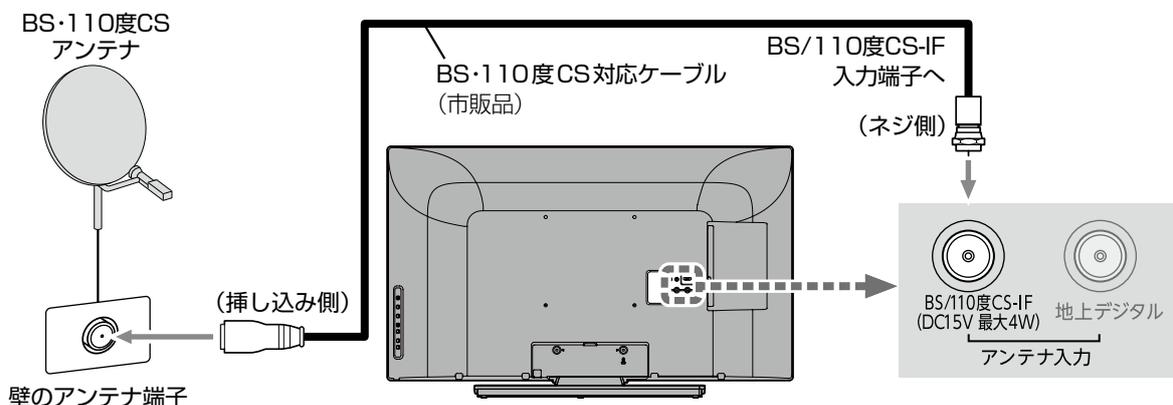
アンテナは屋外にあるため傷みややすく性能が低下します。映りが悪いときは販売店にご相談ください。

● BS・110度CSアンテナ BSデジタル・110度CSデジタル放送を見るとき

アンテナは、110度CS対応のBSデジタル放送用アンテナをご使用ください。
ケーブルや分配器などは、110度CS帯域に対応しているものをご使用ください。

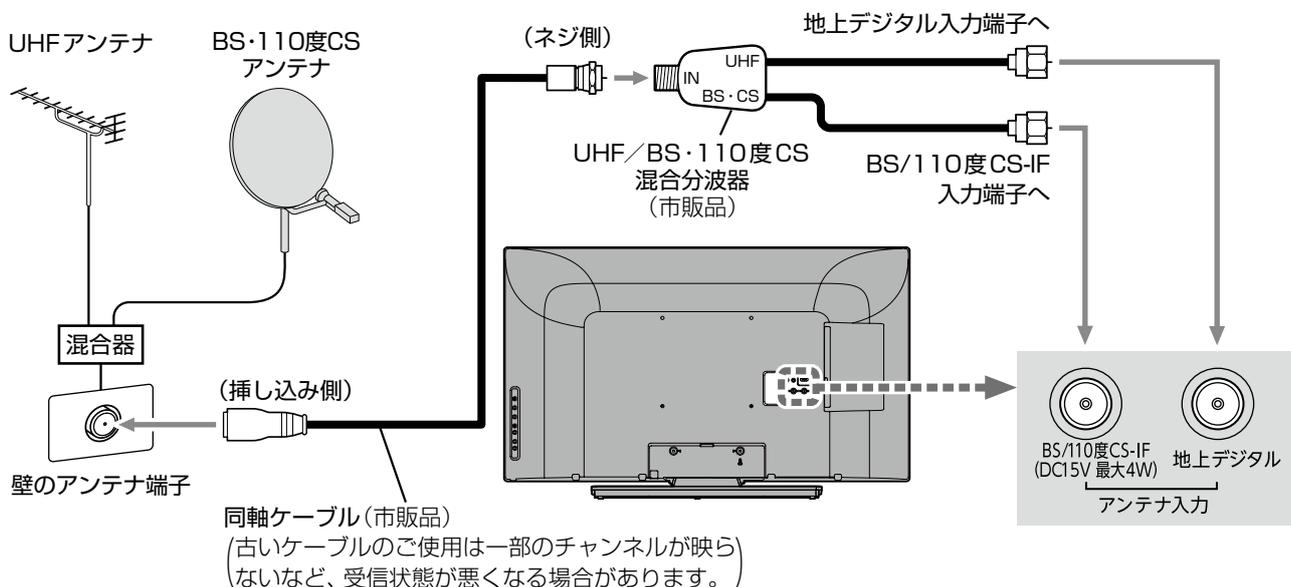
- **BS・110度CSアンテナの設置には、技術と経験が必要です。**
BS・110度CSアンテナをお買い上げの販売店にご相談ください。
設置のしかたについては、BS・110度CSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- **BS・110度CSアンテナが正しい方向や角度でないと、衛星放送は見られません。**
BS・110度CSアンテナの取扱説明書をよく読んで、方向・角度を調整してください。
- **BS・110度CSアンテナをつなぐときは、テレビの電源プラグをコンセントから抜いてください。**

お知らせ
同軸ケーブルがショートしている状態で「アンテナ電源」を「供給する」または「テレビ連動」P.76▶に設定すると、保護回路がはたらき、自動的に「供給しない」に切り換わります。同軸ケーブルの買い替え、修理については、販売店にご相談ください。



準備(接続とかんたん一括設定)

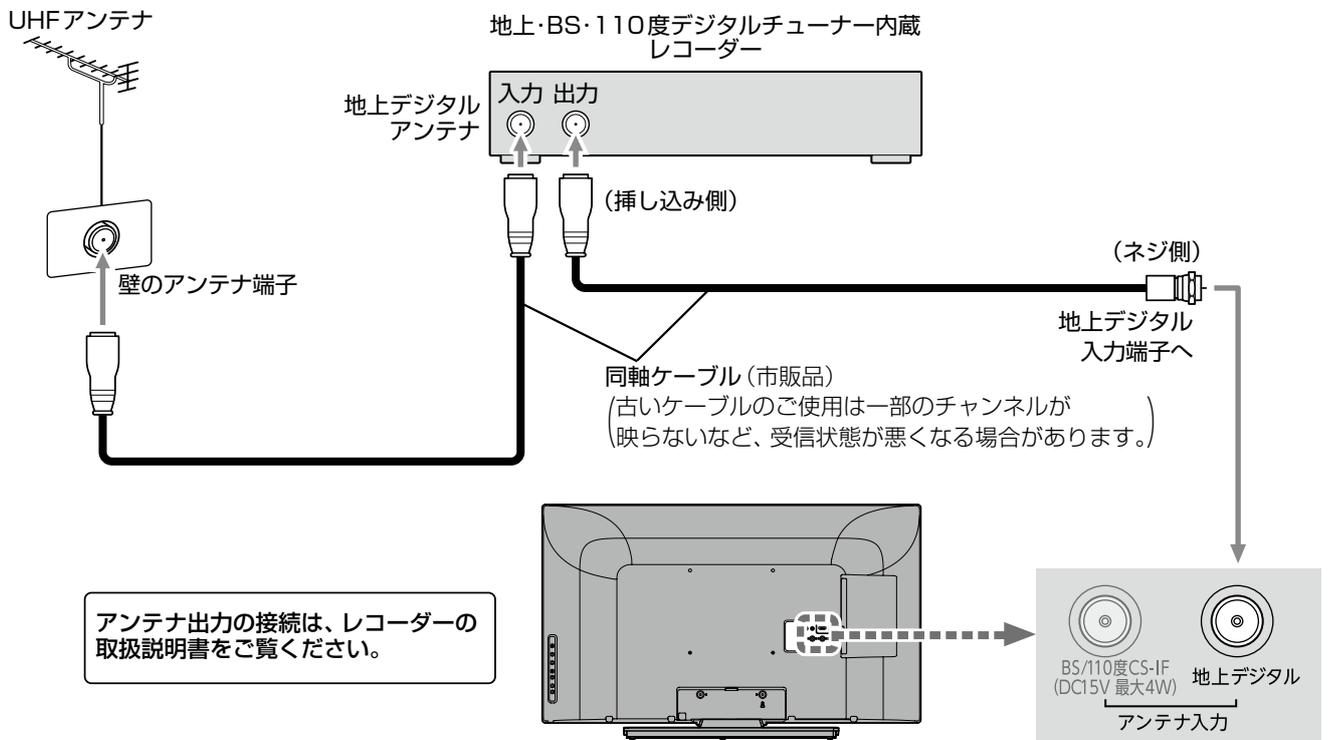
UHF／BS・110度CS混合のとき (マンションの共同受信など)



準備 5 アンテナをつなぐ(つづき)

下図は地上デジタルアンテナの接続例です。BS・110度CSアンテナがある機器では、地上デジタルアンテナと同様に接続してください。

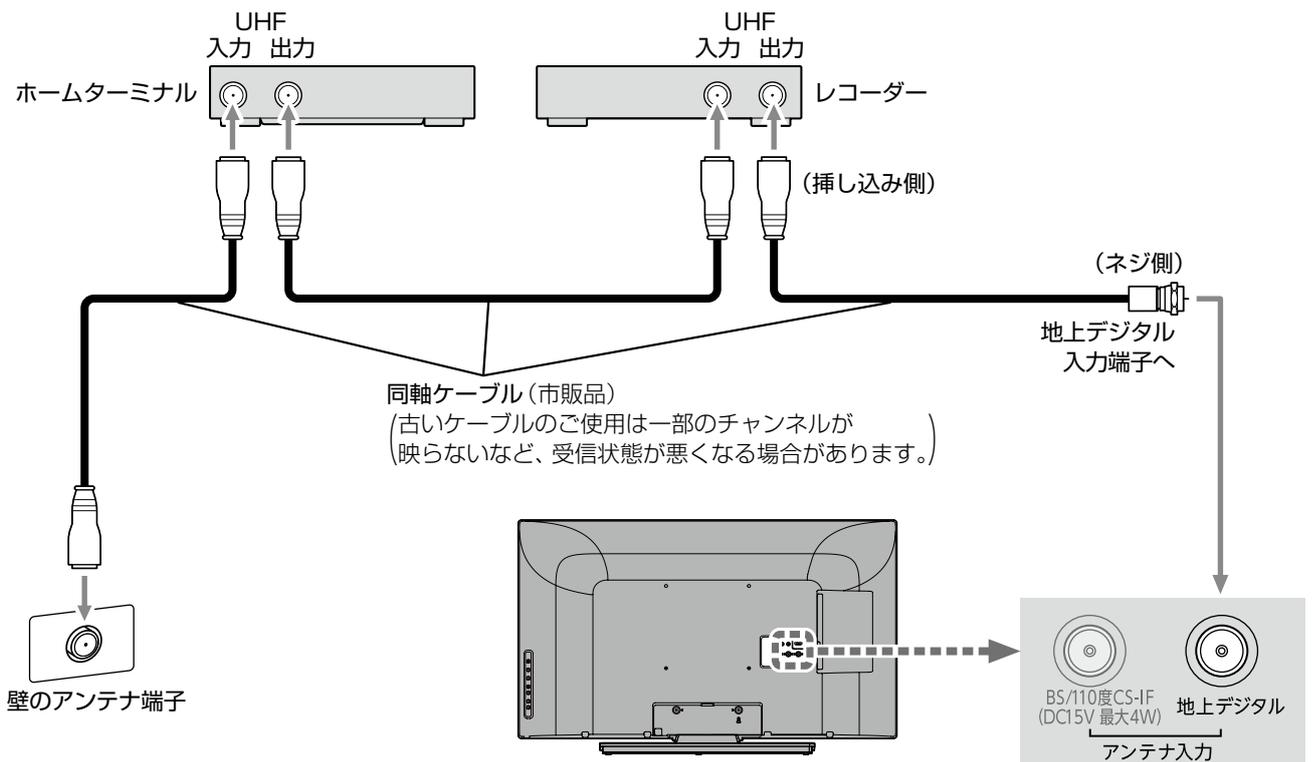
レコーダーを通して接続するとき



準備(接続と簡単な一括設定)

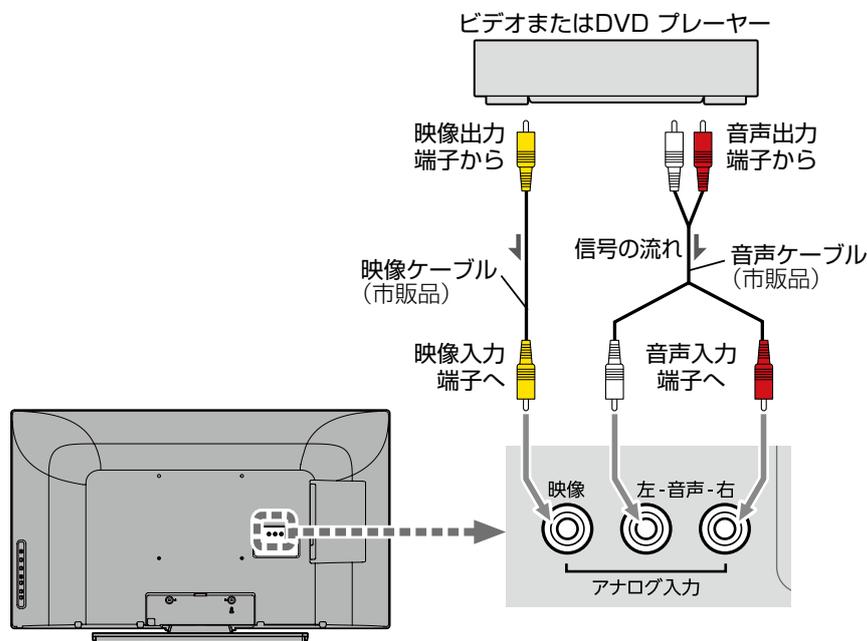
CATV(ケーブルテレビ)アンテナ

(例:ホームターミナルとレコーダーを接続するとき)



● ビデオまたはDVD プレーヤーとの接続

例:「アナログ入力」に接続する



お知らせ

- ビデオの特殊再生機能（早送り、一時停止など）を使うと映像が乱れることがあります。
- つないだ機器で見るときは、入力切替で「ビデオ」を選んでください。

!お願い

- ビデオやDVD プレーヤーなどの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。
- DVD プレーヤー側のテレビ画面モードの設定を16:9にしてください。4:3（レターボックス、パンスキャン）に設定すると適正な画面モードで見ることができません。

HDMI 機器との接続

映像・音声信号を1本のケーブルでつなぐことができます。HDMI-CEC機能については、下記の解説をご覧ください。

HDMI-CECについて

HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)は、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

HDMI-CEC対応の機器をHDMI接続して、「メニュー」→「機能設定」→「接続機器設定」の「HDMI機器制御」P.70を「入」に設定していると、次のような操作ができます。

(仕様は予告なく変更することがあります。)

- 本機の電源をオフにすると、連動してHDMI-CEC機器の電源も切れたり、HDMI-CEC機器の電源を入れると、本機の電源が入ったりします。

P.51

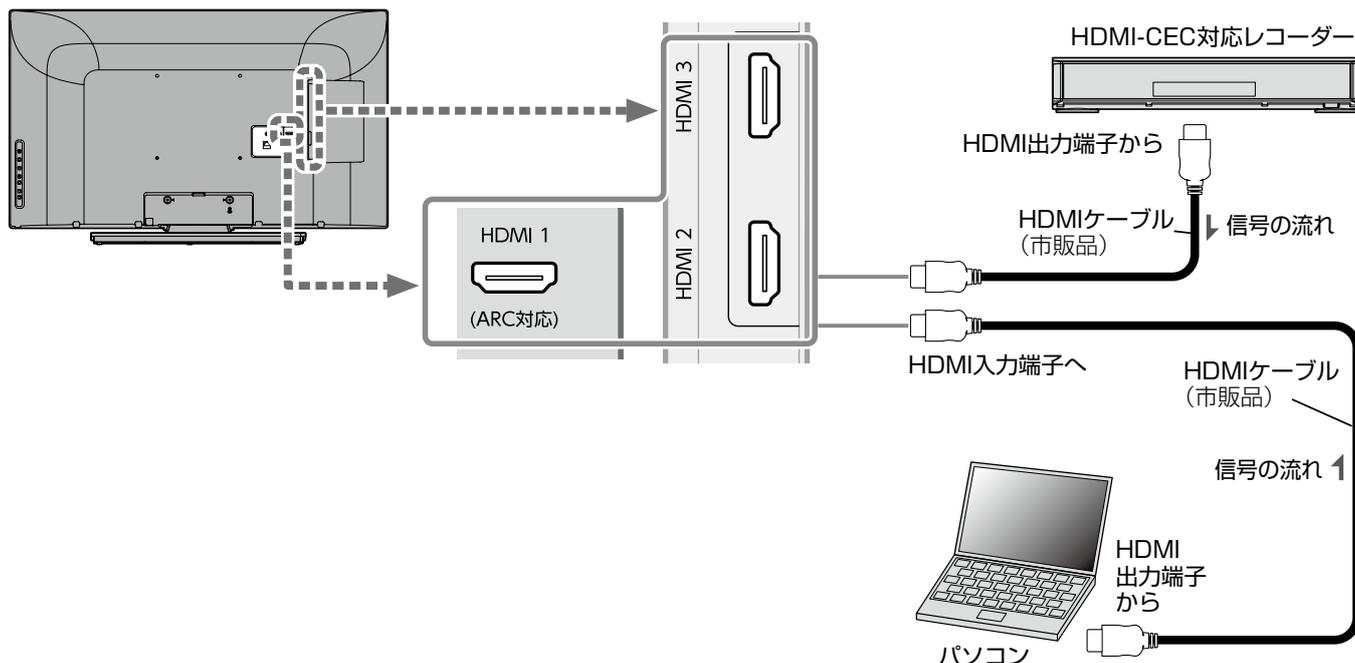
お知らせ

他社製の機器をHDMI接続した場合は、HDMI-CEC対応機器と認識し、接続機器側の操作の一部(電源連動やアンプの音量制御)ができることがあります。その動作につきましては保証の対象ではありません。

！お願い

- HDMI端子の接続を変更した場合(HDMI1入力端子からHDMI2入力端子に挿し替えた場合など)は、本機の電源を入れ直して入力切替で変更後のHDMI入力を選んで、HDMI-CEC機器からの映像が映っていることを確認してください。
- HDMI-CEC機能を中止するために「HDMI機器制御」P.70を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

例：HDMI-CEC対応レコーダーやパソコンをHDMI入力端子に接続する



お知らせ

- 対応している映像信号
480i、480p、720p、1080i、1080p、1080p 24Hz
- 対応している音声信号
種類：リニアPCM
サンプリング周波数：48kHz / 44.1kHz / 32kHz
- HDMI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切替で「HDMI1」(または「HDMI2」、「HDMI3」)を選んでください。
- 非対応の信号を入力すると、映像が出なかったり、映像が乱れたりすることがあります。
- HDMI端子付きパソコンを接続するときは、HDMI規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえで使用ください。

！お願い

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMI対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。また、HDMI-CEC対応機器は製品毎に接続方法や動作が異なりますので機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子は、すべてのパソコンへの接続を保証するものではありません。
- パソコンの対応解像度など、くわしくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

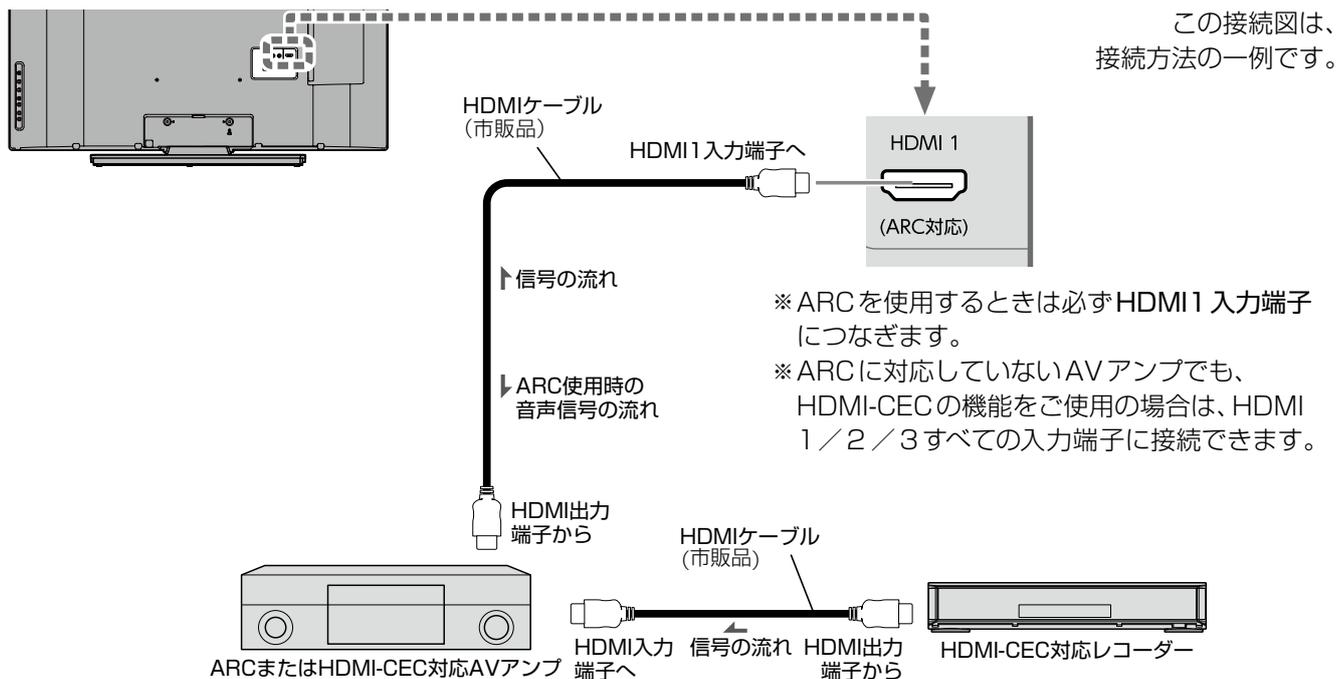
ARC(オーディオリターンチャンネル)について

テレビとオーディオ機器 (AVアンプ、サウンドバーなど) をHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能で、従来必要だった光デジタルケーブルが不要になります。テレビもAVアンプもARCに対応している必要があります。

HDMI機器との接続 (つづき)

例: ARCまたはHDMI-CEC対応AVアンプをHDMI1入力端子に接続する

本機のリモコンで、HDMI-CECに対応したAVアンプの音量調節ができます。P.50 接続後は、「HDMI機器制御」P.70 を「入」に設定する必要があります。また、本機はHDMI1入力端子のみARC(オーディオリターンチャンネル)に対応しています。



!お願い

- HDMI-CEC対応AVアンプをつないだときは、レコーダーなど周辺機器はAVアンプと接続してください。周辺機器からのサラウンドやデジタル音声出力でお聞きになれます。
- AVアンプにHDMI-CEC対応機器をつなぐときは、AVアンプの電源が「切」になっているとHDMI-CEC機能が使えない場合があります。「入」や待機状態にしてください。
- ARCを使用するためには、ARC対応のAVアンプが必要です。また、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- ARCを使用するときは必ず、HDMI1入力端子につないでください。本機とつなぐHDMIケーブルのAVアンプ側はHDMI出力に接続してください。
- テレビに映像を映すために、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- 製品毎に接続方法や動作が異なりますので、接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMI-CEC対応AVアンプがPCMしか対応していないときは、「メニュー」→「音声設定」で「デジタル音声出力」を「PCM」に設定してください。P.64
- 「外部アンプ連動」を「切」に設定しているときは **リンク** を押し、「外部アンプ連動」を「入」に設定してください。P.50

デジタル放送のデータ放送を行っている放送局との双方向通信は、ブロードバンド環境（ADSL、FTTH、CATVなど）をお持ちの場合は、本機のLAN端子を使用することにより一層充実したデータ放送サービスなどを楽しむことができます。サービスの詳細は各放送局にお尋ねください。

既にブロードバンド環境をお持ちの場合

■ まず、次のことをご確認ください。

- 回線業者やプロバイダとの契約
- 必要な機器の準備
- ADSL モデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定

■ 回線の種類や回線業者、プロバイダにより、必要な機器と接続方法が異なります。

- FTTH 回線終端装置、または ADSL モデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線業者やプロバイダが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付き ADSL モデムなどの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- 必ず電気通信事業法に基づく認定品ルーターなどに接続してください。

◆ FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、プロバイダや回線業者へお問い合わせください。

◆ ADSL回線をご利用の場合

- ブリッジ型 ADSL モデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター(市販品)が必要です。
- USB 接続の ADSL モデムをお使いの場合などは、ADSL 事業者にご相談ください。
- プロバイダや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- ADSL モデムについてご不明な点は、ご利用の ADSL 事業者やプロバイダにお問い合わせください。
- ADSL の接続については、専門知識が必要なため、ADSL 事業者にお問い合わせください。

◆ CATV(ケーブルテレビ)回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、CATV 会社へお問い合わせください。

ブロードバンド環境をお持ちでない場合

■ まず、ブロードバンド環境が必要です。

- プロバイダおよび回線業者と別途ご契約(有料)をしていただく必要があります。くわしくはプロバイダまたは回線業者にお問い合わせください。

● 接続についてのお願い

- LAN ケーブルは、10BASE-T / 100BASE-TX タイプのものをご使用ください。
- LAN ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があり、回線終端装置、またはモデムやルーターなどの種類によって使用するものが異なります。くわしくはモデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 本機には電話回線端子を搭載しておりませんので、電話回線のみで通信が行われるデータ放送の場合は対応できません。

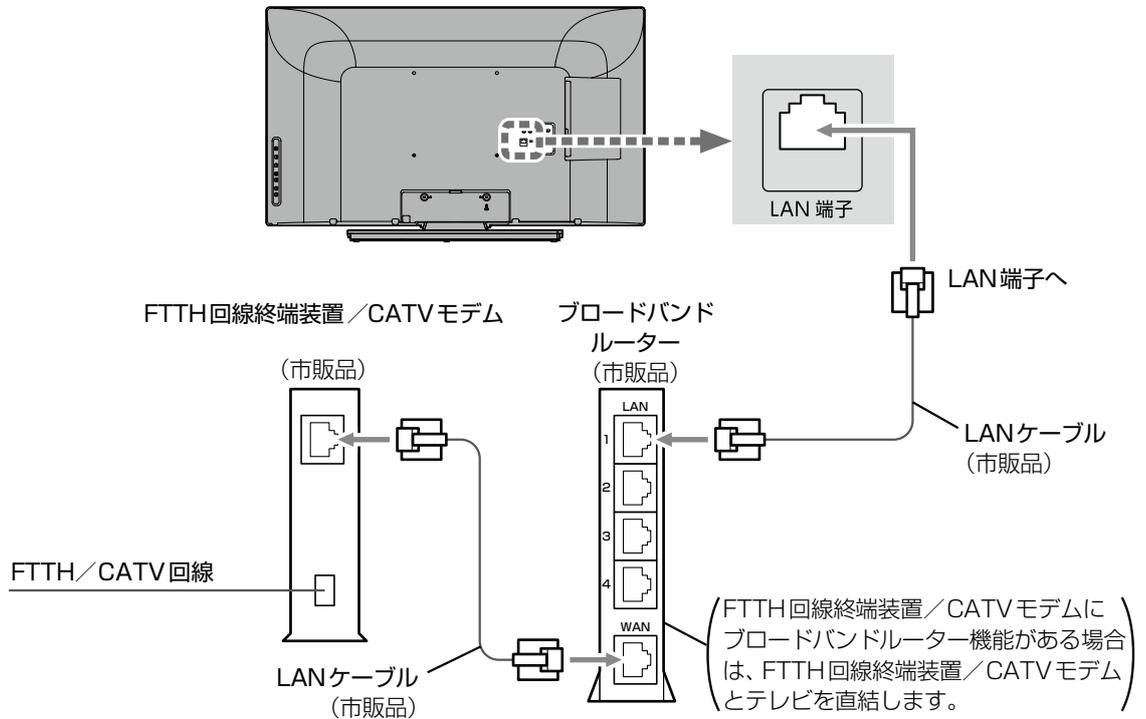
● 本機の MAC アドレスの確認方法

ルーターの設定などで本機の MAC アドレスを確認する場合は、次の手順でご確認ください。

- ①  を押す
- ② 「機能設定」を選んで  を押す
- ③ 「その他の設定」を選んで  を押す
- ④ 「ネットワーク接続設定」を選んで  を押す
- ⑤ 表示されたウィンドウ内の MAC アドレスを確認する

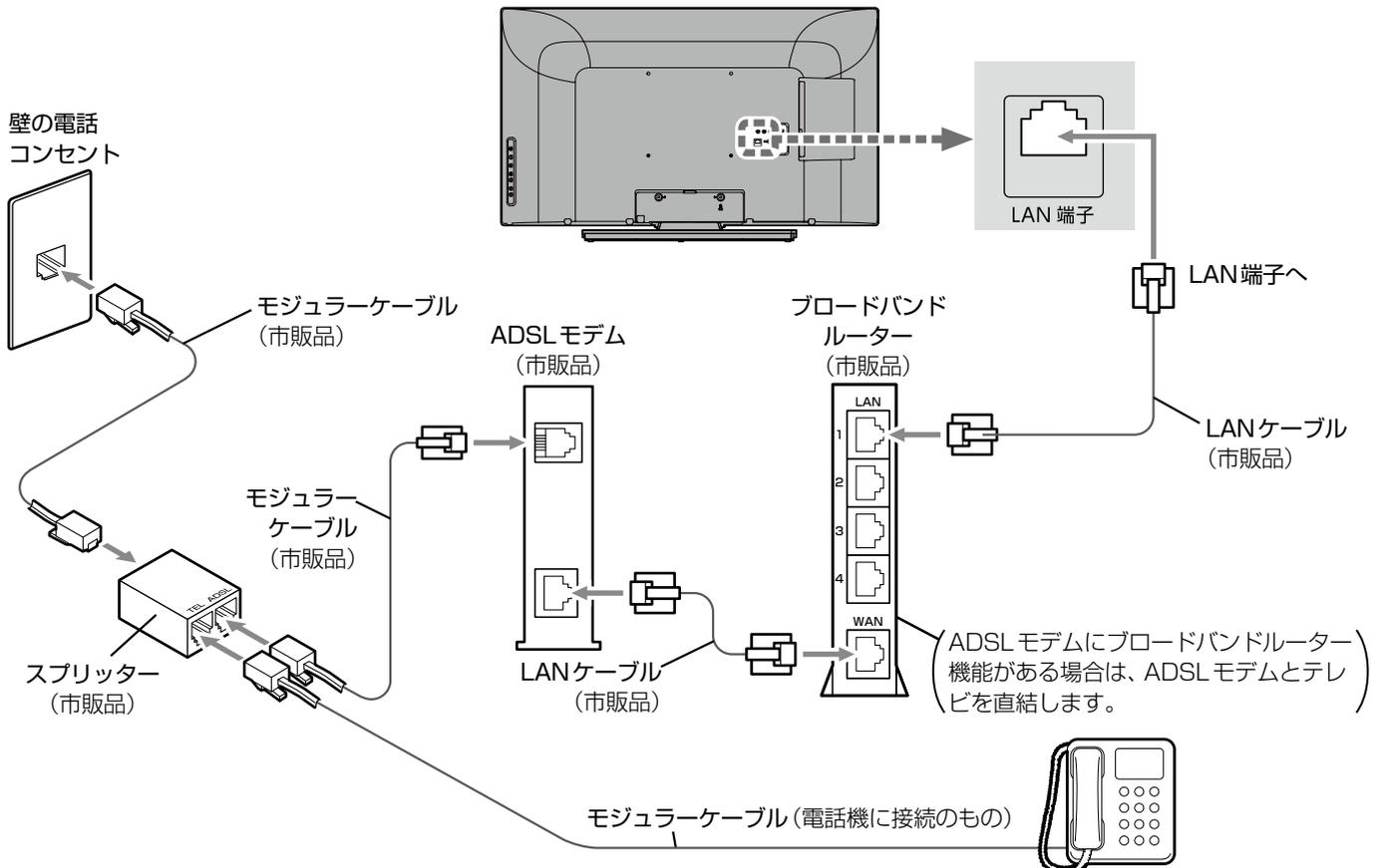
● FTTH/CATV回線

接続後は、「ネットワークの設定をする」P.80~83 を行ってください。



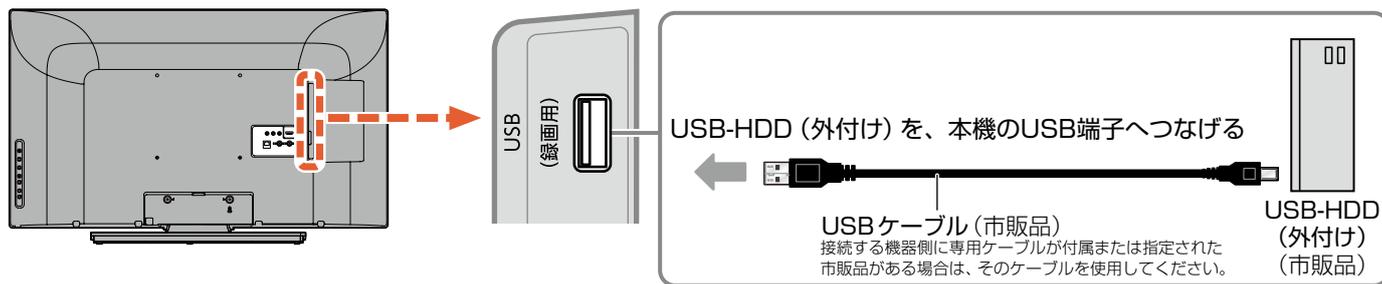
● ADSL回線

接続後は、「ネットワークの設定をする」P.80~83 を行ってください。



USB-HDD(外付け)をつなぐ

USB-HDD(外付け)(市販品)(最大容量4TB)をつなぐと、録画する事ができます。録画のしかたについては、P.88~104をご覧ください。



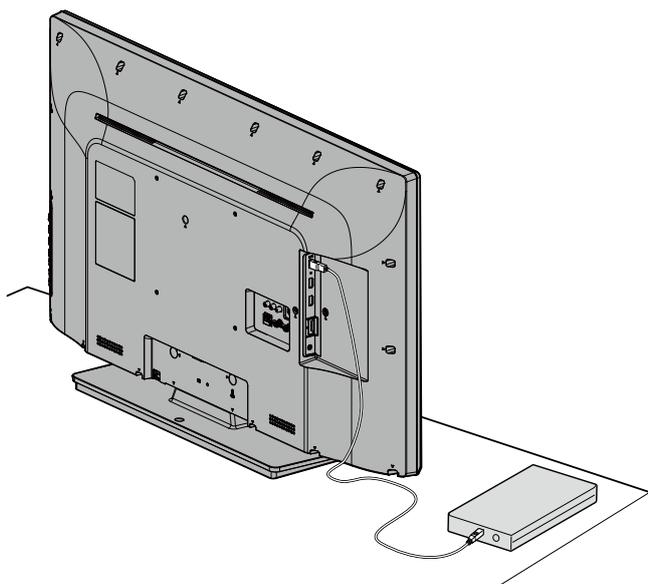
!お願い

- USB-HDDは非常に精密な機器です。衝撃や振動などが加わらないよう、丁寧にお取り扱いください。特にUSB-HDDの動作中(USB-HDDの表示灯が点灯や点滅をしているときなど)にご注意ください。USB-HDDの表示灯について、くわしくはお持ちのUSB-HDDに付属の取扱説明書をお読みください。

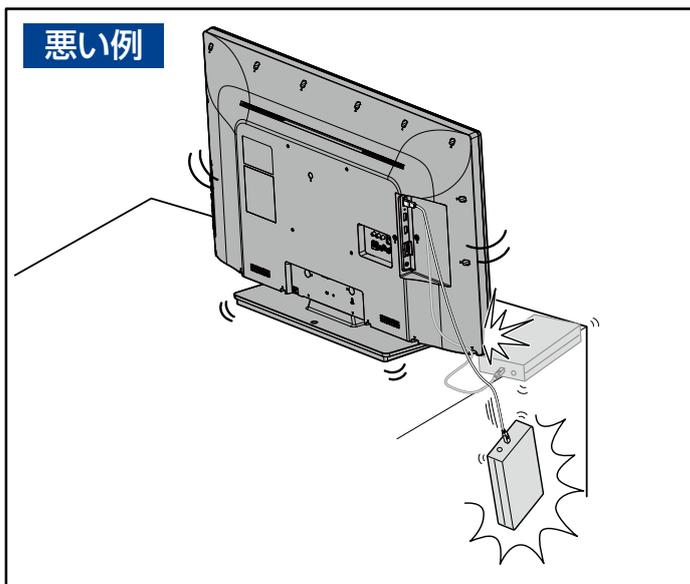
本機にUSB-HDDを取り付ける際のご注意

USBケーブルは、本機を動かしたときに引っ掛かったり、USB-HDDがひっぱれたりしないように接続してください。また、USB-HDDは、本機を動かしたときに接触したり、倒れたりしないところに設置してください。正しく接続・設置していないと、USB-HDDの動作不良、故障の恐れがあります。

準備(接続とかんたん一括設定)



悪い例



!お願い

- バスパワー型のUSB-HDDは動作保証外です。セルフパワー型のUSB-HDDをご使用ください。P.88

USB-HDDの取りはずし

USB-HDDを取りはずすときは、USB-HDDと本機いずれの電源も必ず「切」にしてください。「クイック起動」を「入」に設定している場合は、設定を「切」にしてから電源を「切」にしてください。P.84
USB-HDDの動作中に本機の電源を切ったり、USB-HDDの接続ケーブルを抜いたりすると、記録データが消えたり、本機およびUSB-HDDが故障したりする原因になります。

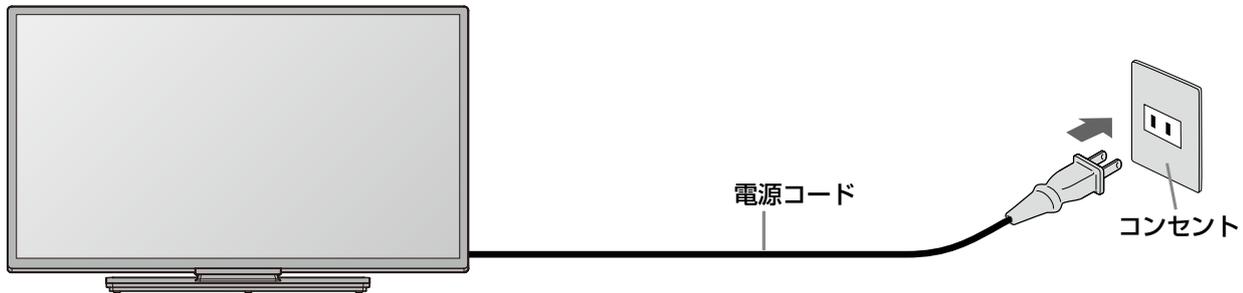
!お願い

- USB-HDDに関する使用条件など、くわしくは「USB-HDDについて」P.88をご覧ください。

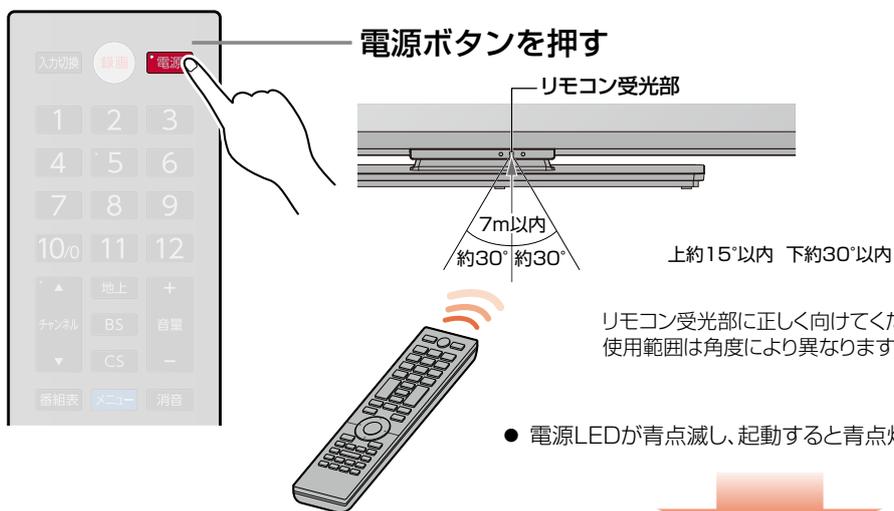
準備 6 電源を入れる

電源コードをつなぐ

電源プラグは容易に手が届く場所のコンセントに挿し込んでください。



電源を入れる



リモコン受光部に正しく向けてください。
使用範囲は角度により異なります。

- 電源LEDが青点滅し、起動すると青点灯します。

お買い上げ後、初めて電源を入れると下記の画面
(かんたん一括設定)が表示されます。



お知らせ

- リモコンの準備のしかたについては [P.17](#) をご覧ください。
- 電源を入れた際、起動に時間がかかる場合がありますが、これは内部システムによる仕様のため、故障ではありません。

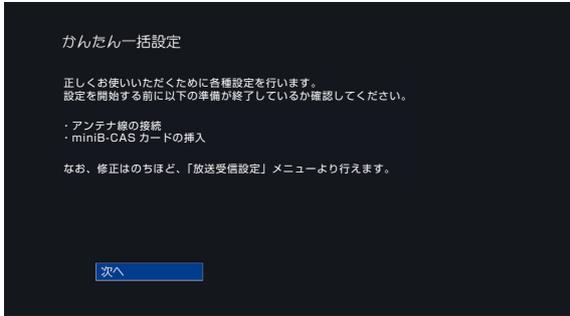
！お願い

- 「かんたん一括設定」は、必ずアンテナ線が接続された状態で放送のある時間帯に行ってください。アンテナ線を接続せずに設定すると、チャンネルが飛ばされるように設定され、視聴可能なチャンネルが選べなくなります。
- 「かんたん一括設定」実行中は、電源コードを抜いたり電源を切ったりしないでください。
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、「かんたん一括設定」をやり直したいときは [P.72](#) をご覧ください。

準備 7 かんたん一括設定をする

テレビを見るために必要な設定がかんたんにできます。「かんたん一括設定」は、必ず本機に付属のリモコンで行ってください。

1 画面に表示されている準備が完了していることを確認し、「次へ」が選ばれているので、そのまま**決定**を押す



2 画面に表示されているご注意を確認し、「設定を開始する」が選ばれているので、そのまま**決定**を押す

● 「かんたん一括設定」の開始画面が表示されない場合は、「かんたん一括設定で再設定する」**P.72**の手順を行ってください。

■ アンテナ線の接続のしかたについては

P.20～22 をご覧ください。

■ miniB-CASカードの入れかたについては

P.19 をご覧ください。

◆ 地域設定

3 **1**～**10/0**で、お住まいの地域の郵便番号を入力し、「次へ」が選ばれている状態で、**決定**を押す



● 間違えたときは ◀ で戻り、入力し直してください。

4 お住まいの都道府県を選んで**決定**を押す



- 伊豆、小笠原諸島地域は、「東京都 (島部)」を選びます。
- 南西諸島鹿児島地域は、「鹿児島県 (島部)」を選びます。

◆ 地上デジタル設定

5 地上デジタル放送チャンネルスキャンの種類を選んで**決定**を押す



はい (通常)	地上デジタル放送のチャンネルをスキャンします。
はい (CATV対応)	CATV(ケーブルテレビ)のチャンネルをスキャンします。
いいえ	地上デジタル放送およびCATVのチャンネルをスキャンしません。

- スキャンが始まります。(スキャンには10分程度かかることがあります。)
- スキャンが終わると、受信されたチャンネルは自動的にリモコンの数字ボタンに割り当てられ、画面に結果が表示されます。

6 「次へ」が選ばれている状態で、**決定**を押す



- 「チャンネルスキャンの結果」で「戻る」を選べると、地上デジタル放送のスキャンをやり直すことができます。

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「困ったときは (地上デジタル放送のとき)」**P.113** をご覧ください。

◆ BS / CS 設定

BS・110度CSデジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。アンテナの接続環境に合わせて設定してください。

7 アンテナに電源を供給するかしないかを選んで決定を押す



供給する	本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合は、こちらを選択してください。主に、一戸建て住宅などで受信するときに設定します。
テレビ連動*	※ 「テレビ連動」に設定すると、電源「切」(待機)時は電源供給を行いません。
供給しない	他の機器から電源を供給している場合や、CATV などを受信しているとき、また、BS・110度CSデジタル放送用アンテナを接続しない場合もこちらを選択してください。主に、マンションなどの共聴受信時に設定します。

!お願い

- 「BS / CS デジタル設定」の「アンテナ電源」の設定を「供給する」にしたときは、本機の電源コードを常に電源コンセントに挿し込んで (通電状態にして) おいてください。
- BS・110度CS デジタル放送用アンテナのアンテナ線がショートすると、「アンテナ電源」の設定が自動的に「供給しない」に切り換わることがあります。
- アンテナの設置や工事、アンテナやアンテナ線などの修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。

お知らせ

- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質 (信号と雑音の比率) を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、地上デジタル放送では放送局や環境によって大きく変わることがあります。
- 1 台の BS・110度CS デジタル放送用アンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ (ケーブル) を最初に接続している機器からアンテナ電源を供給してください。

◆ 映像モード設定

「はい」を選んでスタンダードに切り換えると、ご家庭での視聴に適した消費電力の少ない画質になります。

8 スタンダードに切り換えるかどうかを選んで決定を押す



お知らせ

この手順で省エネ設定に切り換えなくても、かんたん一括設定完了後、「メニュー」→「機能設定」→「画質設定」→「映像モード」で切り換えることができます。P.59

■ 画面の明るさを調整するには

「メニュー」→「機能設定」→「画質設定」→「明るさ」でお好みの画質 (明るさ) に調整することができます。P.60
「明るさ」で画面を暗くすると、消費電力の節約になります。

◆ 完了

9 「完了」が選ばれているので、そのまま決定を押す



「かんたん一括設定」を終了します。

かんたん一括設定を完了すると、地上デジタル放送に切り換わります。

地上デジタル放送を受信していない場合は、映像が映りませんが、故障ではありません。このようなときは、「困ったときは」P.111 をお読みになり、症状をご確認ください。

■ USB-HDDをつなぐ場合は

お持ちの USB-HDD をつなぐときは、「かんたん一括設定」終了後、「本機に登録されていない外付ハードディスクが検出されました。ハードディスク登録設定を行いますか?」の確認画面が表示され、引き続き USB-HDD 本機で使うための登録が行えます。

USB-HDD で番組録画を楽しむ場合は、こちらで登録しておくことをおすすめします。機器登録の操作について、くわしくは P.91 の手順 6 以降をご覧ください。

また、他のテレビやパソコンで使用されていた USB-HDD を登録すると、USB-HDD 内のデータはすべて消去されます。くわしくは P.88 をご覧ください。

■ テレビの見かたについて

「デジタル放送を見る (地上・BS・110度CS デジタル)」P.32 をご覧ください。

■ お好みの数字ボタンにお好みの放送を割り当てるには

「数字ボタンのチャンネルを追加・変更する」P.74 をご覧ください。

デジタル放送を見る (地上・BS・110度CSデジタル)

1 電源を入れる

電源



- 本機の電源LEDが青点灯します。(通電状態のときに使えます。)

2 デジタル放送の種類を選ぶ

地上

BS

CS



3 チャンネルを選ぶ

- 数字ボタンに設定する放送チャンネルを追加したり変更したりする場合は、「数字ボタンのチャンネルを追加・変更する」P.74をご覧ください。

◆ リモコンのボタンに設定されているチャンネルを選ぶ

数字ボタンを押す

4



◆ 3桁のチャンネル番号を入力して選ぶ

メニュー を押し、「テレビ操作」 ➡ 「3桁入力」を選んで **決定** を押したあと数字ボタンで3桁入力する

5秒以内に次の番号を押してください。

例：103チャンネルを選ぶとき



「0」を入力するときは **100** を押します。

◆ チャンネルを順送り／逆送りで選ぶ

チャンネル ▲ ▼ ボタンを押す



視聴しないチャンネルを飛び越し(スキップ)できます。P.75

- 複数チャンネルが同じ番組を放送している場合は、自動的にスキップします。

4 音量を調節する



- スピーカーとヘッドホンの音量は、それぞれ0から60まで別々に調節することができます。P.46
- 大きすぎたり、小さすぎたりする音量を「ぴったり音量」P.64で自動調節することができます。いつも安定した音量で楽しめます。

■ 視聴制限を一時的に解除するとき

視聴の許可年齢 P.67 で設定した年齢以上の制限がかかった番組を見たいときは、暗証番号の入力が必要です。

1 ~ 100 で4桁の暗証番号を入力する

この番組には年齢による視聴制限がかかっています。視聴するためには暗証番号の入力が必要です。4桁の暗証番号を入力してください。



視聴制限が解除され、番組を見ることができます。

- 入力した数字は「*」で表示されます。
- 「0」を入力するときは **100** を押します。
- 間違えたときは **◀** を押して、1文字消すことができます。

お知らせ

- 電源を入れた際、起動に時間がかかる場合がありますが、これは内部システムによる仕様のため、故障ではありません。
- 電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。一部の回路が通電しています。
- 暗証番号を登録して視聴制限を設定している場合 P.67 は、視聴年齢制限の対象番組を選んだときに、暗証番号入力画面が表示されます。
- 地上アナログ放送で受信できた放送局が地上デジタル放送では受信可能エリアが異なり受信できないことがあります。P.105
- 受信状況(アンテナレベル)の確認ができます。P.49

!お願い

携帯電話や無線機などをご使用になるときは本機や接続機器に近づけないでください。音声に異音が入ったり、本機にノイズが出たりする場合があります。異音が出たり、本機にノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「困ったときは(地上デジタル放送のとき)」P.113をご覧ください。

データ放送を見る

デジタル放送には、テレビ放送、BSラジオ放送、データ放送の分類があります。データ放送では、画面を見ながらボタンで操作して、お好みの情報を見ることができます。データ放送には、連動データ放送と独立データ放送があります。

■ テレビ放送に連動したデータ放送を見る

番組によっては、テレビ放送やBSラジオ放送の内容に合わせた情報をデータ放送で提供されることがあります。またデータ放送を利用して、視聴者がリモコンを操作して番組に参加できるテレビ放送などもあります。P.106

1 デジタル放送を見ているときに **データ** を押す
番組に連動しているデータ放送が表示されます。

2 画面の指示に従って、リモコンで操作する
4種類の色ボタン(青、赤、緑、黄)や▲▼◀▶ボタン、決定ボタンを使って操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。

連動データ放送を見ているときに **データ** をもう一度押すと、テレビ放送またはBSラジオ放送に戻ります。

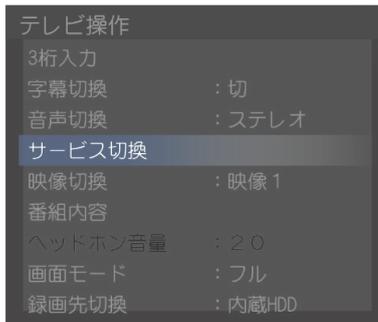
お知らせ

- 番組によってはテレビ放送やBSラジオ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- データ取得中などでデータ放送画面がすぐに表示できないとき、画面左下に「データ取得中」が表示されます。表示が消えたら、再度 **データ** を押してください。

■ サービスを切り換える(独立データ放送を見る)

1 デジタル放送を見ているときに **メニュー** を押し、▲▼、**決定** で「テレビ操作」を表示させる

2 「サービス切換」を選んで **決定** を押す



サービスが切り換わります。切り換わるサービスの種類は、デジタル放送の種類によって異なります。

3 チャンネル▲▼ボタンを押して、チャンネルを選ぶ

番組表 P.38 からの選局や、チャンネル番号(3桁)を入力して選局することもできます。

4 画面の指示に従って、リモコンで操作する

4種類の色ボタン(青、赤、緑、黄)や▲▼◀▶ボタン、決定ボタンを使って操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。

お知らせ

- サービスを切り換えたあとに番組表を表示すると、切り換えたサービスのための番組表が表示されます。
- データ取得中などでデータ放送画面がすぐに表示できないとき、画面左下に「データ取得中」が表示されます。表示が消えたら、再度 **データ** を押してください。

他の機器の映像を見る(入力切換)

他の機器との接続方法については、
P.23~25 をご覧ください。

例:「ビデオ入力」に接続したDVDプレーヤーの映像を見る場合
P.23

1 本機とDVDプレーヤーの電源を入れる

2 リモコンの **入力切換** を押して、「ビデオ」に切り換える



入力切換 を押すごとに次のように切り換わります。



項目を選んで **決定** を押して切り換えることもできます。
本機の入力切換ボタンで切り換えることもできます。

3 DVDの再生をする

！お願い

ビデオやDVDプレーヤーなどの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

音声を切り換える

テレビの音声には二重音声(二カ国語)放送、ステレオ放送、サラウンド放送などがあり、自動的に切り換わります。
二重音声(二カ国語)放送や音声信号が複数ある場合などは、お好みに合わせて切り換えることができます。

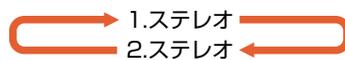
複数の音声がある番組を見ているときに

音声切換 を押す

主音声

※二重音声放送の場合の表示例

音声切換 を押すごとに音声信号が切り換わります。



項目を選んで **決定** を押して切り換えることもできます。
切り換わる音声の種類(表示)は、番組によって異なります。

お知らせ

- 録画した番組の再生時にも有効です。
- ビデオなどの再生時は、ビデオ機器側で音声切換をしてください。
- 外部入力の場合は、音声切換ボタンで音声を切り換えられません。

自動的に電源をオフにする (おやすみタイマー)

おやすみ を押す

おやすみ 120分

ボタンを離れたところの時間が設定されます。
押すごとに次のように切り換わります。



表示が消えて、おやすみタイマーがスタートします。

■ おやすみタイマーを取り消したいときは

おやすみタイマー「切」が選択されるまで **おやすみ** を押す。

■ 設定後に電源が切れるまでの時間を確認したいときは

おやすみ を1回押す

2回以上押すとおやすみタイマーが設定し直されます。

■ 電源が切れる1分前になると

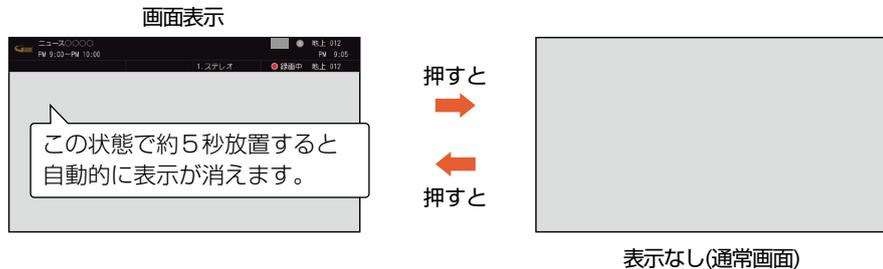
「おやすみタイマー 1分前」の表示が出ます。

画面表示を表示する

現在見ている番組のチャンネル番号、映像や音声の種類、画面表示、現在時刻などを確認できます。

画面表示 を押す

押すごとに次のように切り換わります。

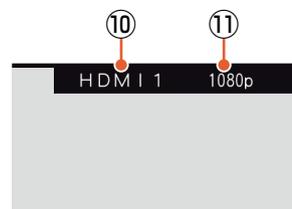


画面表示の見かた

◆ デジタル放送の場合



◆ 外部入力の場合



- ① 現在視聴中の番組の放送時間と番組名
- ② 放送局ロゴとリモコンのボタン番号
- ③ 放送の種類
- ④ チャンネル番号
- ⑤ 現在時刻
- ⑥ 録画情報^{※1}
- ⑦ 音声の種類^{※2}
- ⑧ 未読のお知らせの有無
- ⑨ 臨時放送表示^{※3}
- ⑩ 現在視聴中の外部入力
- ⑪ 解像度

※1 USB-HDDご使用時のみ表示されます。

※2 デジタル放送の音声表示の種類には、主音声、副音声、主/副、サラウンド、ステレオ、モノラル、言語名（視聴中の番組により「日本語」、「英語」など、表示は異なります）があります。

※3 臨時放送とは、通常休止扱いとなっているチャンネルでの放送です。

デジタル放送を見る

字幕を出す

デジタル放送の番組によっては、字幕が表示できるようになっています。本機では、字幕の表示/非表示や言語を設定できます。

字幕があるデジタル放送の番組を見ているときに

字幕 を押す



- 字幕 を押しても「切」しか表示されない場合は、その番組に字幕はありません。

繰り返し押して「言語名」を選ぶと字幕が表示されます。押すごとに次のように切り換わります。

切 ←→ 言語名 項目を選んで **決定** を押して切り換えることもできます。

切	字幕を表示しません。
言語名	番組の字幕を表示します。視聴中の番組により、「日本語」「英語」「外国語」と表示が異なります。

お知らせ

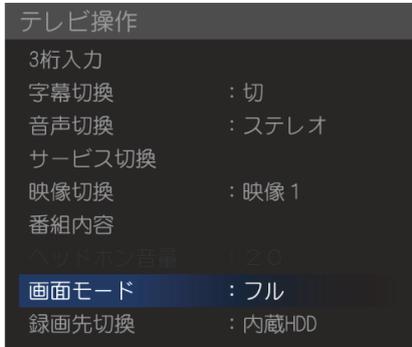
録画した番組の再生時にも有効です。

画面モードを選ぶ

映像に合わせた画面モードを選べます。
選べる画面モードは、見ている番組や映像の種類によって異なります。

1 **メニュー** を押し、**▲▼**、**決定** で「テレビ操作」を表示させる

2 「画面モード」を選んで **決定** を押す



切り換わる画面モードの種類は、標準映像とハイビジョン映像とで異なります。

！お願い

- 本機は、各種の画面モード切替機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面モード切替機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

お知らせ

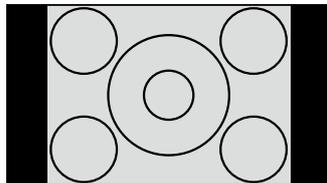
- アナログ入力では、DVDなどの画面モード識別信号 (ID-1) により、自動で画面モードを切り換えることができます。(あらかじめメニュー機能で設定が必要です。設定のしかたについては、**P.71** をご覧ください。)
- デジタル放送の視聴中に予約が始まると、見ているモードにより画面モードが切り換わることがあります。
- 映像により、画面の端に欠けや映像以外の輝点などが見えることがあります。

画面モードについて

ノーマル

4:3の画面モードで見る

横と縦の比が4:3の映像に切り換わります。



ダイナミック

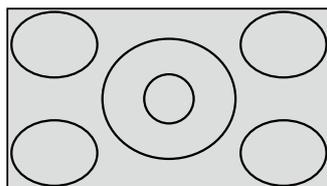
4:3の映像をワイド画面で見る

スポーツ番組を見るときなど、臨場感が増して迫力ある映像を楽しめます。

画面左右を拡大して、画面いっぱいに表示します。

- 画面左右の映像が少し横に広がります。
- 画面上下の映像が少し外にはみ出します。

4:3映像で左右の黒帯が気になるときにも使います。

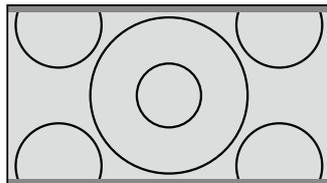


シネマ

劇場サイズの映画・ビデオを見る

劇場サイズの映像を、画面いっぱいに拡大して見るができます。

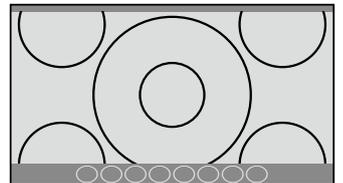
- 映像の上下の黒い帯が残るものもあります。



字幕イン

字幕付劇場サイズの映画・ビデオを見る

字幕の部分縦方向(上)にずらして画面の中に入れ、画面いっぱいに拡大して見るができます。

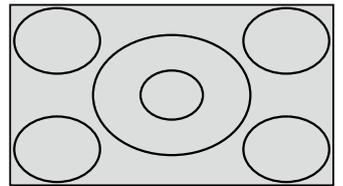


フル

ハイビジョン番組やDVDなどのスクイーズ16:9映像を見る

画面いっぱいに拡大して見るができます。

- 4:3の映像では、映像全体が横に広がります。

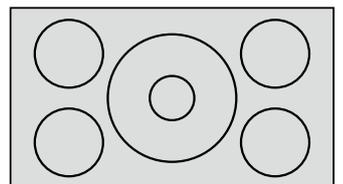


フルピクセル／ドットバイドット

ハイビジョン番組やパソコンなどの映像を画素変換せずに見る

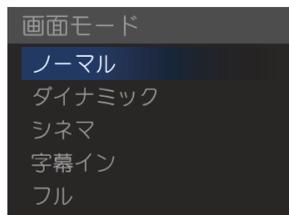
画面からはみ出した部分がなく、映像信号をすべて画面内に表示します。画素変換を行わないので入力信号そのままの映像となります。

- 入力信号によっては画面周辺に黒い線などがでることがあります。



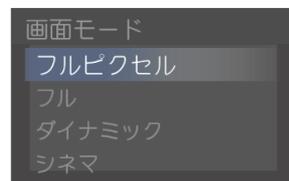
◆ 標準映像の番組、ビデオ、DVDなどの場合

標準映像(480i, 480p)

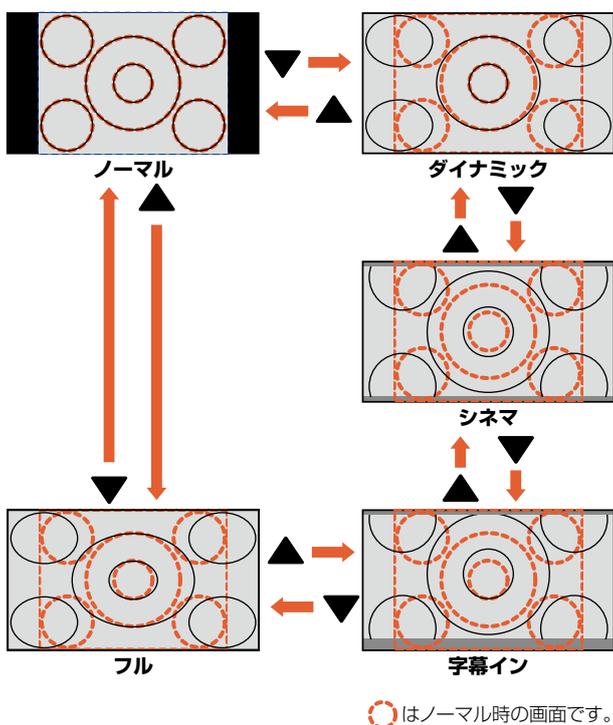


◆ ハイビジョン映像の番組、ブルーレイディスクなどの場合

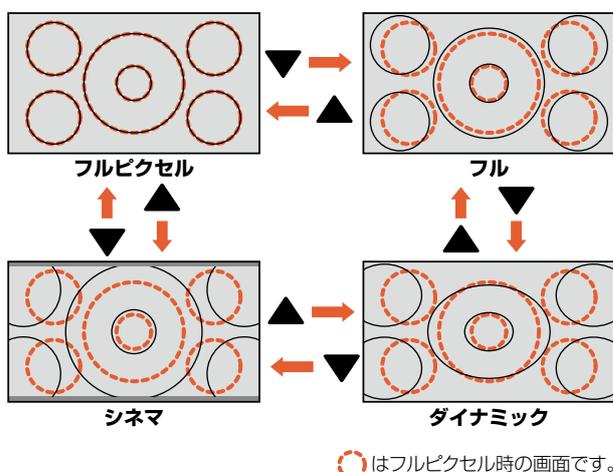
ハイビジョン映像(720p, 1080i, 1080p)



項目を選ぶごとに次のように切り換わります。
各画面モードの特徴は前ページをご覧ください。



項目を選ぶごとに次のように切り換わります。
各画面モードの特徴は前ページをご覧ください。



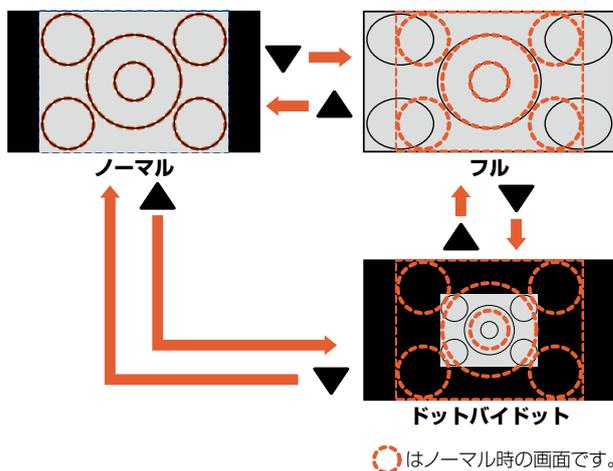
デジタル放送を見る

◆ パソコン映像の場合



項目を選ぶごとに次のように切り換わります。
各画面モードの特徴は前ページをご覧ください。

(パソコンからの入力解像度が640×480の場合)
※他の解像度の場合は、各画面モードの表示が異なります。



番組表を見る

本機は、番組表の表示機能にGガイドを採用しています。なお、当社はGガイドを利用した番組表サービス内容については、関与しておりません。
放送局から送信されるデジタル放送の番組データを、新聞などのテレビ欄のように表示します。
番組表は最大8日分まで表示できます。

番組表を表示する／消す

■ 表示する

デジタル放送を見ているときに

番組表 を押す

見ていた放送（BSデジタルのテレビ放送を受信中ならBSデジタルのテレビ放送）の番組表が表示されます。

- 番組表を表示中に放送の種類（地上・BS・CS）を切り換えることができます。番組表を消すと元の番組に戻ります。

■ 消す

戻る または **番組表** を押す

番組表が消えます。

お知らせ

番組表を表示中に放送波を切り換えると、切り換わった先の放送波の番組表を見ることができます。番組表を消すと元の番組に戻ります。



デジタル放送を見る

番組表の見かた



- 広告枠は消せません。

- ① 選択中の番組
- ② 放送の種類／番組表の表示対象
- ③ リモコンのボタン番号／放送局の3桁のチャンネル番号／放送局のロゴ／放送局名
- ④ 現在の日付表示
- ⑤ 折りたたみ表示
(マルチチャンネルが非表示の場合に表示されます)
表示方法については、「チャンネルの表示方法を切り換える」P.39 をご覧ください。
- ⑥ 時間
- ⑦ ガイド表示
- ⑧ 広告
- ⑨ 現在視聴中の放送局の映像
- ⑩ 選択中の番組の放送日時、番組名

番組表を使う

表示を切り換える

▲▼◀▶でカーソルを移動させる

ボタンを長く押し続けると、高速でスクロールすることができます。番組欄の表示は一旦消えますが、ボタンを離すと再び表示されます。

カーソル(青色の番組欄)

上下左右に移動(スクロール)させることで、番組が切り換わります。



表示されているボタンを使うと、対応した操作が行えます。

他の時間帯の番組表を見る

青 (12時間前) または 赤 (12時間後) を押す

- 現在時刻以降の番組は表示されますが、それ以前の番組を表示することはできません。

広告の詳細を表示する

データ **d** を押す

広告の詳細が表示されます。

- 広告詳細画面では、◀▶で広告の切換(広告が複数ある場合のみ)、▲▼で広告内容のスクロール(広告内容が1ページに収まっていない場合のみ)を行えます。
- **戻る**を押すと広告詳細画面の表示を終了します。
- Gガイド用のデータが受信されていない場合は、データ **d** を押しても広告の詳細は表示されません。Gガイド用のデータは、本機が待機状態(電源LEDが消灯中)のときに定期的に受信されます。(その際、動作音がすることがあります。)

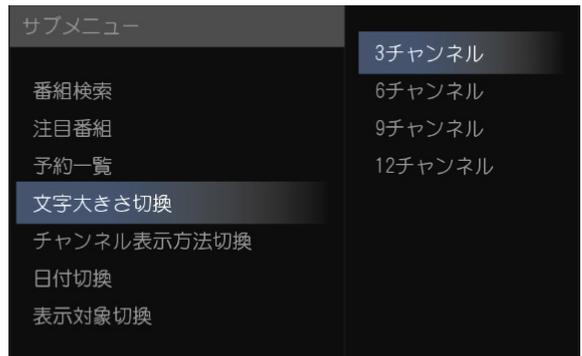
番組表に表示する番組数を変える

1 黄 を押す

サブメニューが表示されます。

2 「文字大きさ切換」を選んで 決定 を押す

3 表示したい番組数を選んで 決定 を押す



- 番組表を表示中に 緑 を複数回押して、番組表に表示する文字の大きさを切り換えることもできます。

チャンネルの表示方法を切り換える

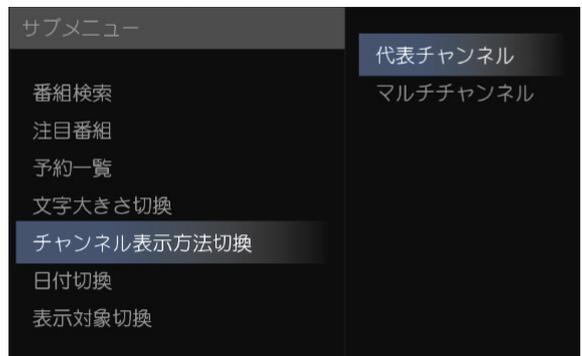
デジタル放送の中には、1つの放送局で複数の番組を放送しているマルチチャンネル放送があります。

1 黄 を押す

サブメニューが表示されます。

2 「チャンネル表示方法切換」を選んで 決定 を押す

3 チャンネルの表示方法を選んで 決定 を押す



代表チャンネル	放送局毎に1チャンネル表示をします。
マルチチャンネル	マルチチャンネル表示をします。

- マルチチャンネル放送を行っていない放送局は、マルチチャンネル表示されません。

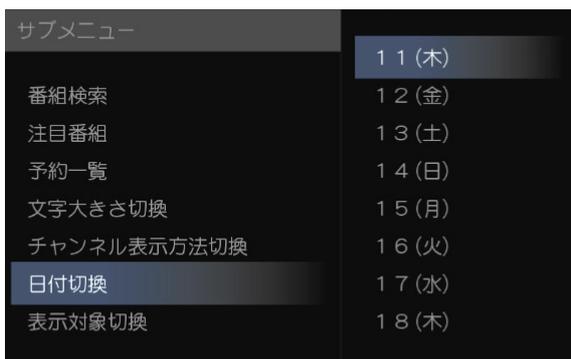
番組表を見る (つづき)

■ 他の日の番組表を見る

1  を押す
サブメニューが表示されます。

2 「日付切換」を選んで  を押す

3 切り換えたい日付を選んで  を押す



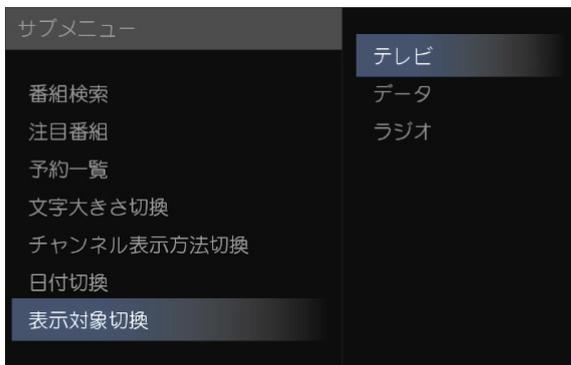
- お好みの日付に切り換わるまで  または  を複数回押した場合でも、他の日の番組表に切り換わりません。

■ 表示対象(テレビ/データ/ラジオ)を切り換える

1  を押す
サブメニューが表示されます。

2 「表示対象切換」を選んで  を押す

3 表示対象を選んで  を押す



テレビ	番組表の表示をテレビ放送に切り換えます。
データ	番組表の表示をデータ放送に切り換えます。
ラジオ	番組表の表示をラジオ放送に切り換えます。

- 表示対象を切り換えると、切り換えた放送チャンネルのみの番組表が表示されます。

番組表の表示/受信について

■ 番組表の表示について

お買い上げ後、すぐには番組表を表示できません。

- 「かんたん一括設定」(チャンネル設定)を済ませていないと番組データが受信できないため、番組表を表示できません。P.30、72

■ 番組表の受信について

番組データ(Gガイド用のデータを含む)は、本機が待機状態(電源LEDが消灯中)のときに定期的に受信されます。(その際、動作音がすることがあります。)

- 電源コードは抜かずに、通電状態にしておいてください。
- 新しい番組データを受信すると、自動的に番組表の一覧の内容が更新されます。(更新できなかったところは、空欄になるか前回の内容が残ります。)なお、視聴中であっても、視聴チャンネルの番組データは取得されます。
- 受信には通常、数十分かかります。
- ダウンロード更新と番組データの受信が重なったときは、ダウンロード更新が優先されます。

■ デジタル放送の番組表について

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組表は、それぞれの放送を受信できる環境であれば、それぞれの放送の番組表を表示することができます。

P.20、21

■ CATV(ケーブルテレビ)の番組表について

CATVは、放送や伝送方式により、本機で番組表を受信できないことがあります。その場合は、ご利用のCATV会社にご相談ください。

お知らせ

- 次のようなときは、番組データが受信できず、番組表が空欄になるか前回の内容が残ります。
 - ・ 録画中のとき
 - ・ 停電したときや、電源コードを抜いたとき
- 受信状態が良くないときは、番組データを受信できないことがあります。
- 次のようなときは、番組データを新たに受信するまでは番組表が利用できなくなります。
 - ・ チャンネル設定をやり直したとき
 - ・ 約1週間以上、本機の電源コードを抜いて使用していなかったとき
- 放送局側の都合により、実際の放送の内容が更新され、番組表の内容と異なることがあります。

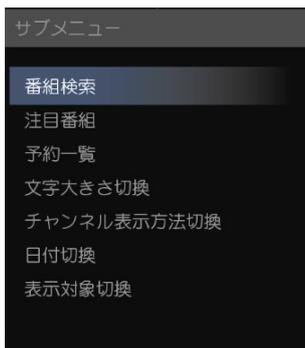
見たい番組を探す(番組検索/ジャンル・出演者)

番組表のデータを検索して、お好みの番組を探すことができます。
地上デジタル、BS、CSにわたり検索します。放送の種類を絞りこむこともできます。

1 デジタル放送を見ているときに
番組表を押す

2 黄を押す
サブメニューが表示されます。

3 「番組検索」を選んで決定を押す



4 下記の手順で検索条件を設定する



選択項目
検索条件

① 検索方法を決める

- 「検索方法」が選択されている状態で決定を押すと、「検索方法」が表示されます。お好みの検索方法(ジャンルまたは出演者)を選んで決定を押してください。

② 検索方法を絞り込む

■ **ジャンルから番組を検索するとき**

- 「ジャンル」を選んで決定を押すとジャンルリストが表示されます。「ジャンル」でジャンルを選んで▶を押し、「詳細ジャンル」でさらに条件を絞り込んで、決定を押してください。

■ **出演者から番組を検索するとき**

- 「出演者」を選んで決定を押すと「頭文字」が表示されます。該当する頭文字を選んで決定を押すと、「出演者名」が表示されます。出演者名を選んで決定を押してください。

③ 日付を絞り込む

- 「日付」に移動して、決定を押すと「日付」が表示されます。お好みの日付を選んで決定を押してください。

④ 放送の種類を絞り込む

- 「放送種別」に移動して、決定を押すと「放送種別」が表示されます。お好みの放送の種類(すべて、個別または組み合わせ)を選んで決定を押してください。

5 条件を設定し終わったら、「検索開始」を選んで決定を押す

- 検索結果一覧が表示されます。
 - 検索にはしばらく時間がかかります。

6 番組を選んで決定を押す

その番組の「番組内容」が表示されます。P.43▶

■ **条件を変えて、もう一度検索するときは**
◀を押す

お知らせ

- 番組検索後の画面から予約ができます。くわしくはP.54,94▶をご覧ください。
- 検索結果は、各放送の番組データの受信状況によって異なりますので、ジャンルなどが一致していても検索できない場合があります。
- 検索結果は最大300件までしか表示できません。目的の番組が表示されない場合は、条件を絞り込んで再検索してください。
- ジャンル検索、出演者検索はGガイドから提供されるデータによります。

!お願い

- 「番組検索」を初めてお使いになるときは、あらかじめ「メニュー」→「放送受信設定」→「共通設定」→「番組表設定」→「Gガイド地域設定」P.79▶でお住まいの地域を設定してください。電源が「切」(待機)の間に検索に必要なデータを取り込みます。データ送信のタイミングによりデータが取り込めるまで時間がかかることがあります。
- 電源プラグを抜いているとデータの取り込みができませんのでご注意ください。

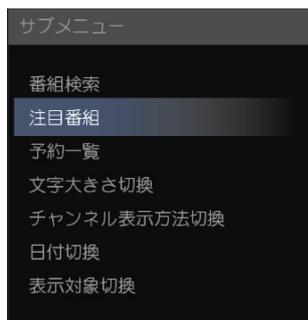
注目番組一覧を表示する

放送局おすすめの番組一覧を見ることができます。

1 デジタル放送を見ているときに
番組表を押す

2 **黄**を押す
サブメニューが表示されます。

3 「注目番組」を選んで**決定**を押す



4 お好みのカテゴリーを選んで**決定**を押す



5 番組を選んで**決定**を押す
番組情報が表示されます。

6 「詳細情報」を選んで**決定**を押す
その番組の「番組内容」が表示されます。 **P.43**

!お願い

- 「注目番組」を初めてお使いになるときは、あらかじめ「メニュー」→「放送受信設定」→「共通設定」→「番組表設定」→「Gガイド地域設定」 **P.79** でお住まいの地域を設定してください。電源が「切」の間に注目番組の表示に必要なデータを取り込みます。データ送信のタイミングによりデータが取り込めるまで時間がかかることがあります。
- 電源プラグを抜いているとデータの取り込みができませんのでご注意ください。

番組のくわしい情報(番組内容)を見る

デジタル放送を視聴中、番組表 P.38、番組検索結果画面 P.41 を表示中に、選んでいる番組のくわしい情報を確認することができます。

番組内容を表示する／消す

表示する

デジタル放送を見ているときに

メニュー を押し、「テレビ操作」 → 「番組内容」を選んで **決定** を押す

番組内容画面が表示されます。



視聴中の番組をもう一度見るには

「見る」を選んで **決定** を押す

消す

戻る を押す

番組内容画面が消えます。

番組表や番組検索から表示するとき

番組表 P.38 または番組検索(検索後)画面 P.41 より表示したい番組を選んで **決定** を押す

番組内容が表示されます。

今すぐ見る

現在放送中の番組を選択したとき、

「見る」を選んで **決定** を押す



予約する

これから放送される番組を選択したときは、視聴予約や録画予約ができます。

お好みの予約を選んで **決定** を押す



これ以降、画面の表示に従い予約に必要な操作を行ってください。

P.54, 94, 96

番組表／番組検索に戻る

戻る を押す

番組内容画面の見かた



- ① 放送局ロゴ
チャンネル番号
放送局名
放送種別
放送日
開始・終了時刻

- ② 番組名
- ③ 番組内容

- ④ アイコン P.118
- ⑤ スクロールバー
番組内容につづきがあるときに表示されます。
- ⑥ 広告

● 広告枠は消せません。

メニュー機能の使いかた

いろいろな機能呼び出せます。

● 基本的な使いかた



1 メニューを表示する

メニュー を押す

メニュー表示中に押すと、
メニューを終了します。

2 メニューから項目を選ぶ

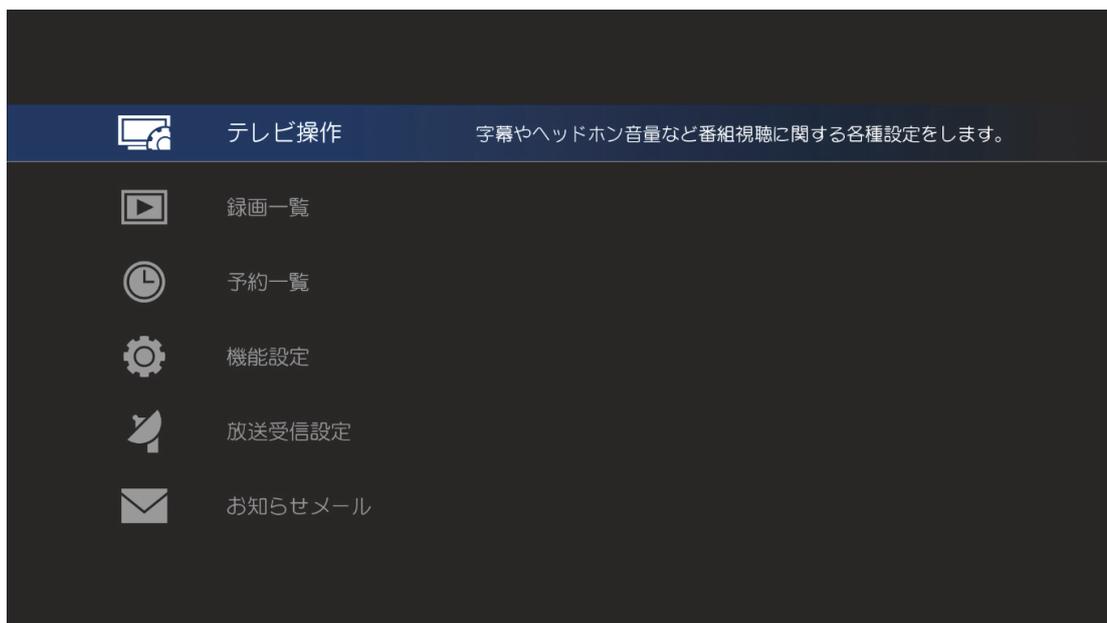


選んで

決定

1つ前の画面に戻る

メニュー



各項目で操作できる内容

テレビ操作

視聴中に操作できる便利な機能です。

<地上・BS・110度CSデジタル視聴時>

3桁入力	P.32
字幕切換	P.35
音声切換	P.34
サービス切換	P.33
映像切換	P.46
番組内容	P.43
ヘッドホン音量*	P.46
画面モード	P.36
録画先切換	P.93

<外部入力視聴時>

3桁入力	P.32
ヘッドホン音量*	P.46
画面モード	P.36

<録画番組の再生時>

字幕切換	P.35
音声切換	P.34
映像切換	P.46
番組内容	P.43
ヘッドホン音量*	P.46
画面モード	P.36
映像モード	P.59
音声モード	P.63

* ヘッドホンを挿入している場合のみ選択できます。

録画一覧

録画した番組を一覧表示します。

録画一覧	P.99
------	------

予約一覧

登録済みの予約が確認できます。

予約一覧	P.57
------	------

機能設定

下記項目を詳細に設定することができます。

画質設定	P.59
音声設定	P.62
省エネ設定	P.66
制限設定	P.67
接続機器設定	P.70
画面設定	P.71
その他の設定	P.80
初期化	P.86

放送受信設定

かんたん一括設定や共通設定などの放送受信設定ができます。

かんたん一括設定	P.72
地上デジタル設定	P.72
BS/CSデジタル設定	P.74
共通設定	P.77

お知らせメール

機器内部や放送局からのお知らせなどの情報を表示します。

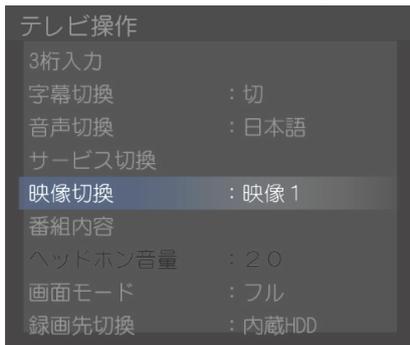
テレビからのお知らせ	P.47
放送局からのお知らせ	P.47
CSボード	P.48

チャンネル内の映像を切り換える (映像切換)

ひとつの番組で複数の映像を放送している番組（マルチビュー放送）を楽しんだり、同じチャンネルで放送している別の番組に切り換えたりすることができます。

1 デジタル放送を見ているときに
メニュー を押し、▲ ▼、決定 で「テレビ操作」を表示させる

2 「映像切換」を選んで決定 を押す



3 映像の種類を選んで決定 を押す



切り換わる映像の種類は、番組によって異なります。たとえば、映像1と映像2、映像3が放送されているマルチビュー放送の場合では、次のように切り換わります。



お知らせ

- マルチビュー放送とは
ひとつの番組で別の映像や違う角度からなど、最大3つの映像を同時に楽しめる放送です。
- マルチビュー放送や他の映像信号がない場合は、「映像1」のみ表示され、他の映像の種類は選択できません。

ヘッドホンの音量を調節する

ヘッドホンから出力される音量が調節できます。音量を調節する際には、ヘッドホンが本機に挿されていることを確認してください。「ヘッドホン出力」が「スピーカー非連動」のときは、「テレビ操作」の「ヘッドホン音量」で調節してください。

ヘッドホン音量を調節する場合は、ヘッドホンを挿入した状態で

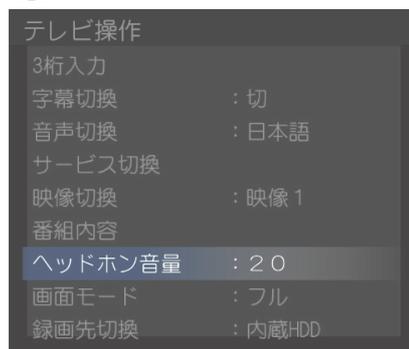


◆ ヘッドホン出力がスピーカー非連動のとき

「音声設定」の「ヘッドホン出力」P.65 を「スピーカー非連動」に設定しているときは、音量+ボタンを押しても、ヘッドホンの音量は変わりません。スピーカーの音量のみ変わります。ヘッドホンの音量を変えるには、メニュー上からヘッドホンの音量を調節する必要があります。

1 メニュー を押し、▲ ▼、決定 で「テレビ操作」を表示させる

2 「ヘッドホン音量」を選んで決定 を押す



3 で音量を調節する

◀▶ で調節することもできます。



- スピーカーとヘッドホンの音量は、それぞれ0から60まで別々に調節することができます。

画面を静止させる(静止画)

デジタル放送の映像を静止させることができます。料理番組のレシピや、懸賞はがきなどのメモをとるときに便利です。

- 1 デジタル放送を見ているときに一時停止  を押す

静止中

- 画面右下に「静止中」と表示され、画面が静止します。

■ 画面を戻したいときは

- もう一度 一時停止  を押す

お知らせ

- 外部入力の場合は、画面は静止できません。
- 5分経過すると、画面の静止が解除されます。
- 番組コンテンツの更新などで、静止画が自動的に解除されることがあります。

本機や放送局からのお知らせを読む

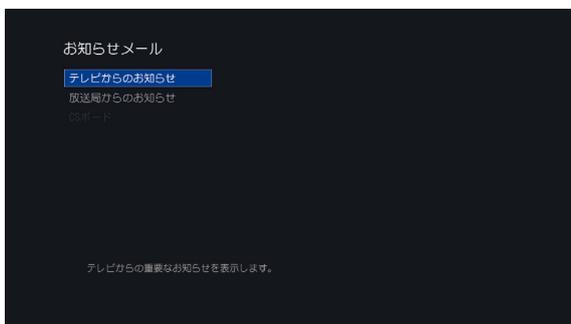
「テレビからのお知らせ」は、ダウンロードや開局など本機からお知らせするメッセージです。

放送局からのお知らせは、デジタル放送の放送局から送られてくる番組などの情報です。

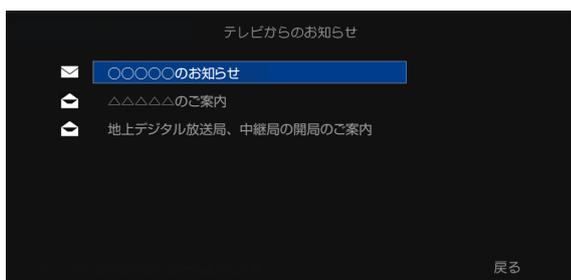
本機の電源を「入」にしたとき、または画面表示を出したときに「 お知らせあり」が表示された場合は、まだ読んでいない(未読)お知らせがありますので、以下の手順でお知らせの内容を確認してください。

- 1  を押し、▲▼、 で「お知らせメール」を表示させる

- 2 「テレビからのお知らせ」または「放送局からのお知らせ」を選んで  を押す



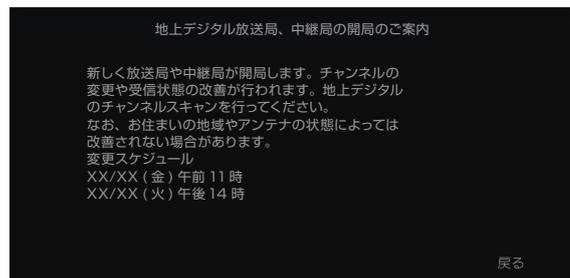
- 3 読みたい項目を選んで  を押す



既読か未読かは、画面のアイコンで確認できます。

-  未読のお知らせ
-  既読のお知らせ

- 4 内容を確認する



- お知らせ本文のつづきがあるときは ▲▼でスクロールする
- 他のお知らせを読みたいときは  を押す

- 5 読み終わったら、 を押す

お知らせ

- 「お知らせ」が8通以上受信されると、既読・未読に関わらず、古いものから消去されます。
- 「テレビからのお知らせ」は、予約が実行できなかった場合などに送られてくる重要な情報です。「テレビからのお知らせ」の内容は、必ずご確認ください。
- 放送局からのお知らせには、チャンネル再設定が必要となる内容のものもあります。チャンネル再設定については [P.72](#) をご覧ください。

CSボードを読む (110度CSデジタル放送からのお知らせ)

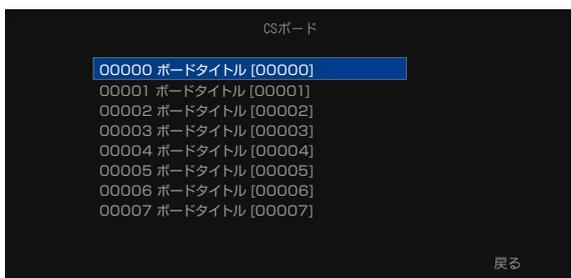
CSボードとは、110度CSデジタル放送を受信している場合のみ送られてくるメッセージです。
以下の手順でボードの内容を確認してください。

1 **CS** を押し、110度CSデジタル放送を選んだ状態で **メニュー** を押し、**▲▼**、**決定** で「お知らせメール」を表示させる

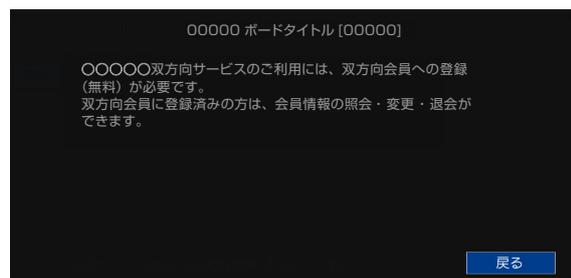
2 「CSボード」を選んで **決定** を押す



3 読みたいCSボードを選んで **決定** を押す



4 内容を確認する



- CSボード本文のつづきがあるときは
▲▼でスクロールする
- 他のボードを読みたいときは
戻る を押す

5 読み終わったら、**メニュー** を押す

お知らせ

入力が「CS」に選ばれていないときは、「CSボード」は選択できません。

miniB-CASカード情報を確認する

miniB-CASカードのカード識別、カードID、グループIDを確認できます。

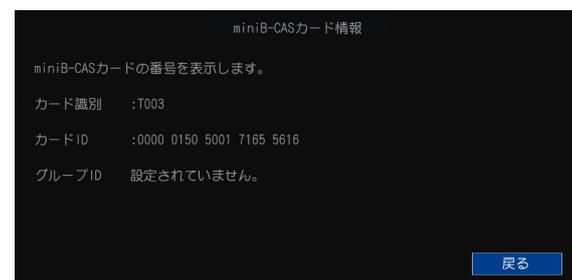
1 **メニュー** を押し、**▲▼**、**決定** で「放送受信設定」を表示させる

2 「共通設定」を選んで **決定** を押す

3 「miniB-CASカード情報」を選んで **決定** を押す



4 情報を確認する



5 確認したら、**メニュー** を押す

デジタル放送の受信状況を確認する (アンテナレベル)

映らないチャンネルがあるとき、デジタル放送視聴中に画質が低下したときや画面がモザイク状になるとき、番組情報が取れないときなどは、受信状況を確認することができます。

アンテナレベルの数値がアンテナの向きを決める目安になります。

お知らせ

アンテナレベルの数値は、受信信号電力対雑音電力比の換算値で、受信状況を知るための手助けとなります。安定して視聴できるレベルは「24以上」が目安ですが、地上デジタル放送では、放送局、環境によって数値が大きくなる場合があります。

地上デジタル放送の受信可能地域については、一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 (A-PAB) のホームページ <http://www.apab.or.jp/> をご覧ください。

1 **メニュー** を押し、**▲▼**、**決定** で「放送受信設定」を表示させる

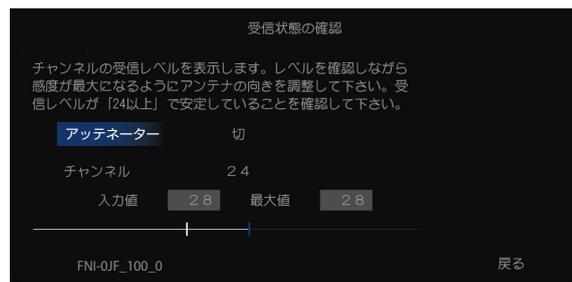
◆ 地上デジタル放送の場合

2 「地上デジタル放送」を選んで **決定** を押す

3 「受信状態の確認」を選んで **決定** を押す



4 アンテナレベルを確認する



安定して視聴できるレベルは「24以上」が目安です。

5 確認したら **メニュー** を押す

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「困ったときは (地上デジタル放送のとき)」 [P.113](#) をご覧ください。

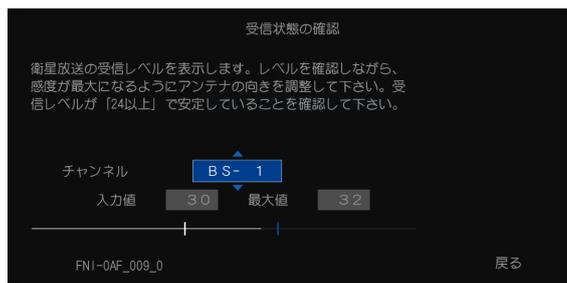
◆ BS・110度CSデジタル放送の場合

6 「BS / CS デジタル設定」を選んで **決定** を押す

7 「受信状態の確認」を選んで **決定** を押す



8 アンテナレベルを確認する

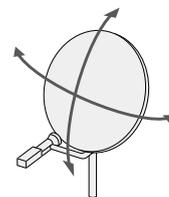


最大値

「受信状態の確認」を開始してから入ってきた電波の中で最大の入力レベル。最大値の位置にある青色のバーをアンテナレベルが超える様に、アンテナの方向を決めます。最大値が入力されるよう、アンテナを動かしてください。

入力値

この値が「最大」の値に近づくように、アンテナを動かします。安定して視聴できるアンテナレベルの目安は「24」以上です。



お知らせ

アンテナ電源については [P.75 ~ 76](#) をご覧ください。

9 確認したら **メニュー** を押す

お知らせ

アンテナレベルが低い状態でご覧になっている場合は、天候や近隣の環境 (建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など) により受信状態が悪化し、映像がモザイク状に乱れたり、映らなくなったりすることがあります。

HDMI-CEC 機能を使う

本機のHDMI-CEC機能を使用するには、接続された機器がHDMI-CECに対応している必要があります。くわしくはHDMI-CEC対応機器の取扱説明書をご覧ください。(仕様は予告なく変更することがあります。)

■ 本機でHDMI-CEC機能を使うには、次の設定になっていることが必要です。

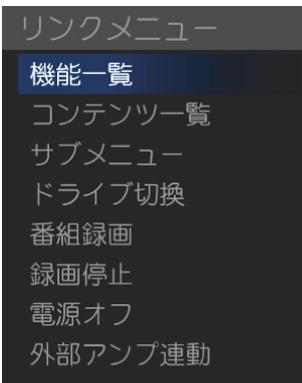
本機…「メニュー」→「機能設定」→「接続機器設定」で「HDMI機器制御」を「入」に設定しておいてください。くわしくは **P.70** をご覧ください。

接続機器…接続機器側もCEC機能が使用可能な設定にします。くわしくはHDMI-CEC対応機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI-CEC 対応機器の操作のしかた

1 **リンク** を押す

2 ▲▼で操作したい項目を選んで **決定** を押す



- 機能一覧……………接続機器の設定などを行う画面を表示します。
- コンテンツ一覧…接続機器の「録画リスト画面」などを表示します。 **P.52**
- サブメニュー……………接続機器の「サブメニュー画面」などを表示します。
※ 接続機器によっては、操作ができない場合があります。
- ドライブ切替……………接続機器が複数の記録媒体を持つ場合は、再生や録画をする媒体を切り換えます。
- 番組録画……………視聴中のデジタル放送を今すぐ録画開始します。 **P.51**
- 録画停止……………番組録画を停止します。 **P.51**
- 電源オフ……………本機のリモコンで接続機器の電源を切ります。 **P.51**
- 外部アンプ連動…本機のリモコンで、対応するAVアンプの音量を調節できます。 **P.50**

3 本機のリモコンで操作する

お知らせ

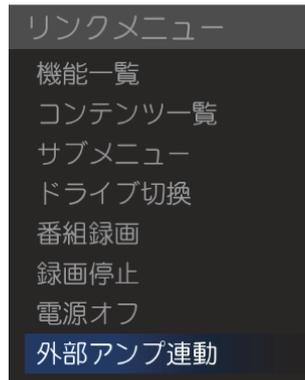
- HDMIケーブルで接続された機器間では、HDMIの制御信号規格(CEC: Consumer Electronics Control)に基づき、相互で操作を行う(リンクする)ことができます。
- 接続する機器によっては、一部の操作ができない場合があります。
- 本機のリモコンでHDMI-CEC対応機器を操作できます。

！お願い

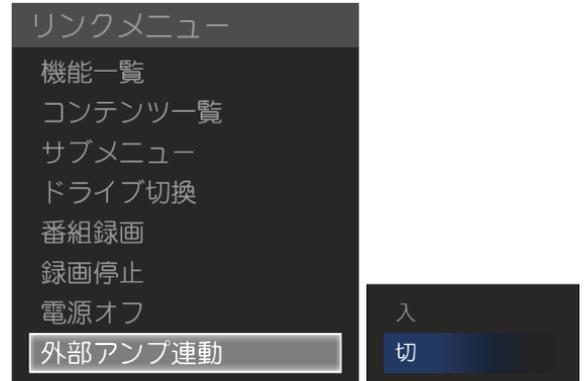
HDMI-CEC機能を中止するために「HDMI機器制御」 **P.70** を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

HDMI-CEC 対応AVアンプの音量を調節する

1 **リンク** を押し、「外部アンプ連動」を選んで **決定** を押す



2 「入」を選ぶ



3 **+** **音量** を押す



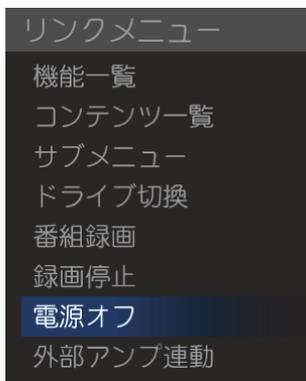
- アンプを消音にする場合は、**消音** を押してください。
- アンプの種類によって調節できる音量が異なります。

お知らせ

- 外部アンプ連動「入」にすると、以降、本機の電源と連動してアンプの電源が立ち上がります。アンプに電源が入ると本機の音声は消音されます。これらが基本的な動作ですが、接続される製品により動作は異なります。
- 音量を押し続けて音量調節すると画面表示が変わらないまま音量が変わる場合があります。ボタンを放すと表示がかわりそのときの音量が表示されます。
- 本機でヘッドホンをご使用中は、外部アンプからは本機の音は出ません。「ヘッドホン出力」が「スピーカー非連動」のときは、本機でヘッドホンをご使用中でも、外部アンプから本機の音が出ます。

接続機器の電源をオフにする

リンク を押し、「電源オフ」を選んで
決定 を押し



HDMI-CEC対応機器の電源が「切」になります。

お知らせ

「メニュー」→「機能設定」→「接続機器設定」で「テレビ電源切連動」を「入」にした状態で、本機と接続機器の電源が入っているときに **電源** を押し、本機と接続機器の電源が両方とも切れます。

接続機器に連動して本機の電源を入れる

「メニュー」→「機能設定」→「接続機器設定」で「HDMI機器入連動」を「入」にした状態で、本機の電源が入っていないときに
DVDレコーダーなどの接続機器でディスクの再生を開始する

本機の電源が自動的に入り、接続機器が接続されている外部入力に本機の入力切換が切り換わります。

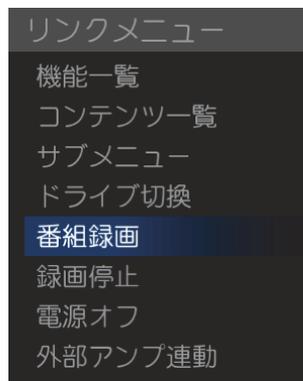
- 本機の電源が入っていない状態で、接続機器の電源を入れた場合でも、連動して本機の電源が入ります。

!お願い

HDMI-CEC機能を中止するために「HDMI機器制御」**P.70** を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

デジタル放送を今すぐ録る

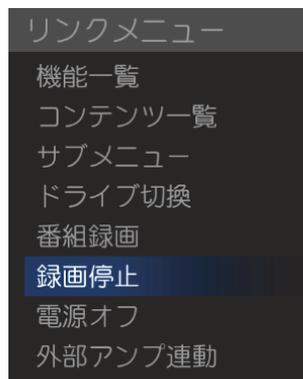
1 **リンク** を押し、「番組録画」を選んで
決定 を押し



画面に「レコーダーでの録画が開始されました。」の表示が出て、録画を開始します。

録画を停止したいときは

2 **リンク** を押し、「録画停止」を選んで
決定 を押し



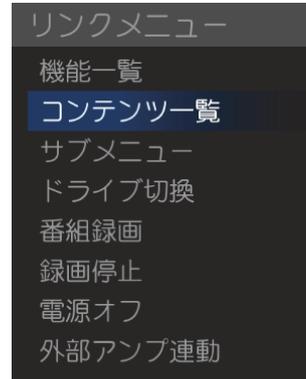
HDMI-CEC 機能を使う (つづき)

お知らせ

- HDMI-CEC 機能は、HDMI-CEC 対応機器にて使用可能です。各機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。仕様は予告なく変更することがあります。
- デジタル放送をご覧になるときは、「番組録画」機能をいつでも、すぐにご利用いただけるように、レコーダーの電源を「入」にしておくことをおすすめします。
- 本機のチューナーでデジタル放送を見ているときは、視聴中のデジタル放送の番組情報をレコーダーに送り、レコーダーでチャンネルを切り換えて録画します。
- レコーダー側のチューナー(HDMI1 ~ HDMI3) でデジタル放送を見ているときは、レコーダーが選局している番組をそのまま録画します。レコーダーの録画ボタンを押した場合と同じ動作となります。
- 録画モード(画質)は、レコーダー側で設定されているモードになります。くわしくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI-CEC 機能を使用するときは接続機器側もリンク使用可能な設定にします。設定方法は接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- レコーダーの番組情報が十分に取得されていないと、録画番組が特定できず動作ができないことがあります。レコーダー購入直後などはレコーダーの番組表が利用できるように番組情報を受信してからご使用ください。
- 契約が必要なチャンネルの番組を番組録画するときは、録画機器に契約済みのB-CASカードが入っていることを確認してください。

コンテンツ一覧を表示する

- 1 **リンク** を押し、「コンテンツ一覧」を選んで **決定** を押す



- HDMI-CEC 対応機器が自動的に電源「入」になります。
- HDMI-CEC 対応機器が接続されている HDMI(1 ~ 3) 入力に切り換わります。
- HDMI-CEC 対応機器の「コンテンツ一覧」が表示されます。

コンテンツ一覧の画面例



- 2 ▲▼、**決定** または **再生** で操作する

確認だけして通常画面に戻る場合は

戻る を押す

「コンテンツ一覧」が消えます。入力は HDMI1 ~ 3 のままです。

- 本機のリモコンで HDMI-CEC 対応機器を操作できます。
- 接続機器によっては、操作ができない場合があります。

お知らせ

- 本機のリモコンで「コンテンツ一覧」を表示するときは、必ず「メニュー」→「機能設定」→「接続機器設定」で「HDMI 機器制御」を「入」に設定しておいてください。 **P.70**
- 本機のリモコンで「コンテンツ一覧」を表示するときは、接続機器側もリンク使用可能な設定にします。
- くわしくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

!お願い

- HDMI-CEC 機能を中止するために「HDMI 機器制御」 **P.70** を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

視聴予約について

本機では、デジタル放送の視聴予約ができます。

番組開始時刻の約15秒前になると、自動で予約したチャンネルに切り換えます。

見逃したくない番組があるときに設定しておく便利です。

予約設定後、電源プラグを抜いていると、視聴予約は実行されません。

本機の電源が「切」(待機状態)でも、自動で本機の電源が「入」になり、画面に「このまま視聴する時は電源以外のボタンを押してください」と表示されます。この間に何も操作がないと、15分後に自動で本機の電源が切れます。何か操作をして15分以上視聴を続けると、予約番組終了後も本機の電源は切れません。

つづきの時間で2つ以上の番組を視聴予約して本機の電源を「切」(待機状態)にした場合は、1つ目の番組を視聴中にリモコン操作をしないと、2つ目の番組開始時刻に本機の電源が入らないことがあります。

お知らせ

視聴予約した番組の開始時刻が3時間以上延びたとき、番組自体が消滅したとき、停電が起こったとき、および、受信障害(BSでの降雨状態など)では視聴予約は実行されません。※視聴予約が実行できなかった場合は、「テレビからのお知らせ」でお知らせします。▶P.47

◆ 重複した予約の優先順位について

■ 放送時間が重なったり、連続したりしているときは

後に始まる番組が優先されます。

また、予約は重複していなくても、前の番組が延長され、結果的に予約が重なってしまった場合も同じです。

■ 開始時刻が同じときは

予約設定が先に行われた番組が優先されます。

番組表や番組検索から予約する

番組表や番組検索から番組を選んで、視聴予約ができます。
USB-HDDへの録画予約もできます。くわしくは **P.93** をご覧ください。

例：視聴予約する場合

準備 番組表 **P.38**、番組検索（検索後）画面 **P.41**
または注目番組一覧 **P.42** を表示する

1 視聴予約したい番組を選んで **決定** を押す



その番組の「番組内容」が表示されます。

2 「視聴予約」を選んで **決定** を押す



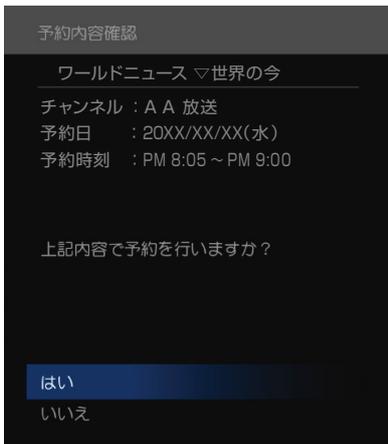
■ 視聴年齢制限のある番組を選んだときは

1 ~ **100** で暗証番号の入力が必要です。 **P.67**

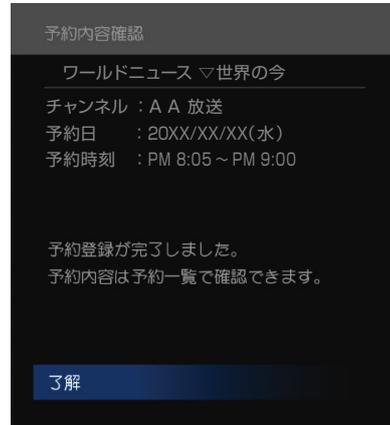
■ 予約が時間的に重なっているときは

「予約が重複しています」と表示されます。
「はい」を選んで **決定** を押して予約したあとで、「予約一覧」を見て確認してください。 **P.57**

3 「はい」を選んで **決定** を押す



4 下の画面が表示されたら、**決定** を押す



予約登録を完了し、番組内容に戻ります。

5 **戻る** を押す

予約した時刻になると

開始時刻の約15秒前に、予約したチャンネルに切り換わります。リモコンで電源を「切」(待機状態)にしても、自動的に本機の電源が入ります。そのまま視聴する場合は、電源以外のボタンを押してください。約15分間無操作が続くと自動的に本機の電源が切れます。

お知らせ

つづきの時間で2つ以上の番組を視聴予約して本機の電源を「切」(待機状態)にした場合は、1つ目の番組を視聴中にリモコン操作をしないと、2つ目の番組開始時刻に本機の電源が入らないことがあります。

！お願い

- 予約の開始時刻が重なっていると、最初に予約した番組のみ視聴できます。 **P.53**
- 「予約が重複しています」と表示された場合は、予約したあとで、「予約一覧」を見て確認してください。 **P.57**

お知らせ

最大15件まで(時刻指定予約 **P.55** を含む)予約できます。

時刻を指定して予約する (時刻指定予約)

時刻とチャンネルを指定して、デジタル放送の番組を視聴予約ができます。
USB-HDDへの録画予約もできます。くわしくは **P.96** をご覧ください。

例: 視聴予約する場合

1 デジタル放送を見ているときに
メニュー を押し、「予約一覧」を選んで
決定 を押す

2 黄 を押す
サブメニューが表示されます。

3 「新規予約」を選んで決定 を押す



4 ◀▶ でカーソルを移動して、「予約日」を
選ぶ



5 ◀▶ でカーソルを移動して、「開始時刻」と
「終了時刻」を選ぶ



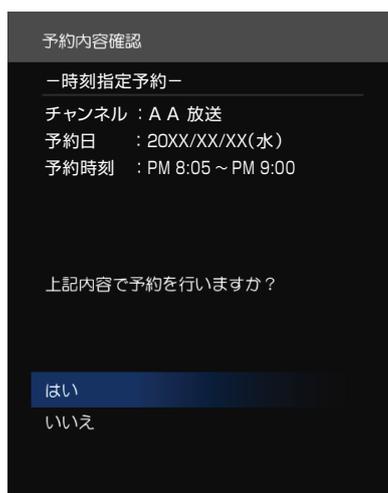
6 ◀▶ でカーソルを移動して、
「チャンネル」を選ぶ



7 「視聴予約」を選んで決定 を押す



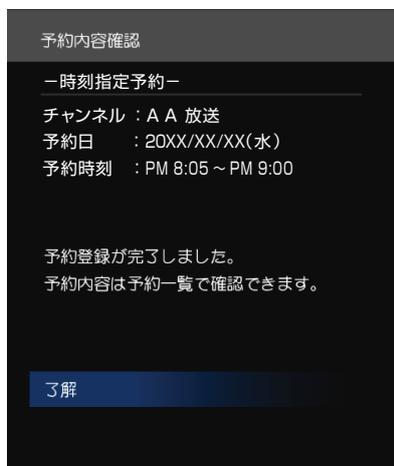
8 「はい」を選んで決定 を押す



視聴予約する

時刻を指定して予約する (時刻指定予約)(つづき)

9 下の画面が表示されたら、**決定**を押す



予約登録を完了し、手順**4**の画面に戻ります。

10 **戻る**を2回押す

予約した時刻になると

開始時刻の約15秒前に、予約したチャンネルに切り換わります。
リモコンで電源を「切」(待機状態)にしていても、自動的に本機の電源が入ります。そのまま視聴する場合は、電源以外のボタンを押してください。約15分間無操作が続くと自動的に本機の電源が切れます。

お知らせ

つづきの時間で2つ以上の番組を視聴予約して本機の電源を「切」(待機状態)にした場合は、1つ目の番組を視聴中にリモコン操作をしないと、2つ目の番組開始時刻に本機の電源が入らないことがあります。

！お願い

- 予約の開始時刻が重なっていると、最初に予約した番組のみ視聴できます。 **P.53**
- 「予約が重複しています」と表示された場合は、予約したあとで、「予約一覧」を見て確認してください。 **P.57**

お知らせ

最大15件まで(番組表や番組検索からの予約 **P.54**を含む)予約できます。

予約を確認する／取り消す

次の予約登録内容は、予約一覧で確認できます。

- 視聴予約
- 録画予約

予約が重複したり、連続したりしているときや、件数がいっぱいになってしまったときに、確認したり、消去したりすることができます。

1 デジタル放送を見ているときに メニュー を押し、「予約一覧」を選んで 決定 を押す

番組表 P.38 を表示中に **黄** を押しサブメニューを表示し、「予約一覧」を選んで、**決定** を押して予約一覧を表示することもできます。

2 予約状況を確認する



予約の種類によってアイコン P.118 が表示されます。同じ種類の予約が時間的に重なっていると、▲が表示されます。

予約一覧の見かた

- ① 選択中の予約
- ② 現在の日時
- ③ 予約種別
- ④ 毎日／毎週の録画予約
- ⑤ 重複している予約
- ⑥ ガイド表示

お知らせ

- 開始時刻が前の予約の終了時刻と連続しているときは、先に始まる番組の予約が少し早く（約1分）終了し、正しく録画／視聴できません。この場合は、「予約一覧」では▲が表示されませんので、ご注意ください。
- 番組表や番組検索から予約している番組が、放送局の都合で放送時間に変更されたり、放送が中止されたりした場合は、自動的に予約内容がキャンセルされます。
- 予約が重複していると、正しく録画／視聴できません。P.53、90

◆ 予約を取り消す場合

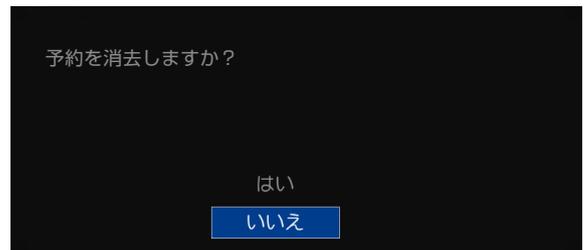
確認だけして通常画面に戻る場合は、手順 ③～⑤ は必要ありません。手順 ⑥ に進んでください。

3 取り消す番組を選んで **黄** を押す サブメニューが表示されます。

4 「予約消去」を選んで **決定** を押す



5 「はい」を選んで **決定** を押す



6 戻る を押す

予約を確認する／取り消す (つづき)

◆ 予約を複数取り消す場合

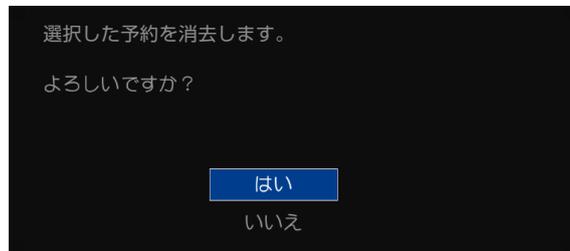
3 取り消す番組を選んで **黄** を押す
サブメニューが表示されます。

4 「複数予約消去」を選んで **決定** を押す



6 「決定」を選んで **決定** を押す

7 「はい」を選んで **決定** を押す



8 **戻る** を押す

5 さらに取り消す番組を選んで **決定** を押す



- この手順を繰り返して、取り消したい番組をすべて選びます。
- 番組を取り消し対象にすると、 (チェック)が付きます。
- 取り消し対象からはずしたい場合は、該当する番組を選んで **決定** ボタンを押します。

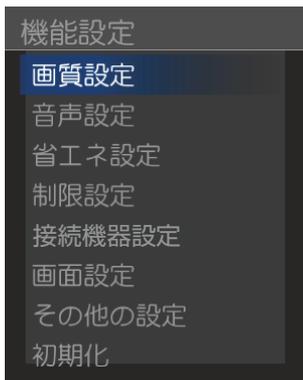
画質設定をする

画質をお好みの設定にしたいときに調整します。

画質設定の表示のしかた

1 **メニュー** を押し、**▲ ▼**、**決定** で「機能設定」を表示させる

2 「画質設定」を選んで **決定** を押す

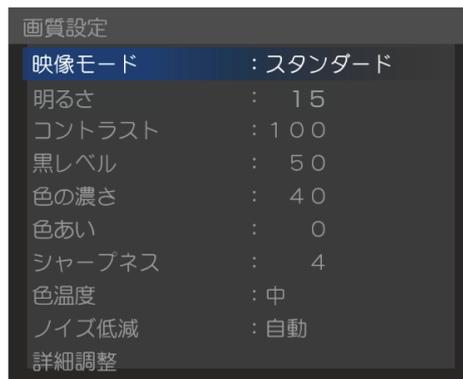


映像モードを切り換える

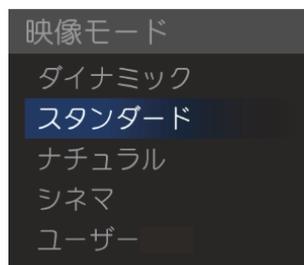
5つの「映像モード」から選ぶことができます。それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。P.60

1 「画質設定」を表示する

2 「映像モード」を選んで **決定** を押す



3 設定を選んで **決定** を押す



4 **メニュー** を押す

映像モードの種類

ダイナミック

色鮮やかでコントラストを強調した映像モードです。明るい環境での視聴やスポーツ鑑賞にも適しています。

スタンダード

消費電力を抑制した標準的な画質の映像モードです。

ナチュラル

自然な画質の映像モードです。

シネマ

映画鑑賞に最適な映像モードです。

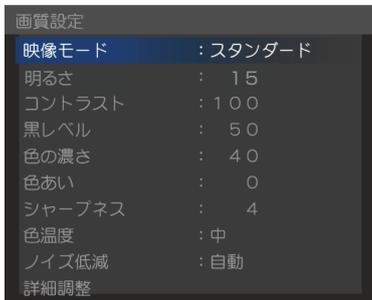
ユーザー

デジタル放送(地上・BS・CS)、各入力(ビデオなど)ごとにお好みに合わせて細かい調整ができます。P.60

お知らせ

「映像モード」は、デジタル放送(地上・BS・CS)および、各入力(ビデオなど)ごとに選ぶことができます。

画質設定について



映像モード

映像に合った画質設定を、5つのモードの中から選ぶことができます。

明るさ P.60

画面全体の明るさを調整します。

コントラスト P.60

映像の白い部分の明るさを調整します。

黒レベル P.60

映像の暗い部分の明るさを調整します。

色の濃さ P.60

色の濃淡を調整します。

色あい P.60

色あいを調整します。

シャープネス P.60

映像のくっきり感を調整します。

色温度 P.60

色調を調整します。

ノイズ低減 P.60

映像にのった微細なノイズを減らします。

お好みに合わせて設定する

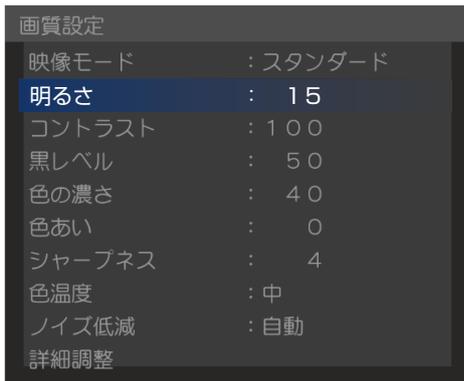
画質設定をする (つづき)

画質調整をする

「映像モード」[P.59](#)は、それぞれお好みの画質に調整することができます。画質調整を行うと、「映像モード」は自動的に「ユーザー」に切り換わります。

1 「画質設定」を表示する [P.59](#)

2 調整項目を選んで **決定** を押す

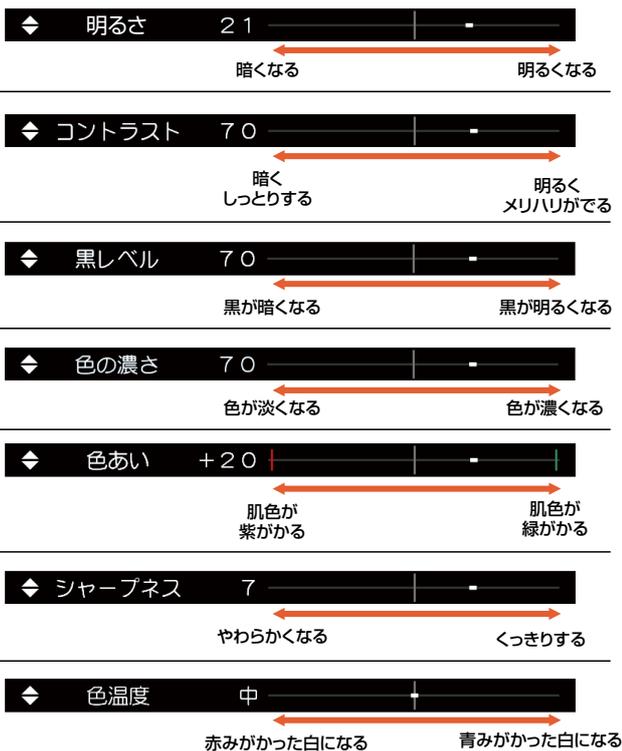


3 ◀▶ で調整して、**決定** を押す



4 **メニュー** を押す

画質調整の調整項目



より美しい映像で見るために

お部屋の明るさに応じて

「明るさ」で画面の明るさを調整してください。

テレビに近づいて見るときは

「明るさ」で画面をやや暗めに、「シャープネス」で少しやわらかめに調整してください。

暗い映画などで、黒がつぶれぎみのときは

「黒レベル」で黒つぶれが少なくなるように調整してください。

ノイズの多いビデオなどを再生するときは

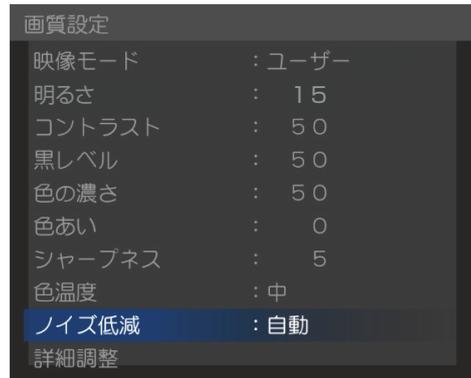
「ノイズ低減」を「切」以外に設定してください。

ノイズ低減を設定する

微細なノイズを減らすことができます。「ノイズ低減」の設定を変更すると、「映像モード」は自動的に「ユーザー」に切り換わります。

1 「画質設定」を表示する [P.59](#)

2 「ノイズ低減」を選んで **決定** を押す



3 設定を選んで **決定** を押す



4 **メニュー** を押す

ノイズ低減の種類

自動

映像にあわせて自動でノイズを低減します。

強、中、弱

ノイズ低減の強さが変更できます。

切

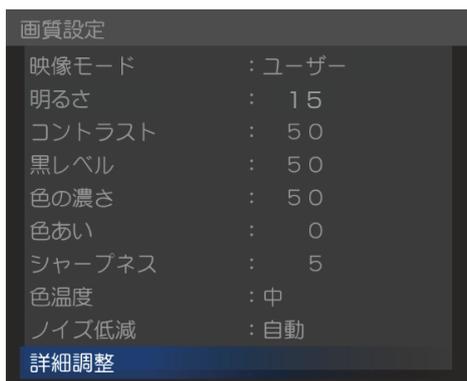
ノイズ低減がオフになります。

さらに細かく画質設定をする(詳細調整)

「詳細調整」では、さらに細かく画質を調整することができます。

1 「画質設定」を表示する **P.59**

2 「詳細調整」を選んで **決定** を押す



3 目的の調整項目を選んで **決定** を押す

4 設定を選んで **決定** を押す

「ガンマ調整」は、**◀▶** で調整してください。

5 **メニュー** を押す

詳細調整の調整項目

黒補正		中間よりも暗い部分の階調を高めて濃淡を強調する調整をします。
コントラスト補正		映像に応じて、映像のコントラスト感を自動的に調整します。暗いシーンなどを鮮明な映像に調整します。
ガンマ調整		映像の階調調整をします。ガンマ特性を入力信号に合わせて調整して、コントラスト感のある画質に仕上げます。
ブロックノイズ低減		デジタル放送のブロック状のノイズと輪郭部分に現れるモスキートノイズを軽減します。

お知らせ

「詳細調整」は画質の変化が大きいため、一度に複数項目の変更をせず、1項目変更することに通常の「画質設定」**P.59**を変更して確認しながら設定していくと、比較的早くお好みの最良画質にすることができます。

「詳細調整」項目を変更した場合は、通常の「画質設定」の変更で、更に画質が向上する場合があります。

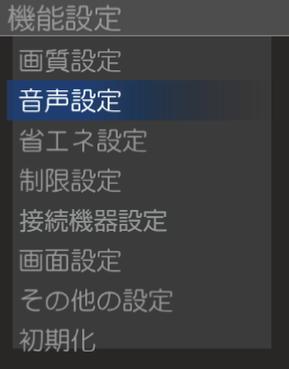
音声設定をする

音声をお好みの設定にしたいときに調整します。

音声設定の表示のしかた

1 **メニュー** を押し、**▲ ▼**、**決定** で「機能設定」を表示させる

2 「音声設定」を選んで **決定** を押す



音声設定について

音声モード	: スタンダード
高音	: + 2
低音	: - 1
左右バランス	: 0
DTS TruSurround	: 入
ぴったり音量	: 切
デジタル音声出力	: PCM
スピーカー出力	: テレビスピーカー
ヘッドホン出力	: スピーカー連動

音声モード* P.63

映像に合った音声モードを、5つのモードの中から選ぶことができます。

高音* P.63

スピーカーの高音を調整します。

低音* P.63

スピーカーの低音を調整します。

左右バランス* P.63

スピーカーの左右バランスを調整します。

DTS TruSurround P.64

DTS TruSurround™を設定します。臨場感あふれるサラウンド効果を楽しめます。

ぴったり音量* P.64

CMや番組の切り換わりなど、音量が大きく変わるシーンにおいて、音量の変化を自動的に調整します。

デジタル音声出力 P.64

ARC(オーディオリターンチャンネル)を使用したHDMI端子から出力される音声形式を設定します。

スピーカー出力 P.65

スピーカー出力の設定をします。

ヘッドホン出力 P.65

ヘッドホン使用中にスピーカーからも同時に音声を出力するかを切り換えることができます。

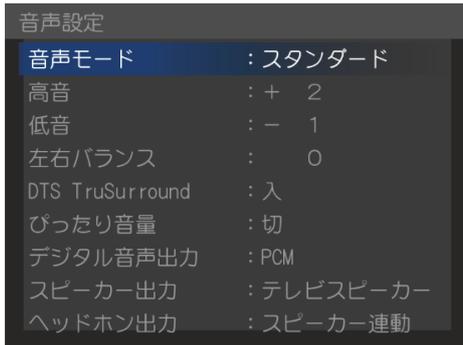
*印のついた設定は、「ヘッドホン出力」を「スピーカー非連動」に設定しているとき、ヘッドホンへの音声出力にははたきません。(本機のスピーカーから出力される音声にのみ反映されます。)

音声モードを切り換える

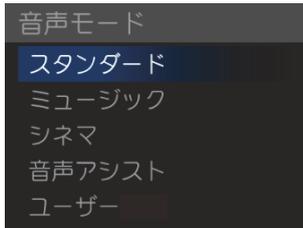
映像に合った音質の設定を5つのモードの中から選ぶことができます。それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。

1 「音声設定」を表示する **P.62**

2 「音声モード」を選んで **決定** を押す



3 設定を選んで **決定** を押す



4 **メニュー** を押す

お知らせ

「音声モード」は、デジタル放送(地上・BS・CS)および、各入力(ビデオなど)ごとに選ぶことができます。

音声モードの種類

スタンダード

標準的な音質です。一般的な視聴におすすめします。

ミュージック

低音、高音を強調した音質です。
音楽番組の視聴に適したモードです。

シネマ

効果音などの迫力ある音を強調した音質です。
映画番組などの視聴に適したモードです。

音声アシスト

高音を強調し、人の声を聞き取りやすくした音質です。
ニュース番組などの視聴に適したモードです。

ユーザー

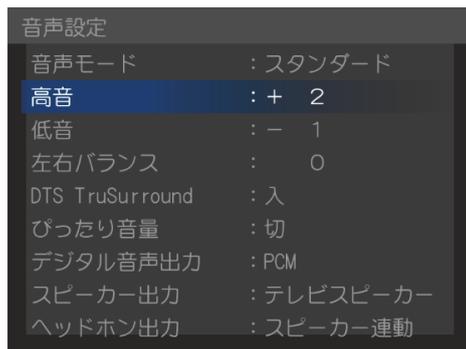
デジタル放送(地上・BS・CS)、各入力(ビデオなど)ごとにお好みに合わせて細かい調整ができます。 **P.64**

音質調整をする

「音声モード」は、それぞれお好みの音質に調整することができます。音質調整を行うと、「音声モード」は自動的に「ユーザー」に切り換わります。

1 「音声設定」を表示する **P.62**

2 調整項目を選んで **決定** を押す

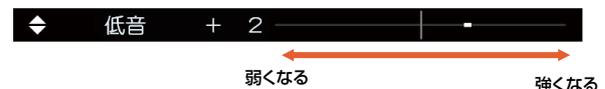


3 **◀▶** で調整して、**決定** を押す



4 **メニュー** を押す

音質調整の調整項目



音声設定をする (つづき)

お好みにおろせし設定をする

DTS TruSurround™を楽しむ

TVのスピーカーを通して、豊かな重低音、伸びやかな高音、明瞭な台詞、臨場感あふれるサラウンド効果をお楽しみいただけます。

「DTS TruSurround」の設定を変更すると、「音声モード」は自動的に「ユーザー」に切り換わります。

1 「音声設定」を表示する P.62 ▶

2 「DTS TruSurround」を選んで **決定** を押す

3 設定を選んで **決定** を押す



入	DTS TruSurround™のサラウンド効果をお楽しみいただけます。
切	DTS TruSurround™がオフになります。

4 **メニュー** を押す

ぴったり音量にする

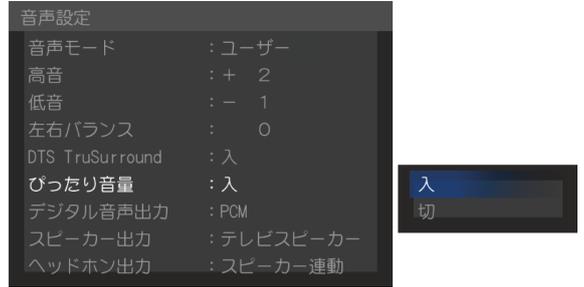
CMになったとき、番組が変わったとき、入力を切り換えたとき、映画のシーンが変わったときなど、音量が大きく変わるようなシーンにおいて、音量の変化を自動的に調節します。

「ぴったり音量」の設定を変更すると、「音声モード」は自動的に「ユーザー」に切り換わります。

1 「音声設定」を表示する P.62 ▶

2 「ぴったり音量」を選んで **決定** を押す

3 設定を選んで **決定** を押す



入	通常の使用において、聞き取りやすく自然な効果になるよう音量を自動で補正します。
切	ぴったり音量がオフになります。

4 **メニュー** を押す

お知らせ

- 静かなシーンが続くときなど、音量を大きくする効果が強くはたらくので雑音聞こえることがあります。
- ダイナミックレンジが重要な音楽の視聴では、音量補正効果によりダイナミックレンジを圧縮するため迫力感が弱くなります。

デジタル音声出力設定をする

本機とARC対応のオーディオ機器を接続して、デジタル放送のデジタル音声を楽しむ場合 P.25 ▶ は、機器との接続後に以下の設定が必要です。

1 「音声設定」を表示する P.62 ▶

2 「デジタル音声出力」を選んで **決定** を押す

3 設定を選んで **決定** を押す



PCM	音声形式をリニアPCMに変換して出力します。 [自動]を選択したときにオーディオ機器が音声を出力しない場合に設定します。
自動	受信した音声形式でそのまま出力します。

4 **メニュー** を押す

お知らせ

- 「PCM」とは、Pulse Code Modulation の略称で音楽用CDなどで使われている2chのデジタル信号です。
- HDMI-CECに対応していない外部オーディオアンプを使って音声を聞くときは、テレビの音量を「0」にするか、「スピーカー出力」を「外部音声機器」にしてください。
- 本設定はデジタル放送に有効です。

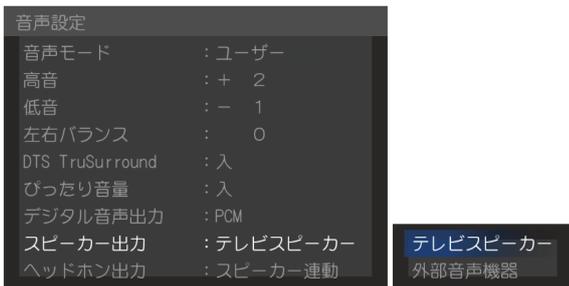
スピーカー出力を設定する

「スピーカー出力」の設定をします。

1 「音声設定」を表示する **P.62**

2 「スピーカー出力」を選んで **決定** を押す

3 設定を選んで **決定** を押す



テレビスピーカー	スピーカーから音声を出力します。
外部音声機器	スピーカーから音声を出力しません。HDMI連動対応のアンプが接続されている場合は、音量キーでアンプの音量が調節できます。

4 **メニュー** を押す

お知らせ

「スピーカー出力」を「外部音声機器」にした場合は、「HDMI機器制御」を「入」にする必要があります。 **P.70**

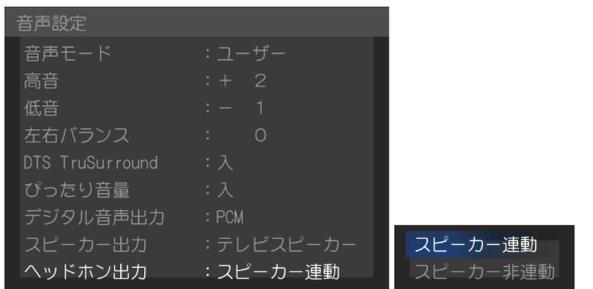
ヘッドホンの出力設定をする (ヘッドホン出力)

耳の遠い方などがヘッドホンを使用しているとき、周囲の方も一緒に視聴できるように、スピーカーの音声を同時に出力させることができます。「ヘッドホン出力」を「スピーカー非連動」にした場合は、ヘッドホンを挿入した状態で、音量+/-ボタンを押しても、ヘッドホンの音量は変わりません。スピーカーの音量のみ変わります。

1 「音声設定」を表示する **P.62**

2 「ヘッドホン出力」を選んで **決定** を押す

3 設定を選んで **決定** を押す



スピーカー連動	ヘッドホン使用中はスピーカーからの音声を出力しません。
スピーカー非連動	ヘッドホン使用中にスピーカーからも同時に音声を出力します。ヘッドホンの音量を変えるには、「テレビ操作」の「ヘッドホン音量」 P.46 で個別に設定する必要があります。

4 **メニュー** を押す

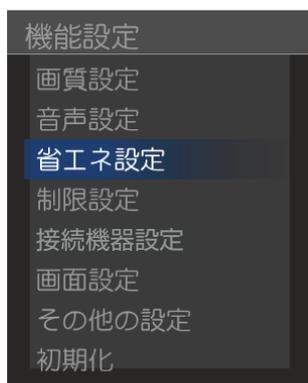
省エネ設定をする

いろいろな節約の設定をします。

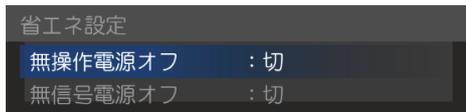
省エネ設定の表示のしかた

1 **メニュー** を押し、▲▼、**決定** で「機能設定」を表示させる

2 「省エネ設定」を選んで **決定** を押す



省エネ設定について



無操作電源オフ

無操作時に電源をオフにする設定をします。

無信号電源オフ

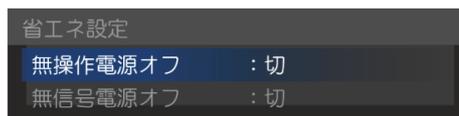
無信号時に電源をオフにする設定をします。

省エネ設定をする

省エネに関する設定ができます。

1 「省エネ設定」を表示する

2 項目を選んで **決定** を押す



無操作電源オフ	「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。約3時間テレビを操作しなかった場合は、自動的に電源が切れます。
無信号電源オフ	「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。放送終了後など、映像信号がなくなった状態で約10分経つと、自動的に電源が切れます。

3 設定を選んで **決定** を押す



4 **メニュー** を押す

お知らせ

無操作電源オフ「入」では、電源が切れる1分前から「無操作電源オフ 1分前」と表示されます。引き続き見るときは、音量を変えるなどリモコン操作をしてください。

無信号電源オフ「入」では、

- 電源が切れる1分前から「無信号電源オフ 1分前」と表示されます。
- 接続しているビデオがブルーバックのときは、はたらきません。

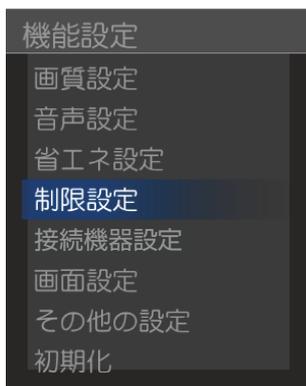
制限設定をする

視聴の許可年齢を超える番組の視聴を制限します。

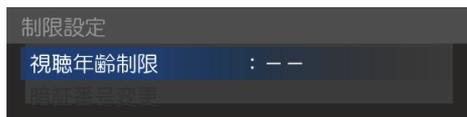
制限設定の表示のしかた

1 **メニュー** を押し、**▲ ▼**、**決定** で「機能設定」を表示させる

2 「制限設定」を選んで **決定** を押す



制限設定について



視聴年齢制限

年齢制限のある視聴番組を制限するための設定をします。

暗証番号変更 [P.69](#)

視聴制限設定の暗証番号を変更します。

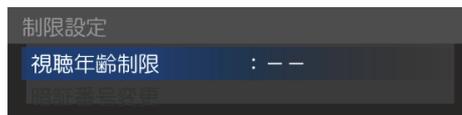
暗証番号を登録して視聴制限を設定する

一定の年齢以上でないと見ることができない番組に対して、暗証番号を登録し、視聴を制限することができます。

■ 初めて視聴制限を設定するとき
(暗証番号が未設定のとき)

1 「制限設定」を表示する

2 「視聴年齢制限」を選んで **決定** を押す



3 1 ~ 10₀ で4桁の暗証番号を入力する



入力した数字は「*」で表示されます。

■ 「0」を入力するときは

10₀ を押す

■ 間違えたときは

◀ を押すと、1文字消える

お好みに合わせて設定する

制限設定をする (つづき)

4 もう一度、同じ暗証番号を入力する



■ 2回目に入力した暗証番号が間違っていたときは

「暗証番号の設定が一致しません。もう一度入力してください。」と表示されます。

画面の説明に従って、もう一度始めから暗証番号を入力してください。

お知らせ

万一、暗証番号を忘れた場合には、「機能設定初期化」[P.86](#)後に、再設定していただく必要があります。ただし、「機能設定初期化」をすると「ネットワーク接続設定」と「HDD設定」をのぞくすべての「機能設定」がお買い上げ時の状態に戻ります。

5 設定を選んで **決定** を押す



制限なし	番組の視聴年齢制限に関係なく視聴できます。
4才～19才	4才から19才まで1才単位で設定できます。番組の視聴年齢制限が設定した年齢より上の場合は、例えば「15才以上」に設定すると、番組の視聴年齢制限が「18才以上」のときは、暗証番号を入力しないと視聴できなくなります。

6 設定が終わったら、**メニュー** を押す

■ 視聴制限の設定を変更するとき (暗証番号が設定済みするとき)

1 「制限設定」を表示する [P.67](#)

2 「視聴年齢制限」を選んで **決定** を押す

3 **1** ~ **10/0** で4桁の暗証番号を入力する



入力した数字は「*」で表示されます。

■ 「0」を入力するときは

10/0 を押す

■ 間違えたときは

◀を押すと、1文字消える

4 設定を選んで **決定** を押す



5 変更が終わったら、**メニュー** を押す

■ 暗証番号を変更するとき

1 「制限設定」を表示する P.67

2 「暗証番号変更」を選んで **決定** を押す



3 1 ~ 10₀ で4桁の暗証番号を入力する



入力した数字は「*」で表示されます。

■ 「0」を入力するときは

10₀ を押す

■ 間違えたときは

◀を押すと、1文字消える

4 1 ~ 10₀ で4桁の新しい暗証番号を入力する



入力した数字は「*」で表示されます。

■ 「0」を入力するときは

10₀ を押す

■ 間違えたときは

◀を押すと、1文字消える

5 もう一度、同じ暗証番号を入力する



■ 2回目に入力した暗証番号が間違っていたときは

「暗証番号が一致しません。もう一度入力してください。」と表示されます。

画面の説明に従って、もう一度始めから暗証番号を入力してください。

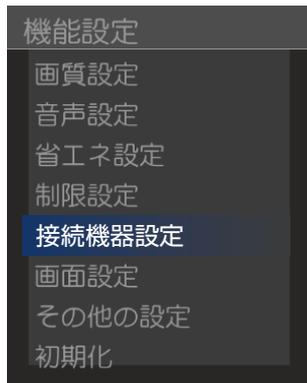
6 **メニュー** を押す

接続機器設定をする

USB-HDDの登録やHDMI-CECに関する設定をします。

接続機器設定の表示のしかた

- 1 **メニュー** を押し、**▲▼**、**決定** で「機能設定」を表示させる
- 2 「接続機器設定」を選んで **決定** を押す



接続機器設定について



HDD設定 P.91

USB-HDDの設定をします。

HDMI機器制御

HDMI-CECによるリンク制御をします。

テレビ電源切連動

テレビの電源「切」時、HDMI-CEC対応機器の電源も連動して「切」にします。

HDMI機器入連動

HDMI-CEC対応機器の電源「入」時、テレビの電源も連動して「入」にします。

外部チューナー連動

HDMI-CEC対応機器を視聴しているときに、本機のリモコンの数字ボタンやチャンネル**▲▼**で操作できます。

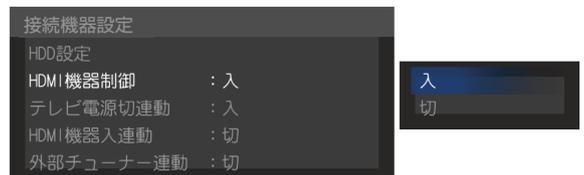
HDMI-CECの設定をする

- 1 「接続機器設定」を表示する
- 2 設定項目を選んで **決定** を押す



HDMI機器制御	HDMI-CEC対応機器を接続したときは「入」を選んでください。
テレビ電源切連動	「入」で、テレビの電源を「切」にすると、HDMI-CEC対応機器の電源も連動して「切」になります。
HDMI機器入連動	「入」で、HDMI-CEC対応機器の電源を「入」すると、テレビの電源も連動して「入」になります。
外部チューナー連動	「入」で、HDMI-CEC対応機器を視聴しているときに本機のリモコンの数字ボタンとチャンネル ▲▼ で選局操作ができます。放送波の切換はできません。

- 3 設定を選んで **決定** を押す



- 4 **メニュー** を押し、本機の電源を入れ直す

お知らせ

- 本機のHDMI-CEC機能を使用するには、接続された機器がHDMI-CECに対応している必要があります。機器により仕様が異なる場合があります。くわしくはHDMI-CEC対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- デジタル音声をARCで出力するには、「HDMI機器制御」を「入」にしてください。ARCを使用するために、接続する外部機器の設定が必要な場合があります。外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

！お願い

HDMI-CEC機能を中止するために「HDMI機器制御」を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

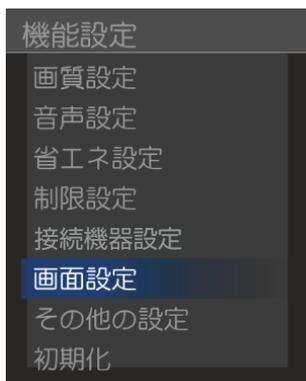
画面設定をする

ビデオ入力の画面モードの自動切換を設定します。

画面設定の表示のしかた

1 **メニュー** を押し、▲▼、**決定** で「機能設定」を表示させる

2 「画面設定」を選んで **決定** を押す



画面設定について



ビデオ画面自動切換

ビデオ入力の画面モードを自動で切り換えます。

ビデオ画面自動切換の設定をする

1 「画面設定」を表示する

2 設定項目を選んで **決定** を押す



ビデオ画面自動切換	「入」で、ID-1 信号があるDVDなどをアナログ入力の映像入力端子で接続したときに、画面モードが自動で切り換わります。
-----------	--

3 設定を選んで **決定** を押す



4 **メニュー** を押す

お知らせ

- 画面モードについてはP.36をご覧ください。
- 次のようなときは、「ビデオ画面自動切換」を「切」に設定してください。
 - ・ DVDやデジタル放送を録画したビデオテープで正常に動作しないとき
 - ・ ビデオの一時停止や早送り、巻戻しをするときに、画面モードが変化するのが気になるとき

放送受信設定をする

番組を視聴するための「放送受信設定」をします。

放送受信設定について

- かんたん一括設定
- 地上デジタル設定
- BS/CSデジタル設定
- 共通設定

かんたん一括設定 P.30

テレビを見るために必要な設定がかんたんにできます。

地上デジタル設定

地上デジタル放送を見るためのチャンネル設定をします。

BS / CS デジタル設定 P.76

BS・110度CSデジタル放送を見るためのチャンネル設定をします。

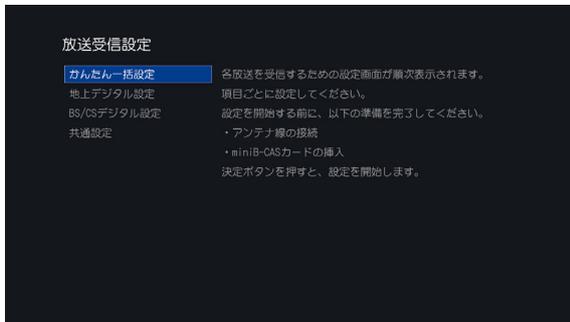
共通設定 P.77

地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の共通の設定をします。

かんたん一括設定で再設定する

1 **メニュー** を押し、**▲▼**、**決定** で「放送受信設定」を表示させる

2 「かんたん一括設定」を選んで **決定** を押す



3 「かんたん一括設定」を行う P.30

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「困ったときは（地上デジタル放送のとき）」P.113をご覧ください。

地上デジタル放送のチャンネル設定をする

転居された場合や、お住まいの地域で放送局の開局・変更があった場合には、チャンネル設定が必要です。

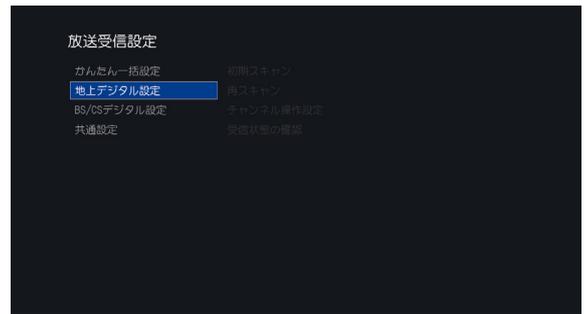
地上デジタル放送を見るための、お住まいの地域の情報を取得します。

転居された場合は、「初期スキャン」を行ってください。県域設定で指定した地域の放送局で、開局や周波数変更の可能性があるときは、「テレビからのお知らせ」P.47でお知らせします。この場合は、「再スキャン」を行ってください。

■ 転居したときや、お住まいの地域で放送局の開局・変更があったとき

1 **メニュー** を押し、**▲▼**、**決定** で「放送受信設定」を表示させる

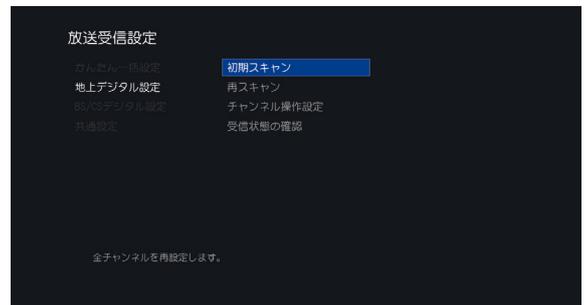
2 「地上デジタル設定」を選んで **決定** を押す



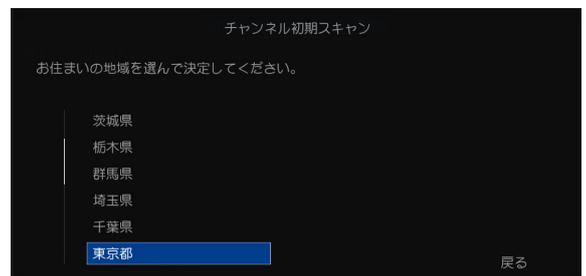
◆ 転居したとき

放送局の開局・変更があったときは、手順3～5は必要ありません。手順6に進んでください。

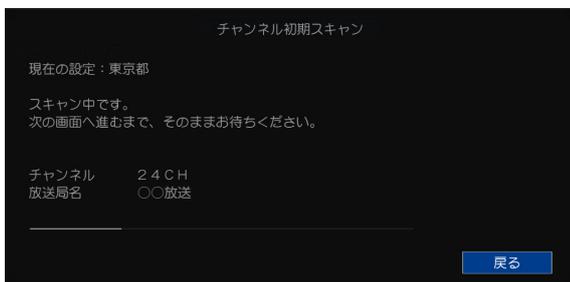
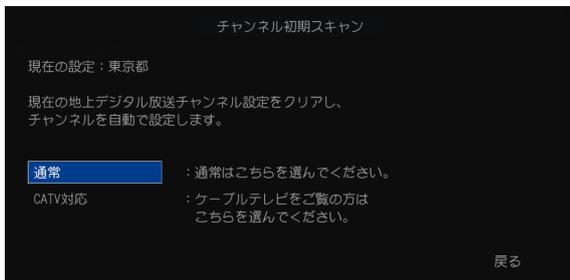
3 「初期スキャン」を選んで **決定** を押す



4 お住まいの地域を選んで **決定** を押す



5 「スキャンしたい放送の種類」を選んで決定を押す

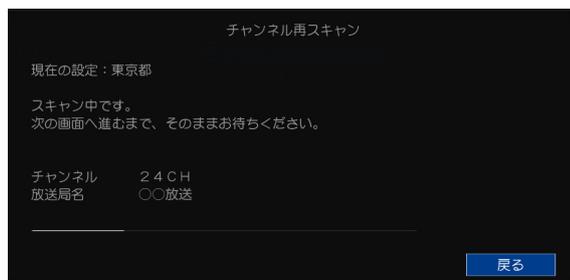
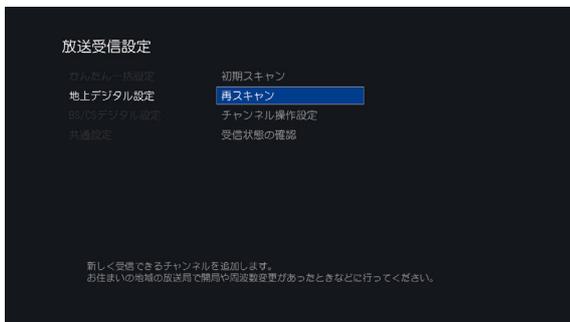


- スキャン中に「戻る」を押すと、設定を中断できます。

◆ 放送局の開局・変更があったとき

手順 3 ~ 5 を行った場合は、手順 6 は必要ありません。

6 「再スキャン」を選んで決定を押す

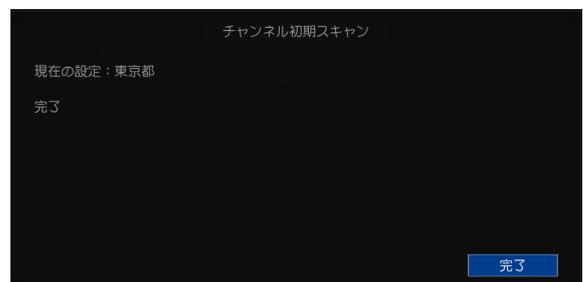


- スキャン中に「戻る」を押すと、設定を中断できます。

7 受信した放送局を確認し、決定を押す



8 「完了」が選ばれていることを確認し、決定を押す



- 「決定」を押すと、手順 2 の画面に戻ります。

9 メニューを押す

お知らせ

受信できる地上デジタル放送のチャンネルがひとつもない場合は、

- アンテナが正しく接続されていない
- お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されていない
- アンテナレベルが小さい

の可能性があります。
アンテナの接続またはお住まいの地域の地上デジタル放送の電波状況をご確認ください。

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「困ったときは（地上デジタル放送のとき）」P113をご覧ください。

放送受信設定をする (つづき)

数字ボタンのチャンネルを追加・変更する

リモコンの **1** ~ **12** ボタンにチャンネルが設定されていないボタンがあるとき、チャンネルを追加することができます。また、設定されているチャンネルを、お好みで別のチャンネルに変更できます。

1 **メニュー** を押し、**▲▼**、**決定** で「放送受信設定」を表示させる

2 「地上デジタル設定」を選んで **決定** を押す

- BS・110度CSデジタル放送の場合は「BS / CSデジタル設定」を選んで **決定** を押します。

3 「チャンネル操作設定」を選んで **決定** を押す

- BSデジタル放送の場合は「BSチャンネル操作設定」を、CSデジタル放送の場合は「CSチャンネル操作設定」を選んで **決定** を押します。



4 「リモコン数字ボタン割当」を選んで **決定** を押す

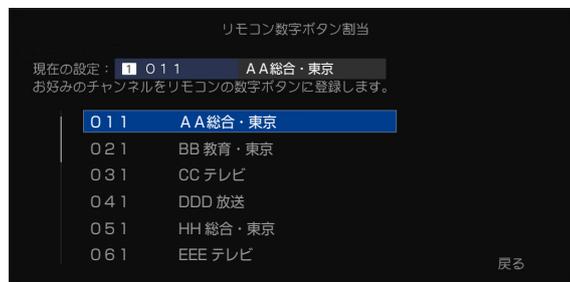


5 設定したいリモコン番号を選んで **決定** を押す



- 「---」のボタンが、チャンネルが設定されていないボタンです。

6 追加したいチャンネルを選んで **決定** を押す



7 設定が終わったら、「完了」を選んで **決定** を押す

チャンネルの飛び越し(スキップ)を設定する

デジタル放送の視聴しないチャンネルや同じ内容のチャンネルをチャンネル▲▼ボタンで選局するときに飛び越し(スキップ)したり、番組表から消去したりすることができます。

1 **メニュー** を押し、**▲▼**、**決定** で「放送受信設定」を表示させる

2 「地上デジタル設定」を選んで**決定** を押す

- BS / CS デジタル放送の場合は「BS / CS デジタル設定」を選んで**決定** を押します。

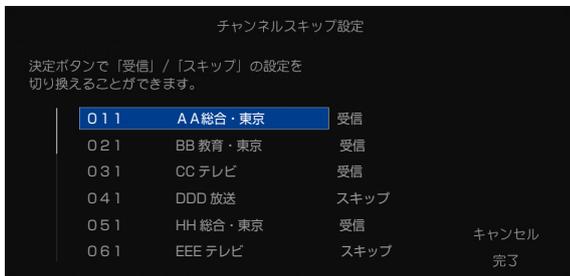
3 「チャンネル操作設定」を選んで**決定** を押す

- BS デジタル放送の場合は「BS チャンネル操作設定」を、CS デジタル放送の場合は「CS チャンネル操作設定」を選んで**決定** を押します。

4 「チャンネルスキップ設定」を選んで**決定** を押す



5 スキップしたいチャンネルを選んでから、**決定** を押して「受信」を「スキップ」に変更する



- チャンネルをスキップすると、「受信」が「スキップ」に変わります。
- 「スキップ」に設定しているチャンネルは、チャンネル▲▼ボタンで選局するときにスキップされ、番組表から消去されます。

6 設定が終わったら、「完了」を選んで**決定** を押す

お知らせ

- 同じチャンネルでは、チャンネル▲▼ボタンのスキップ設定と番組表の表示設定を異なる設定にはできません。
- 放送局によっては、時間帯ごとに複数(2~3程度)のチャンネルで同一の内容を放送したり、それぞれのチャンネルで別の内容を放送したりする場合があります。スキップ設定する場合は、番組表などで放送内容を確認してから行ってください。
- 複数チャンネルで同一の内容を放送している場合は、自動的にスキップされます。

受信状態の確認をする

デジタル放送用のアンテナを最初に設置するときや転居したときなどは、アンテナレベルの数値がアンテナの向きを決める目安になります。また、BS・110度CSアンテナを接続したときは、アンテナ電源の設定が必要です。

■ 地上デジタル放送用のアンテナを設置したとき

1 **メニュー** を押し、**▲▼**、**決定** で「放送受信設定」を表示させる

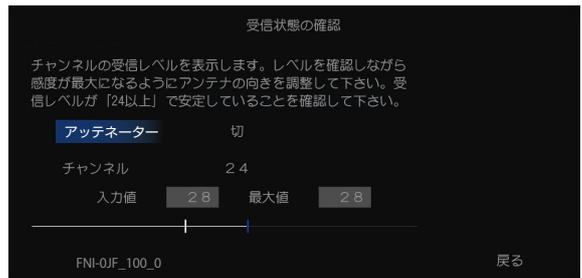
2 「地上デジタル設定」を選んで**決定** を押す

3 「受信状態の確認」を選んで**決定** を押す



アンテナレベルを目安にして、アンテナの向きを決めます。

4 アンテナレベルを確認する

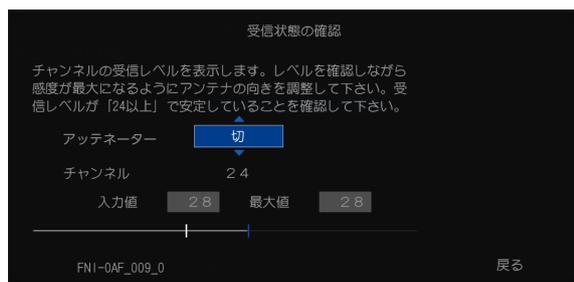


放送受信設定をする (つづき)

地上デジタル放送の映りが悪いときは (アッテネーター)

地上デジタル放送の電波が強すぎて、正常に受信できないような場合は、「アッテネーター」を「入」にします。通常は「切」にしてお使いください。

5 「アッテネーター」を選んで **決定** を押し、設定を切り替えて **決定** を押す



6 **メニュー** を押す

お知らせ

アンテナレベルの数値は、受信信号電力対雑音電力比の換算値で、受信状況を知るための手助けとなります。安定して視聴できるレベルは「24以上」が目安ですが、地上デジタル放送では、放送局、環境によって数値が大きくなる場合があります。地上デジタル放送の受信可能地域については、一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 (A-PAB) のホームページ <http://www.apab.or.jp/> をご覧ください。

■ BS・110度CSアンテナを接続したとき

1 **メニュー** を押し、▲▼、**決定** で「放送受信設定」を表示させる

2 「BS / CS デジタル設定」を選んで **決定** を押す

3 「アンテナ電源」を選んで **決定** を押す

BS・110度CSアンテナの接続先によって、アンテナ電源の設定を選びます。

4 設定を選んで **決定** を押す

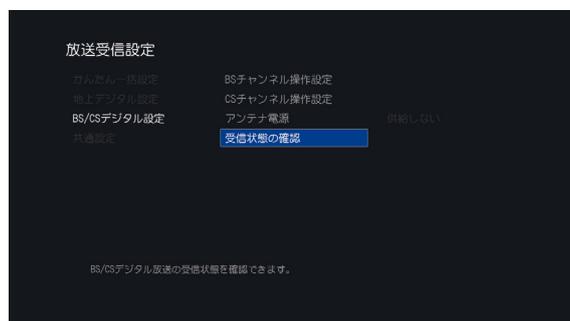


供給する	BS・110度CSアンテナに本機を直接つないでいる場合に選びます。BS・110度CSアンテナへの電源は、本機が電源「切」(待機)時(電源LEDが消灯中)でも常に供給され、「クイック起動」も自動的に「入」に設定されます。
テレビ連動	BS・110度CSアンテナに本機を直接つないでいる場合に選びます。BS・110度CSアンテナへの電源は、本機の電源と連動して本機から供給します。
供給しない	他の機器からBS・110度CSアンテナへの電源供給をしている場合や、マンションなどで共同受信している場合に選びます。BS・110度CSアンテナへの電源は、本機から供給しません。

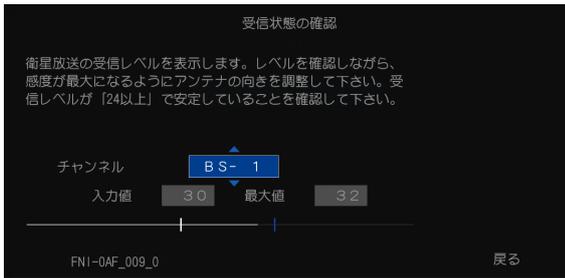
アンテナレベルを目安にして、アンテナの向きを決めます。

5 「BS / CS デジタル設定」を選んで **決定** を押す

6 「受信状態の確認」を選んで **決定** を押す



7 アンテナレベルを確認する

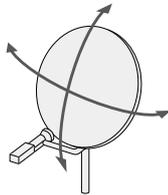


最大値

「受信状態の確認」を開始してから入ってきた電波の中で最大の入力レベル。最大値の位置にある青色のバーをアンテナレベルが超える様に、アンテナの方向を決めます。最大値が入力されるよう、アンテナを動かしてください。

入力値

この値が「最大」の値に近づくように、アンテナを動かします。安定して視聴できるアンテナレベルの目安は「24」以上です。



8 メニューを押す

お知らせ

- 「アンテナ電源」の設定を「テレビ連動」にした場合は、電源「切」(待機)時(電源LEDが消灯中)は、本機からアンテナ電源を供給しません。内部処理のためアンテナ電源が維持されることがありますが一時的なものです。
- アンテナレベルは天候などの影響を受け、上下することがあります。
- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/N(受信信号電力対雑音電力比)の換算値を表します。
- アンテナ線の心線と編組線およびそれらにつながる部分が接触すると、アンテナ電源を「供給する」および「テレビ連動」に設定していた場合でも自動的に「供給しない」に切り換わり、「アンテナ電源」を選択できなくなります。電源プラグを抜いてアンテナ線およびアンテナ接続コネクタを確認してください。一旦電源プラグを抜くと、「アンテナ電源」の設定を行うことができます。

文字スーパーを設定する

ニュース速報など、放送上に文字スーパーの情報が含まれている場合は、表示される文字スーパーの言語を設定します。

- 1 **メニュー** を押し、▲▼、**決定** で「放送受信設定」を表示させる
- 2 「共通設定」を選んで **決定** を押す
- 3 「文字スーパー」を選んで **決定** を押す
- 4 設定を選んで **決定** を押す



日本語	日本語で表示します。
英語	英語で表示します。
切	表示しません。

5 メニューを押す

お知らせ

- 放送に文字スーパーの情報が含まれていないときや、番組(強制的に文字スーパーが表示されるものなど)によっては、設定通りに表示されないことがあります。
- 「切」に設定していても、自動表示モードの文字スーパーは強制的に表示されます。
- 日本語、英語以外の文字スーパーは表示しません。

放送受信設定をする (つづき)

県域と郵便番号を設定する

デジタル放送の文字スーパーやデータ放送による臨時放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お住まいの地域の情報を受信するために、県域と郵便番号を設定してください。

郵便番号は、お買い上げ時の「かんたん一括設定」で設定済みですが、必要に応じて設定し直してください。

1 **メニュー** を押し、**▲▼**、**決定** で「放送受信設定」を表示させる

2 「共通設定」を選んで **決定** を押す

◆ 県域設定

3 「県域設定」を選んで **決定** を押す

4 お住まいの地域を選んで **決定** を押す

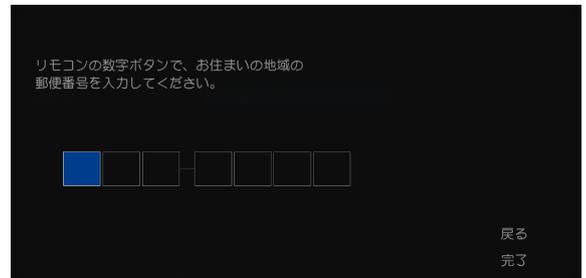


◆ 郵便番号設定

5 「郵便番号設定」を選んで **決定** を押す



6 1~10で お住まいの地域の郵便番号を入力する



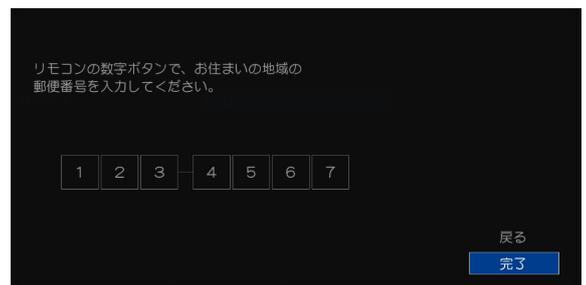
■ 「0」を入力するときは

10 を押す

■ 間違えたときは

◀ で戻り、入力し直す

7 「完了」が選ばれていることを確認し、**決定** を押す



8 設定が終わったら、**メニュー** を押す

番組表 (Gガイド) の設定をする

番組検索や注目番組を表示するために、お住まいの地域の設定と受信テストをします。

1 **メニュー** を押し、▲▼、**決定** で「放送受信設定」を表示させる

2 「共通設定」を選んで **決定** を押す

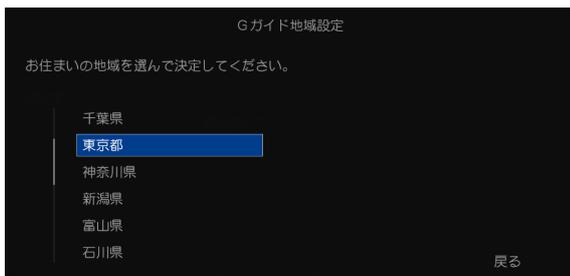
3 「番組表設定」を選んで **決定** を押す

◆ Gガイド地域設定

4 「Gガイド地域設定」を選んで **決定** を押す



5 お住まいの地域を選んで **決定** を押す

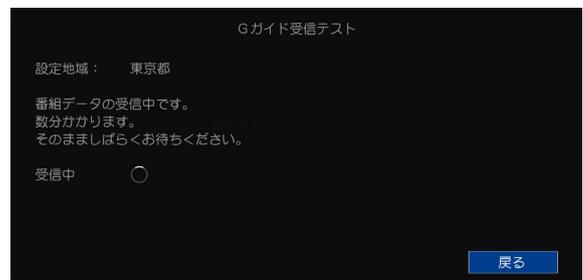


◆ Gガイド受信確認

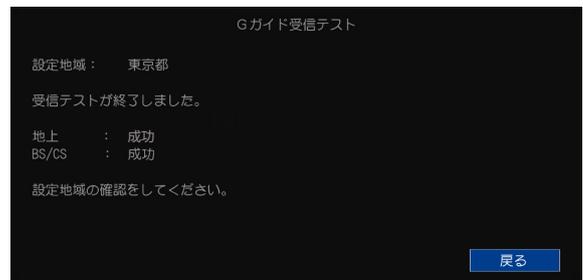
6 「Gガイド受信確認」を選んで **決定** を押す



● Gガイドの受信テストが始まり、下の画面が表示されます。



7 受信テストが終わって下の画面が表示されたら、内容を確認する



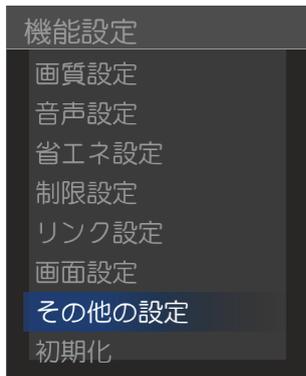
8 **メニュー** を押す

その他の設定をする

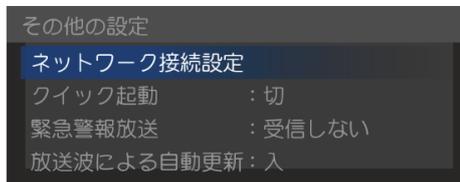
いろいろな機能を使うための設定をします。

その他の設定の表示のしかた

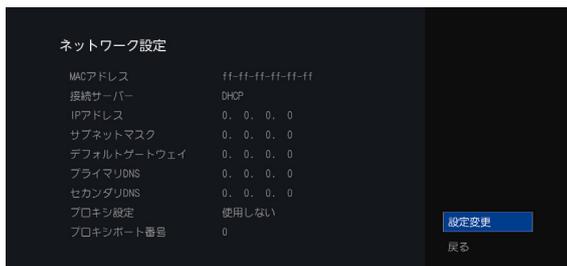
- 1 **メニュー** を押し、▲▼、**決定** で「機能設定」を表示させる
- 2 「その他の設定」を選んで **決定** を押す



- 2 「ネットワーク接続設定」を選んで **決定** を押す



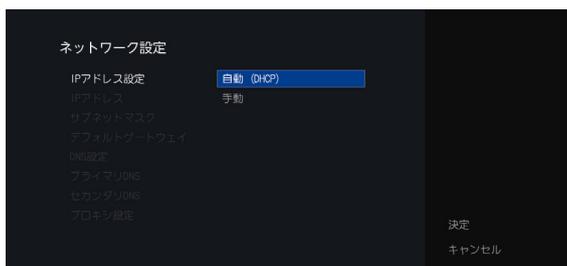
- 3 「設定変更」を選んで **決定** を押す



- 4 「IPアドレス設定」を選んで **決定** を押す



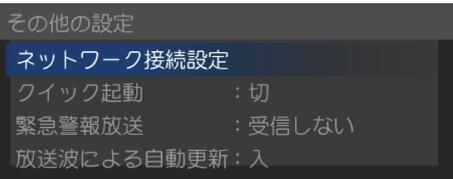
- 5 「自動 (DHCP)」を選んで **決定** を押す



- 6 「DNS設定」を選んで **決定** を押す



その他の設定について



ネットワーク接続設定

本機のネットワーク設定をします。

クイック起動 **P.84**

テレビ電源「入」時に映像をすばやく表示しますが、電源「切」(待機)時の消費電力が増加します。

緊急警報放送 **P.84**

緊急警報放送の受信時に自動的に電源を「入」にします。電源「切」(待機)時の消費電力が増加します。

放送波による自動更新 **P.85**

本機の制御プログラムを自動的に最新の内容に書き換えます。

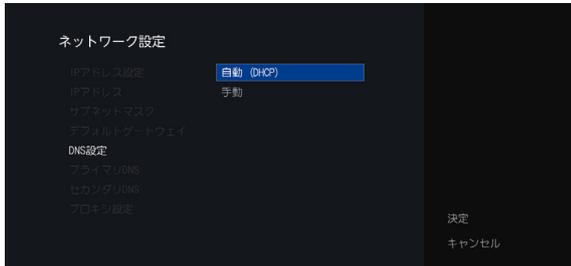
ネットワークの設定をする

データ放送の双方向通信を、ブロードバンド回線経由でご利用になる場合の設定です。プロバイダとの契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に設定してください。

■ DHCPを使用して必要な情報を自動取得する場合

- 1 「その他の設定」を表示する

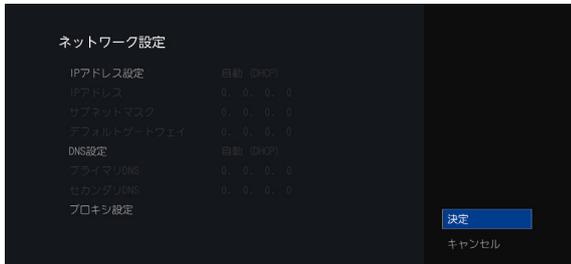
7 「自動 (DHCP)」を選んで決定を押す



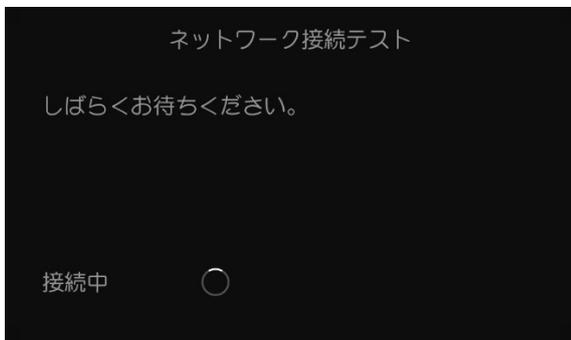
お知らせ

プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合は、P.83 をご覧ください。

8 「決定」を選んで決定を押す



- ネットワーク接続テストが始まり、下の画面が表示されます。



9 接続テストが終わって結果画面が表示されたら、内容を確認して決定を押す

- 「ネットワーク接続に成功しました。決定ボタンを押してください。」以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従ってもう一度設定を行ってください。

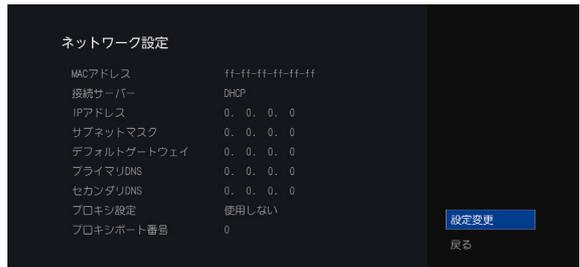
10 メニューを押す

■ 必要な情報を手動で入力する場合

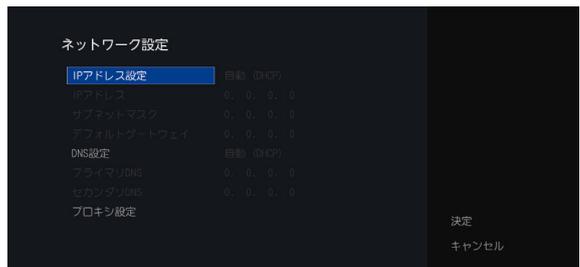
1 「その他の設定」を表示する P.80

2 「ネットワーク接続設定」を選んで決定を押す

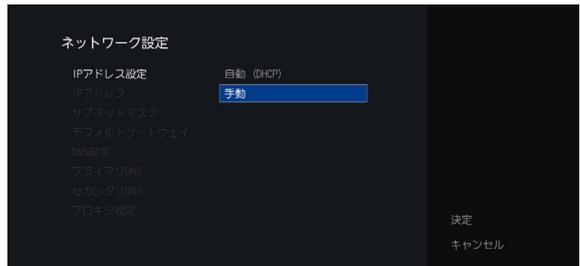
3 「設定変更」を選んで決定を押す



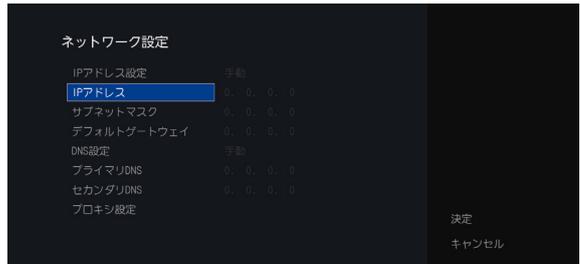
4 「IPアドレス設定」を選んで決定を押す



5 「手動」を選んで決定を押す



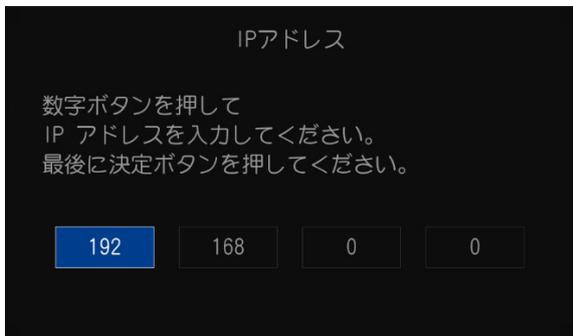
6 「IPアドレス」を選んで決定を押す



お好みに合わせて設定する

その他の設定をする (つづき)

7 IPアドレスを **1** ~ **10** の数字ボタンで入力する



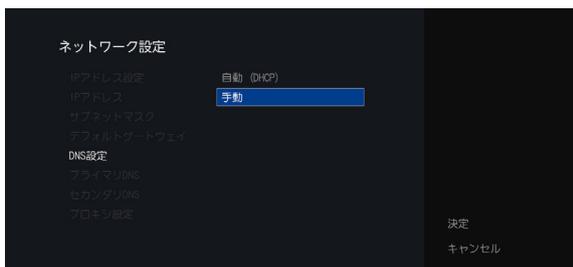
■ 間違えたときは
◀で戻り、入力し直す

8 同様に「サブネットマスク」と「デフォルトゲートウェイ」にも、必要に応じて入力する

9 「DNS 設定」を選んで **決定** を押す



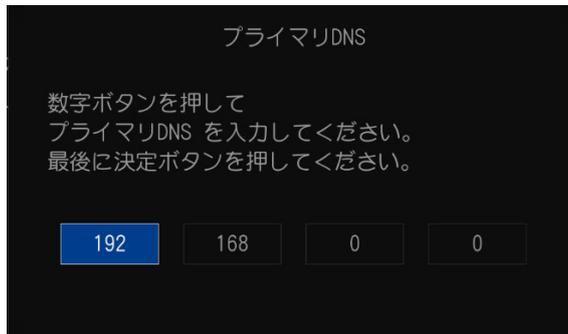
10 DNS 設定が必要な場合は、「手動」を選んで **決定** を押す



11 「プライマリ DNS」を選んで **決定** を押す



12 **1** ~ **10** の数字ボタンで入力する



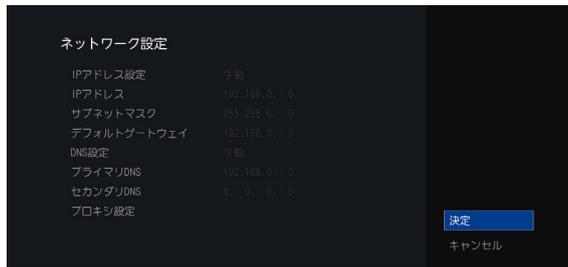
■ 間違えたときは
◀で戻り、入力し直す

13 同様に「セカンダリ DNS」も、必要に応じて入力する

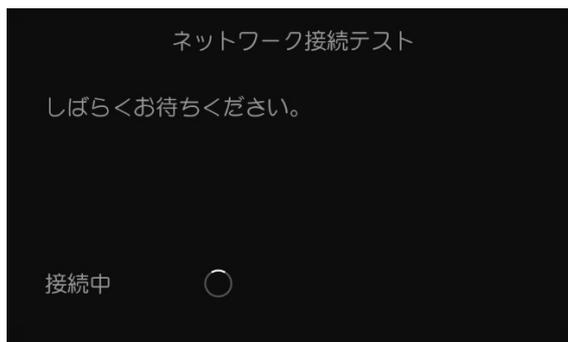
お知らせ

プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合は、**P.83** をご覧ください。

14 「決定」を選んで **決定** を押す



● ネットワーク接続テストが始まり、下の画面が表示されます。



15 接続テストが終わって結果画面が表示されたら、内容を確認して **決定** を押す

● 「ネットワーク接続に成功しました。決定ボタンを押してください。」以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従ってもう一度設定を行ってください。

16 **メニュー** を押す

■ プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合

1 P.81 手順 7、または P.82 手順 13の後に、「プロキシ設定」を選んで決定を押す



2 「有効」を選んで決定を押す



3 プロキシアドレスを入力する

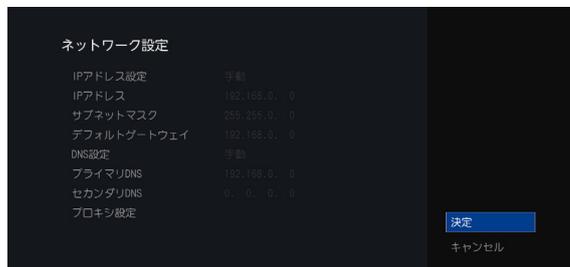


- ① 半英小(小文字)「半英大(大文字)」 「半数」を選ぶ
- ② 1~10を押して文字(数字/記号)を入力する
 - ①~②を繰り返して入力します。
 - 間違えたときは黄を押して、入力し直してください。
- ③ 入力が終わったら、決定を押す

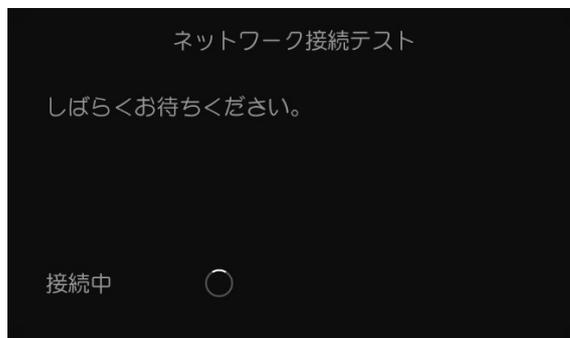
4 1~10を押して「プロキシポート番号」を入力し、決定を押す



5 「決定」を選んで決定を押す



- ネットワーク接続テストが始まり、下の画面が表示されます。



6 接続テストが終わって結果画面が表示されたら、内容を確認して決定を押す

- 「ネットワーク接続に成功しました。決定ボタンを押してください。」以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従ってもう一度設定を行ってください。

7 メニューを押す

その他の設定をする (つづき)

クイック起動を設定する

電源を入れてから本機が使用できるまでの時間を短縮できます。

1 「その他の設定」を表示する **P.80**

2 「クイック起動」を選んで **決定** を押す

3 設定を選んで **決定** を押す



入	クイック起動を有効にします。 電源「切」(待機)時の消費電力が増加します。
切	クイック起動を無効にします。 電源「切」(待機)時に緊急警報放送の受信とアンテナ電源供給はできません。

4 **メニュー** を押す

！お願い

故障の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜く場合は、できるだけ「クイック起動」を「切」に設定して、本機の電源を切ってから抜くことをおすすめします。

お知らせ

「クイック起動」を「切」にすると、「アンテナ電源」の設定が「供給する」のときは「テレビ連動」に、「緊急警報放送」の設定が「受信する」のときは「受信しない」に自動的に変更されます。

緊急警報放送の受信を設定する

電源「切」(待機)時に「緊急警報放送」を受信するかを設定します。

緊急警報放送とは、電波法施行規則第2条で規定する緊急警報信号を使用して、地震など大規模災害が発生した場合や、津波警報が発表された場合など、災害の発生に伴う被害の予防や軽減に役立たせることを目的とした放送です。

1 「その他の設定」を表示する **P.80**

2 「緊急警報放送」を選んで **決定** を押す

3 設定を選んで **決定** を押す



受信する	緊急警報放送を受信したときに、自動的に本機の電源を「入」にします。 ただし、「クイック起動」が「入」(固定)となり、電源「切」(待機)時の消費電力が増加します。
受信しない	電源「切」(待機)時に緊急警報放送を受信しません。デジタル放送視聴時はメッセージを表示します。

4 **メニュー** を押す

お知らせ

- 電源「入」時に緊急警報放送を受信すると、自動的にチャンネルを切り換えることがあります。
- 受信した試験信号や放送局の送信状況によっては、自動的に電源が「入」にならない場合があります。
- 「緊急警報放送」を「受信する」に設定している場合は、緊急警報放送が放送局より送信されている間は、本機の電源を「切」にしても、しばらくすると自動的に電源が「入」になります。緊急警報放送を受信しても、本機を自動で起動させないようにするには、「緊急警報放送」を「受信しない」に切り換えてください。

放送波による自動更新設定をする

自動更新とは、電源「切」(待機)時にデジタル放送電波を使ってソフトウェアを自動的に書き換える機能です。この機能により、新しい放送環境に合わせて機能アップや機能改善を行うことができます。

お買い上げ時は、自動で更新を行う設定になっていますので、お客様による操作や設定は不要です。

1 「その他の設定」を表示する P.80

2 「放送波による自動更新」を選んで 決定 を押す

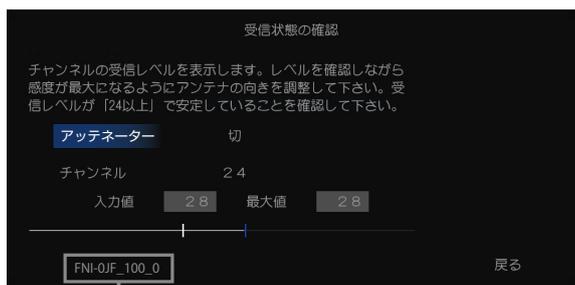
3 設定を選んで 決定 を押す



入	デジタル放送の電波を使って、本機の機能を自動的に更新するようにします。
切	自動更新を行いません。

4 メニュー を押す

ソフトウェアのバージョン確認方法について



現在の本機ソフトウェアのバージョン

※ 以下の手順にしたがって、現在の本機ソフトウェアのバージョンを確認してください。

- ・「メニュー」→「放送受信設定」→「地上デジタル放送」→「受信状態の確認」で画面左下に表示されます。
- ・確認が終わったら、メニュー を押してください。

ダウンロードについて

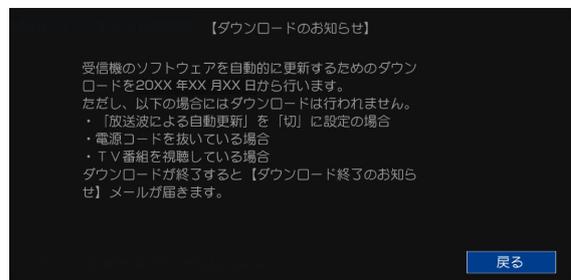
ダウンロードはいつ行われるの？

ダウンロードは、製品出荷後、適時実施してまいります。お客様にダウンロード実施時期および期間はお知らせしておりません。本機をご使用になっていない場合にも、電源「切」(待機)の状態にさせていただくことをおすすめします。CATV(ケーブルテレビ)でもダウンロードは行われます。同じようにお使いください。

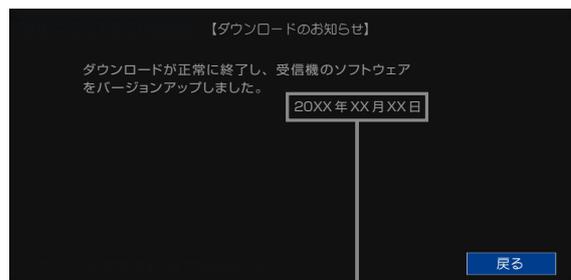
ダウンロードが行われるとき

- 「ダウンロードのお知らせ」が届きます。お知らせが届くと本機の電源を「入」にしたとき、または画面表示を出したときに「お知らせあり」と表示されます。

※お知らせメールについては P.47 をご覧ください。



- ダウンロード実施期間中に、デジタル放送電波を使って、1日に数回、数分間程度のソフトウェアが送信されます。ダウンロードは本機が電源「切」(待機)時に、そのソフトウェアを受信して自動的に書き換えます。
- ダウンロードが成功すると「ダウンロード終了のお知らせ」が届きます。



ダウンロードの実施日

以下のような場合にはダウンロードが行われません

- 電源コードが抜かれている(電源LEDが消灯中)
- アンテナレベルが23以下になっている P.49
- 「放送波による自動更新」の設定が「切」になっている
- 録画予約実行中
- 視聴予約実行中
- 電源が「入」(電源LEDが青点灯)のとき

ダウンロードによって、本機のソフトウェアが更新されたとき、この取扱説明書に記載されている画面や文言と本機が一致なくなることがあります。

設定を初期化する

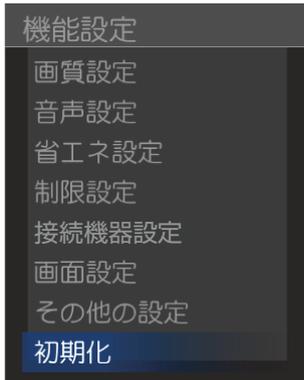
一部の設定またはすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

一部の設定を初期化する

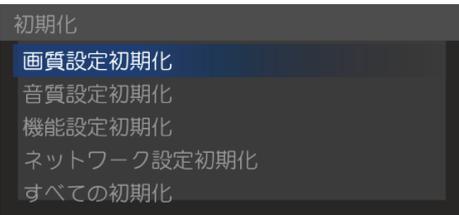
「画質設定」、「音声設定」、「機能設定」、「ネットワーク接続設定」を、別々にお買い上げ時の状態に戻します。

1 **メニュー** を押し、▲▼、**決定** で「機能設定」を表示させる

2 「初期化」を選んで **決定** を押す

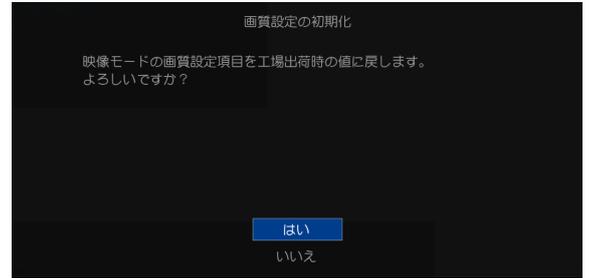


3 初期化したい設定を選んで **決定** を押す



画質設定初期化	「画質設定」の設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。
音質設定初期化	「音声設定」の設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。
機能設定初期化	「機能設定」の設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。ただし、「ネットワーク接続設定」および「HDD設定」は初期化されません。
ネットワーク設定初期化	「ネットワーク接続設定」の設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。

4 「はい」を選んで **決定** を押す



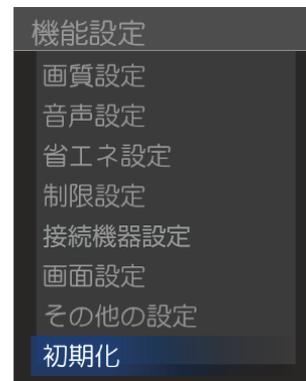
5 **メニュー** を押す

すべての設定を初期化する

本機のすべての設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 **メニュー** を押し、▲▼、**決定** で「機能設定」を表示させる

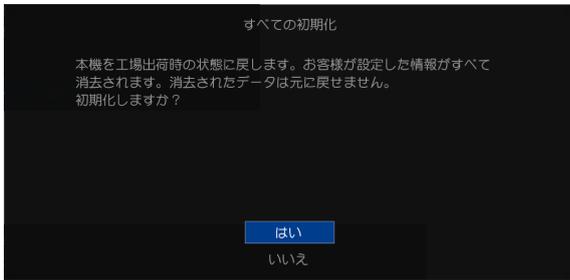
2 「初期化」を選んで **決定** を押す



3 「すべての初期化」を選んで **決定** を押す

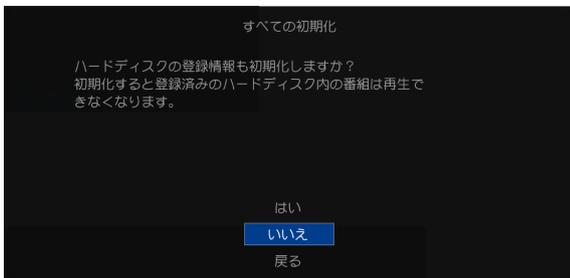


4 「はい」を選んで **決定** を押す



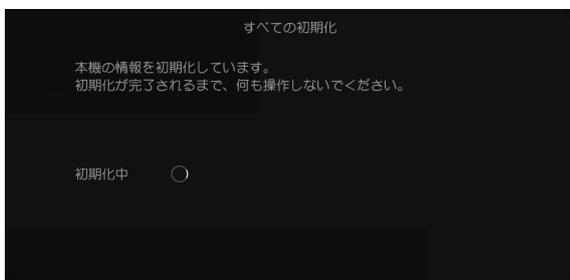
- この手順で「はい」を選んでも、すぐに初期化は始まりません。手順5で初期化の種類を選んでください。

5 初期化の種類を選んで **決定** を押す

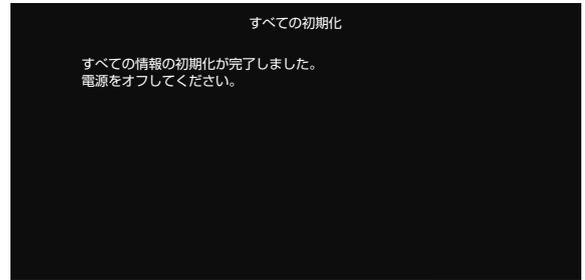


はい	すべての設定を初期化し、お買い上げ時の状態に戻します。USB-HDDの登録情報 P.91 も初期化（消去）されます。登録情報を初期化すると登録済みのUSB-HDD内の番組は再生できませんのでご注意ください。
いいえ	登録したUSB-HDDの再生をできるようにしてお買い上げ時の状態に戻すときに選びます。
戻る	初期化しないときに選びます。

- 本機のすべての初期化が始まり、下の画面が表示されます。



6 下の画面が表示されたら、**電源** を押す



- 約1分で初期化が完了します。

！お願い

- 本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、「すべての初期化」を行うことをおすすめします。
- データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

USB-HDDについて

外付けのUSB-HDDをご使用になる際は、以下をお読みになり十分ご理解いただいた上でご使用ください。

USB-HDDとは？

大容量データ記録装置の1つで、大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。

■ 次のようなことは行わないでください。

- USB-HDDに振動や衝撃を与えないでください。特に本機の電源が入っているときは、お気をつけください。
- USB-HDDの電源が入っている状態で、電源プラグを抜かないでください。
- USB-HDDの電源が入っている状態や電源を切った直後、USB-HDDを持ち上げたり動かしたりしないでください。（電源を切ったあと、2分以上経過してから行ってください。）
- USB-HDDが結露した状態で使わないでください。
- USB-HDDは、振動や衝撃、周囲の環境（温度など）の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画（録音）内容が失われたり、正常に動作しなくなったりする恐れがあります。
- USB-HDDが故障すると、USB-HDDの録画（録音）内容が失われることがあります。

USB-HDDへの録画（録音）について

- USB-HDDは機械的部品なので寿命があり、経年的な変化で早期に劣化することがあります。
- USB-HDDを録画（録音）内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。

■ その他

- 本機を長時間使用しないときは、電源を切っておいてください。
- USB-HDDは、お買い上げ時には何も録画されていません。あらかじめ番組などを録画して、再生をお楽しみください。

❗お願い

USB-HDDに異常が発生した場合は、再生が不能になったり、録画（録音）内容が消えたりすることがあります。

USB-HDDをお使いになる前に

- 本機で使用できるUSB-HDDのメーカーや型番については、当社のホームページやUSB-HDDのメーカーのホームページなどでご確認ください。接続試験を行ったUSB-HDDでも、設定により録画・再生ができない場合があります。
- USB-HDDは推奨のものをご使用いただき、USBケーブルはUSB-HDDに付属のケーブルをご使用ください。
- バスパワー型のUSB-HDDは動作保証外です。セルフパワー型のUSB-HDDをご使用ください。
 - バスパワー型とはUSBケーブルから電源が供給されるタイプです。
 - セルフパワー型は専用のACアダプターから電源が供給されるタイプになります。
- 本機のUSB端子には、デジタル放送録画用USB-HDD以外のものを接続しないでください。
- USB-HDDは8台まで本機に登録できます。
- USBハブ（ひとつのUSB端子を複数のUSB端子に変換する機器）を使用するとUSB-HDDを3台まで同時に接続できます。録画再生中やUSB-HDDが動作中は、USB-HDDをはずさないでください。
- 本機に接続できるUSB-HDDは、USB2.0コネクタを持ち、USBマスタストレージクラスで、容量は4TBまでです。
- USB-HDDを接続したり、取りはずしたりするときは…
 - 本機の電源を必ず「切」にしてください。
 - 電源スイッチがあるセルフパワー型のUSB-HDDをお使いの場合は必ず「切」にしてください。
 - 「クイック起動」を「入」に設定している場合は、設定を「切」にしてから電源を「切」にしてください。P84
- USB-HDDの動作中に電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりすると、記録データが消えたり、本機およびUSB-HDDが故障したりする原因になります。
- USB-HDDをお使いになるには、本機に登録P91が必要で、登録の際USB-HDDに保存されたデータはすべて消去されます。
- 本機で録画した番組とパソコンのデータを共存させることはできません。本機で番組を録画したUSB-HDDをパソコンで、またはパソコンでデータを保存したUSB-HDDを本機でお使いになる際は、初期化が行われ録画した番組や保存したデータがすべて消去されますのでご注意ください。
- USB-HDDは非常に精密な機器です。丁寧にお取り扱いください。
- USB-HDDは録画内容の恒久的な保管場所ではありません。

一時的な保管場所としてお使いください。万一録画内容が失われても当社は補償いたしません。大切な番組の録画には、ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオなど、他の機器にも録画することをおすすめします。

- USB-HDDに異常が発生した場合は、USB-HDDの録画内容は失われます。
- USB-HDDは、使用する場所の環境や使用状況が過酷な場合は、数年で寿命となり、録画内容が再生できなくなることがあります。
- 部分的または全体的に次のような症状が頻繁に発生するようになった場合は、USB-HDDの寿命が近づいています。
 - 再生できない、再生と一時停止を繰り返す
 - ブロックノイズ（モザイク状のノイズ）が発生する
 - 映像が乱れる

- 本機で録画した番組は、コピー防止・内容の保護の目的により、本機以外では視聴できません。万一本機が故障し主要な部品を取り替えたり、本機を交換したりした場合でもUSB-HDDに録画した番組は見られなくなりますのでご了承ください。
- 万一何らかの不具合により正常に録画されなかった場合や、録画内容を正常に再生できなくなった場合などの録画内容の補償はできません。
- USB-HDDは、製品に付属の取扱説明書をよくお読みになった上で正しくお取り扱いください。

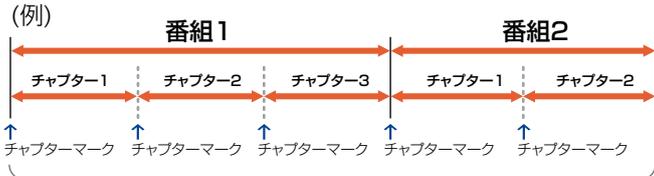
■ 次のようなことは行わないでください。

- USB-HDDの動作中に、USB-HDDの接続ケーブル、本機の電源プラグを抜かない。
- USB-HDDの動作中に、USB-HDDや本機の電源を切らない。

USB-HDDの故障やデータが消失する恐れがあります。
「USB-HDDの取りはずし」P.28をご覧ください。

録画番組の構成について

「番組」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りで構成されます。



チャプターは10分毎に作成されます。
追加・消去はできません。

およその録画時間(目安)

500GBのUSB-HDD(外付け)の場合

地上デジタル	(HD放送)	約65時間
BSデジタル	(HD放送)	約46時間
	(SD放送)	約92時間
110度CSデジタル	(HD放送)	約46時間
	(SD放送)	約92時間

- 残量(録画可能時間)表示は、あくまでもおおよその目安であり、保証するものではありません。
 - 実際の録画時間は、放送の伝送レートにより目安の残量表示とは異なる場合があります。一般的に、伝送レートは、地上デジタル放送では約17Mbps、BS・110度CSデジタル放送では最大24Mbpsとされています。
 - 本機は、BS・110度CSデジタル放送のHD放送(24Mbps)で録画される場合の残量を優先的に表示します。例えば、残量が「11時間20分」などと表示されている場合でも、地上デジタル放送の番組は約17時間録画可能です。
 - 伝送レートの違いにより、録画番組を消去しても、残量は消去した録画番組の時間よりも長くない場合があります。
- 映りが悪い(電波状態が悪い、弱い)番組など、画質が良くない映像を録画した場合は、実際に録画できる時間は短くなります。

録画の種類

今すぐ録画: 今見ている番組をかんとんに録画する

予約録画: 番組表や番組検索から予約する

(番組指定予約) P.94

録画する時刻を指定して予約する

(時刻指定予約) P.96

同時操作

■ 視聴中

○:できる ×:できない

USB-HDDの動作	今すぐ録画	予約録画
今やっていること		
放送視聴中	○	○
外部入力視聴中	×	○

■ 再生中

○:できる ×:できない

USB-HDDの動作	今すぐ録画	予約録画
今やっていること		
USB-HDDの録画中	×	○

■ USB-HDDの録画中

○:できる ×:できない

放送の視聴	再生	追っかけ再生	今すぐ録画	予約録画
○	○	○	×	×

録画についての制限事項

- 12時間を越える録画はできません。12時間を越える時刻指定予約を行ったときにメッセージが表示され、予約登録できません。また、番組指定予約で12時間以上の番組を予約した場合は、12時間を経過した時点で自動的に録画が停止されます。
- 1,000番組を超える録画はできません。

■ 次の番組、映像や音声は録画できません。

- 独立データ放送、ラジオ放送
- 外部入力

CATV(ケーブルテレビ)をご利用の場合は、パススルー方式(本機のアンテナ端子につないで視聴)であれば録画できます。HDMI端子、ビデオ端子など外部入力につないで視聴されている場合は録画できません。

！お願い

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。私的目的で録画したもので、著作権者などに無断で販売したり、インターネット上で公衆に送信したり、営利目的で放映すると著作権侵害となります。

予約についての制限事項

- 番組指定予約、時刻指定予約を合わせて、95件を超える予約はできません。

予約をしたときの本機の動き

■ 予約があるときは

機能LEDが白点灯します。本機の電源プラグは抜かないようにしてください。また、USB-HDDの電源を切ったり、USBケーブルをはずしたりしないようにしてください。

■ 予約録画を終了するとき

視聴中は「録画終了」の表示がでます。

■ 録画中は

機能LEDが白点灯します。

予約が重なった場合

予約が重なっている場合は、予約一覧で重なっている予約に▲が表示されます。(前番組の予約の終了時刻と後番組の予約の開始時刻が同じ場合をのぞく)

下図の■、▨部分は録画されません。

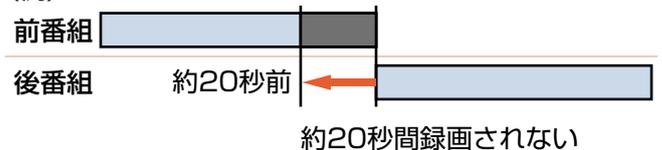
◆ 連続予約(重複なし)

■ 前番組の予約終了時刻と後番組の予約開始時刻が同じ場合

- 前番組の終了約20秒前になったら前番組の予約を終了し後番組の予約を開始します。

→ 前番組の終了約20秒前から終了までの部分は録画されません。

(例)



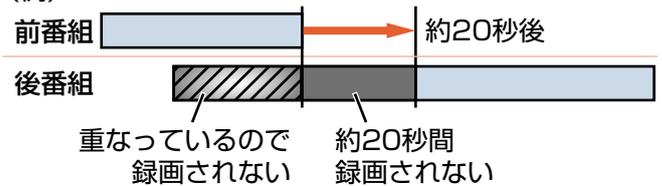
◆ 重複予約(通常予約同士)

■ 前番組の予約終了時刻が後番組の予約開始時刻より遅い場合

- 前番組の終了後、後番組の予約準備を行う。前番組終了から約20秒後、後番組の予約を開始します。

→ 前番組の終了後、約20秒間後番組は録画されません。

(例)



◆ 重複予約(視聴予約と録画予約)

■ どちらも実行されます。

ただし、同一番組の視聴予約と録画予約はできません。

複数の録画予約の優先順位

- ① 開始時刻の早い番組
- ② 予約設定が先に行われた番組 > 予約設定が後に行われた番組

録画予約が実行されない条件

- USB-HDDがフォーマットされていない状態またはUSB-HDDが接続されていないとき
- 停電が起こったとき(電源「入」時に停電が起こったあと、予約終了時刻前に復帰した場合は、そこから予約開始し、予約終了時刻まで録画されます。)
- 録画予約した番組の開始時刻が3時間以上延びたとき
- 番組自体が消滅したとき
- BSでの降雨状態などの受信障害

※録画予約が実行できなかった場合は、「テレビからのお知らせ」でお知らせします。 P.47

USB-HDDを登録する／登録名を変更する

外付けUSB-HDD(市販品)(最大容量4TB)をつなぐ場合は、以下の手順で本機に登録します。また、登録済みのUSB-HDDの登録名が変更できます。

USB-HDDを登録する

1 本機の電源が「切」の状態USB-HDDを本機側面にある専用のUSB端子に接続する P.28

本機の電源を「入」にすると、「本機に登録されていない外付けハードディスクが検出されました。ハードディスク登録設定を行いますか?」の確認画面が表示されます。

「はい」を選んで決定を押した場合は手順6から登録設定を行ってください。

2 メニューを押し、▲▼、決定で「機能設定」を表示させる

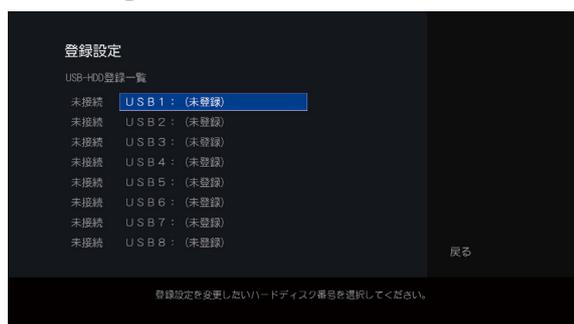
3 「接続機器設定」を選んで決定を押す

4 「HDD設定」を選んで決定を押す

5 「USB-HDD登録設定」を選んで決定を押す

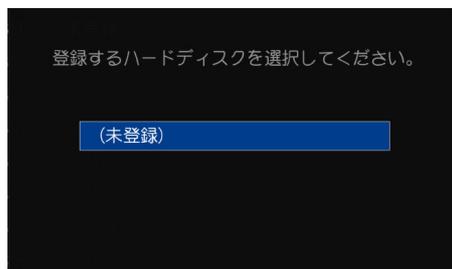


6 「未登録」と表示されている行を選んで決定を押す



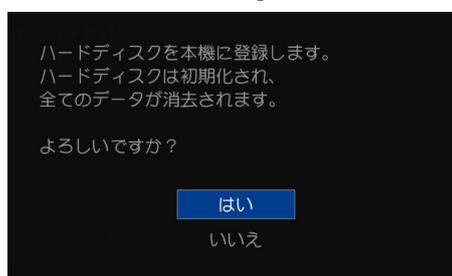
本機に登録したUSB-HDDは、本機以外では使用できません。本機と同じものを2台お持ちの場合でも、それぞれに登録し直す必要があります。

7 下の画面が表示されたら、決定を押す

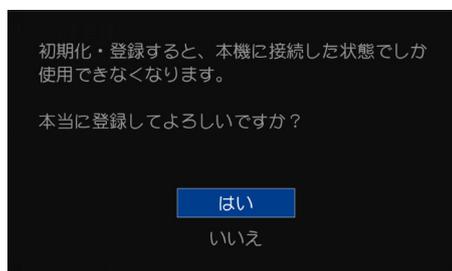


- 登録済みのUSB-HDDを接続していた場合は、「すでに登録済みの機器が接続されています。この操作は不要です。決定ボタンを押してください。」と表示されます。

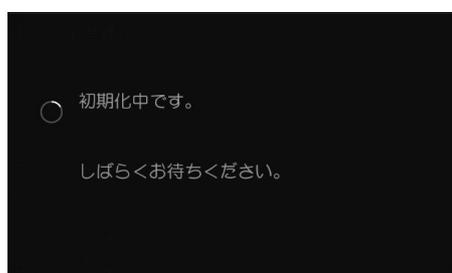
8 「はい」を選んで決定を押す



9 もう一度「はい」を選んで決定を押す



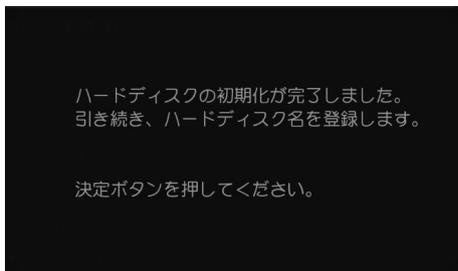
- USB-HDDの初期化が始まり、下の画面が表示されます。



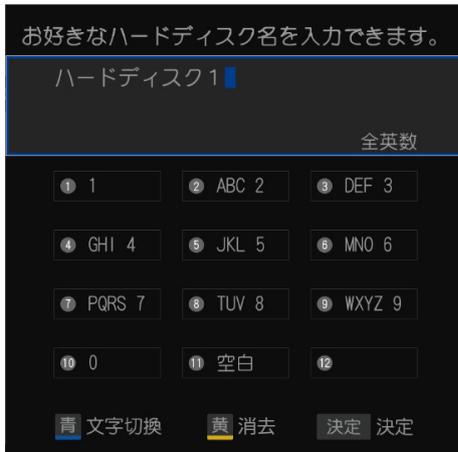
- USB-HDDの初期化中は、音量十一、消音以外のボタンははたらきません。

USB-HDDを登録する／登録名を変更する (つづき)

10 下の画面が表示されたら、**決定**を押す



11 USB-HDD名を入力する



- ① **全**で「全かな」「全カナ」「全英数」「半英」「半数」を選ぶ
- ② **1**～**10**で文字(数字/記号)を入力する
 - ・①～②を繰り返して入力します。
 - ・間違えたときは**黄**を押して、入力し直してください。
- ③ 入力が終わったら、**決定**を押す

12 **メニュー**を押す

USB-HDDの登録名を変更する

1 **メニュー**を押し、**▲▼**、**決定**で「機能設定」を表示させる

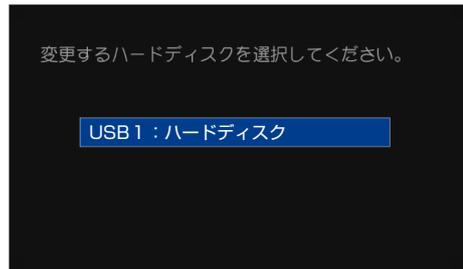
2 「接続機器設定」を選んで**決定**を押す

3 「HDD設定」を選んで**決定**を押す

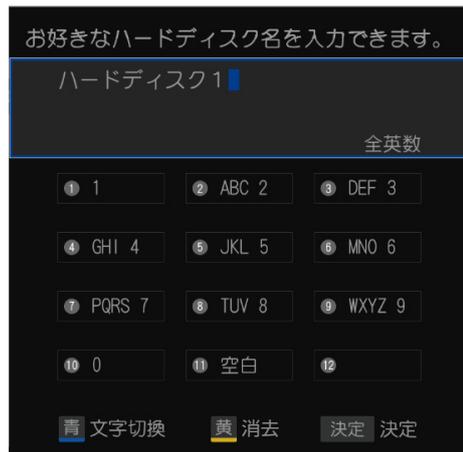
4 「USB-HDD名変更」を選んで**決定**を押す



5 下の画面が表示されたら、**決定**を押す



6 登録名を入力する



- ① **全**で「全かな」「全カナ」「全英数」「半英」「半数」を選ぶ
- ② **1**～**10**で文字(数字/記号)を入力する
 - ・①～②を繰り返して入力します。
 - ・間違えたときは**黄**を押して、入力し直してください。
- ③ 入力が終わったら、**決定**を押す

7 **メニュー**を押す

USB-HDDに録画する

本機に外付けのUSB-HDDを接続すると、デジタル放送の番組が録画できます。

本機の不具合または、放送局や受信障害に伴う何らかの事象に起因して正しく録画できなかった場合は、記録内容の保障や損害について当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

今すぐ録画をする

デジタル放送を見ているときに

録画 を押す

下の画面が表示され、今すぐ録画を開始します。

① 録画を開始しました。
番組の途中で録画を停止する場合は
「停止」ボタンを押してください。

今すぐ録画中の番組が終了すると自動的に録画を停止します。

録画を停止したいときは

- ① 録画中に放送を視聴している状態で、**停止** を押す
- ② 「はい」を選んで**決定** を押す

録画中： 地上 011 AA放送
録画を停止しますか？

はい
いいえ

お知らせ

- 電源スイッチがあるセルフパワー型のUSB-HDDをお使いの場合に、デジタル放送をご覧になるときは、今すぐ録画機能をいつでもすぐにご利用いただけるように、USB-HDDの電源を「入」にしておくことをおすすめします。
- 本機の番組情報が十分に取得されていないと、録画番組が特定できず動作ができないことがあります。購入直後などは本機の番組表が利用できるように番組データを受信してからご使用ください。 P.40

番組表から一発予約で予約する

準備

USB-HDDに録画するときは、USB(録画用)端子にUSB-HDDをつないでおく P.28
また、事前に **メニュー** → [テレビ操作] → [録画先切替] で [USB-HDD] を選んで **決定** を押す

※録画番組の再生中は、録画先の切り換えができません。

1 **番組表** を押す

2 **地上**、**BS** または **CS** を押して、
録画予約したい放送の種類を選ぶ

3 予約したい番組を選んで **録画** を押す

- 録画予約が確定し、選んだ番組に **録** が表示されます。
- 番組表に **録** を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線 **|** が表示されます。



- 放送中の番組を選んだ場合は、ただちに録画が始まり予約も登録されます。
- 他の番組も予約したいときは、この手順を繰り返します。
- 予約の設定が終わったら、**戻る** を押してください。
- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。
(電源を切った状態でも予約録画は実行されます。)

録画を停止したいときは

- ① 録画中に放送を視聴している状態で、**停止** を押す
- ② 「はい」を選んで**決定** を押す

予約の確認・修正や取り消しをするときは

予約の確認 P.97、予約の修正 P.97、予約の取り消し P.98 をご覧ください。

お知らせ

予約が重なったときは、P.90 をご覧ください。

USB-HDDに録画予約をする

予約数は、番組指定予約と時刻指定予約を合わせて95件までです。

番組を録画予約する

番組表や番組検索から番組を選んで、視聴予約や録画予約ができます。「録画予約」は、本機に接続したUSB 機器に録画する機能です。本機のみでは録画できません。

準備

USB-HDDに録画するときは、USB(録画用)端子にUSB-HDDをつないでおく **P.28**

1 録画したい番組を選んで **決定** を押す



その番組の「番組内容」が表示されます。

2 「録画予約」を選んで **決定** を押す



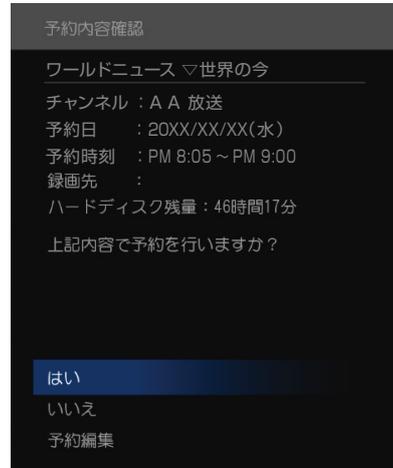
■ 視聴年齢制限のある番組を選んだときは

1 ~ **10** で暗証番号の入力が必要です。 **P.67**

■ 予約が時間的に重なっているときは

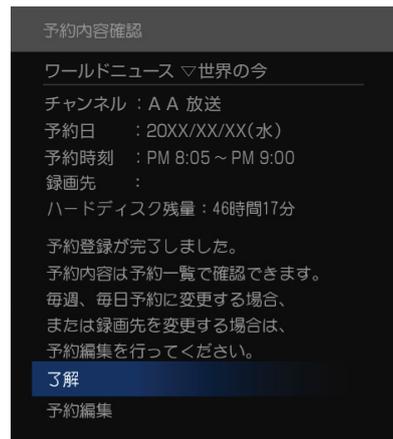
「予約が重複しています」と表示されます。「はい」を選んで **決定** を押して予約したあとで、「予約一覧」を見て確認してください。 **P.97**

3 「はい」を選んで **決定** を押す



■ 繰り返し録画を設定しない場合

4 「了解」を選んで **決定** を押す



予約登録を完了し、番組表、番組検索または注目番組一覧の画面に戻ります。

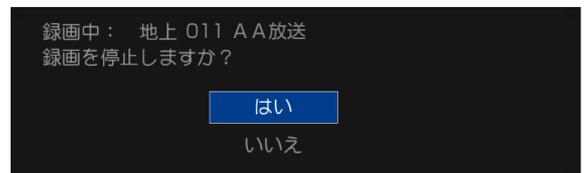
■ 録画先を変更したいときは

- ① 「予約編集」を選んで **決定** を押す
- ② 録画先を変更する
- ③ 「決定」を選んで **決定** を押す

5 戻るを押す

■ 予約録画を停止したいときは

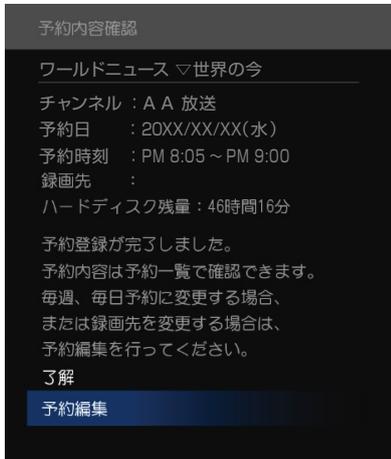
- ① 録画中に放送を視聴している状態で、**停止** を押す
- ② 「はい」を選んで **決定** を押す



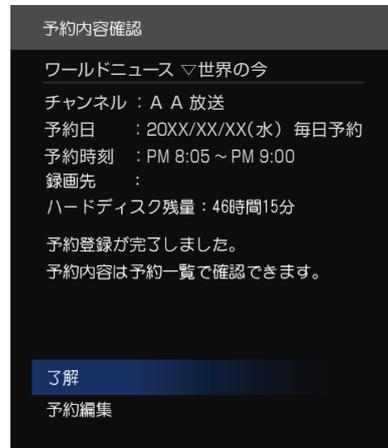
■ 繰り返し録画を設定する場合

毎週録画や毎日録画の設定ができます。

4 「予約編集」を選んで決定を押す



7 下の画面が表示されたら、決定を押す



予約登録を完了し、番組表、番組検索または注目番組一覧の画面に戻ります。

5 「予約日」の設定を選んで決定を押す



- 表示されている日付(1回のみ)、「毎日」、「毎週」から選択します。

6 「決定」を選んで決定を押す



8 戻るを押す

！お願い

- 録画予約したときは、本機の電源プラグを抜かないでください。
- 「予約が重複しています」と表示された場合は、予約したあとで「予約一覧」P.97を見て確認してください。

お知らせ

録画時間はおよその目安です。

デジタル放送の番組を番組表から予約した場合の自動追従について

デジタル放送の番組を番組表から予約した場合は、次のようなときに自動的に録画開始/終了時刻が変更されて録画されます。

(例)

毎週録画しているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
特別番組のため、今回放送分だけ放送時間が遅くなる時。
予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなる時。
自動的に録画開始/終了時刻が変更される時間は、1回だけの録画の場合は放送開始時刻の3時間後まで、毎週/毎日録画の場合は前後各3時間までとなります。

野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。(イベントリレー)

(例)

お昼の時間帯に「NHK 総合」で放送されている高校野球を番組表から予約して録画中に、夕方から放送されるチャンネルが「NHK Eテレ」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。
自動追跡やイベントリレーによって予約が重なったときは、「予約が重なった場合」P.90の例に従って録画されます。
自動追跡は、番組表から予約した番組にのみ有効となります。
「時刻指定予約」P.96は自動追跡が無効になります。

USB-HDDに録画予約をする (つづき)

時刻を指定して予約する (時刻指定予約)

時刻とチャンネルを指定して、録画予約ができます。

準備

USB-HDDに録画するときには、USB(録画用)端子にUSB-HDDをつないでおく [P.28](#)

1 **メニュー** を押し、「予約一覧」を選んで **決定** を押す

2 **黄** を押す

サブメニューが表示されます。

3 「新規予約」を選んで **決定** を押す



4 **左右** で項目を移動して、設定する

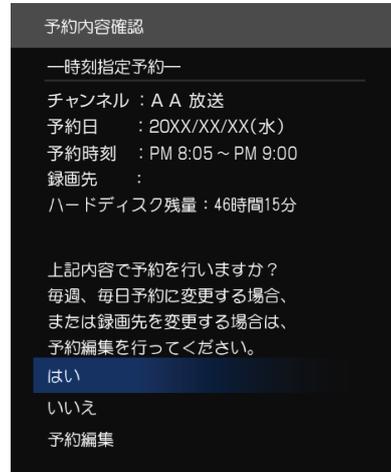


● 項目は、予約日 ↔ 開始時刻 ↔ 終了時刻 ↔ チャンネル と移動できます。

5 「録画予約」を選んで **決定** を押す



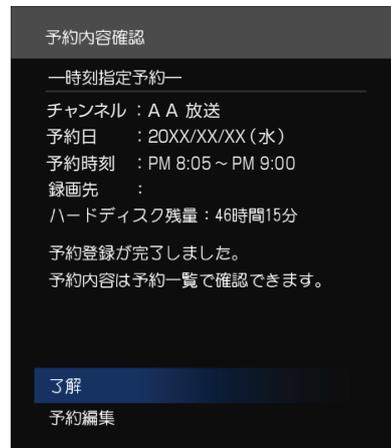
6 「はい」を選んで **決定** を押す



録画先を変更したいときは

- 1 「予約編集」を選んで **決定** を押す
- 2 録画先を変更する
- 3 「決定」を選んで **決定** を押す

7 下の画面が表示されたら、**決定** を押す



予約登録を完了し、手順4の画面に戻ります。

8 **戻る** を押す

!お願い

- 録画予約したときは、本機の電源プラグを抜かないでください。
- 「予約が重複しています」と表示された場合は、予約したあとで「予約一覧」[P.97](#)を見て確認してください。

お知らせ

- 時刻指定予約は自動追従しません。
- 時刻指定予約では、視聴年齢制限のある番組などが正しく予約できないことがあります。
- 予約登録完了後、「予約一覧」[P.97](#)で正しく予約できているかどうかを確認してください。予約の変更や取り消しも「予約一覧」で行ってください。

予約を確認する／修正する／取り消す

予約登録内容は、予約一覧で確認できます。予約が重複したり、連続したりしているときや、件数がいっぱいになってしまったときに、確認や予約日の修正や消去ができます。

1 デジタル放送を見ているときに
メニュー を押し、▲▼、決定 で「予約一覧」を表示させる

2 予約を確認する



予約の種類によってアイコン [P.118](#) が表示されます。録画予約が時間的に重なっていると、▲が表示されます。

予約一覧の見かた



◆ 録画予約の内容(予約日)を修正する場合

3 予約日を修正したい番組を選んで黄を押す

サブメニューが表示されます。

4 「予約修正」を選んで決定を押す



● 「予約修正」は録画予約でのみ行えます。視聴予約では行えません。

5 「予約日」の設定を選んで決定を押す



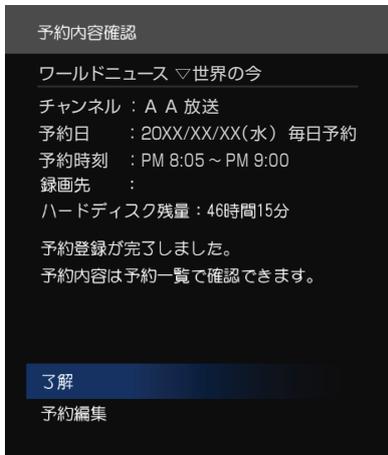
● 表示されている日付(1回のみ)、「毎日」、「毎週」から選択します。

6 「決定」を選んで決定を押す



USB-HDDに録画予約をする (つづき)

7 下の画面が表示されたら、**決定**を押す



予約修正を完了し、番組表、番組検索または注目番組一覧の画面に戻ります。

8 **戻る**を押す

◆ 録画予約を取り消す場合

確認だけして通常画面に戻る場合は、手順**3**~**5**は必要ありません。手順**6**に進んでください。

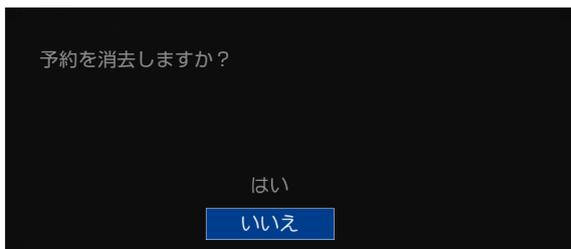
3 取り消す番組を選んで**黄**を押す

サブメニューが表示されます。

4 「予約消去」を選んで**決定**を押す



5 「はい」を選んで**決定**を押す



6 **戻る**を押す

◆ 録画予約を複数取り消す場合

3 取り消す番組を選んで**黄**を押す

サブメニューが表示されます。

4 「複数予約消去」を選んで**決定**を押す

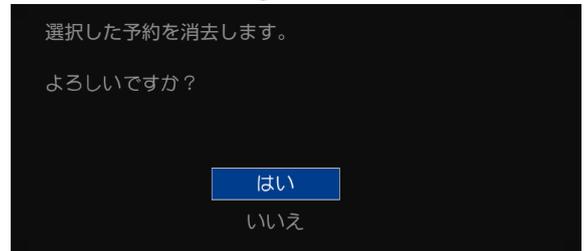


5 取り消す番組を選んで**決定**を押す



- この手順を繰り返して、取り消したい番組をすべて選びます。
- 番組を取り消し対象にすると、 (チェック)が付きます。
- 取り消し対象からはずしたい場合は、該当する番組を選んで**決定**を押します。

6 「決定」を選んで**決定**を押す



7 **戻る**を押す

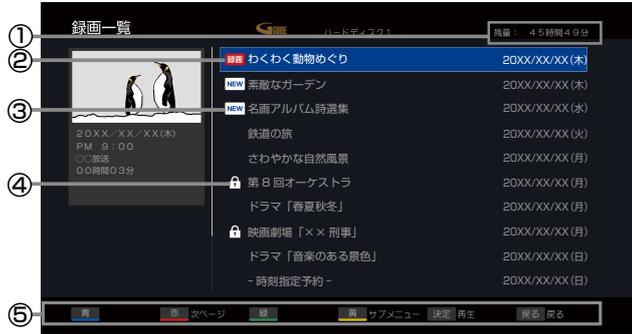
お知らせ

- 開始時刻が前の予約の終了時刻と連続しているときは、先に始まる番組の予約が少し早く (約20秒) 終了し、正しく録画されません。この場合は「予約一覧」に **△** と表示されませんので、ご注意ください。
- 番組表や番組検索から予約している番組が、放送局の都合で放送時間の変更されたり、放送が中止されたりした場合は、自動的に予約内容がキャンセルされます。
- 予約が重複していると、正しく録画／視聴できません。 **P.90**

USB-HDDに録画した番組を見る(再生する)

本機で録画した番組を見るときは、画面に録画一覧を表示させて、見たい番組を選んで再生します。

録画一覧の見かた



- ① 残量表示*
- ② 録画中の番組
- ③ 未再生の番組
- ④ 保護されている番組
- ⑤ ガイド表示

※ 残量（録画可能時間）表示は、あくまでもおおよその目安であり、保証するものではありません。
• 実際の録画時間は、放送の伝送レートにより目安の残量表示とは異なる場合があります。
一般的に、伝送レートは、地上デジタル放送では約17Mbps、BS・110度CSデジタル放送では最大24Mbpsとされています。
• 本機は、BS・110度CSデジタル放送のHD放送(24Mbps)で録画される場合の残量を優先的に表示します。
例えば、残量が「11時間20分」などと表示されている場合でも、地上デジタル放送の番組は約17時間録画可能です。
• 伝送レートの違いにより、録画番組を消去しても、残量は消去した録画番組の時間よりも長くなる場合があります。

画面表示の見かた



- ① 再生中の番組名
- ② 動作状態
- ③ 再生経過時間／総再生時間
- ④ タイムバー(再生中の現在の位置を表示します)

通常の再生

通常再生を停止すると続き再生の停止状態になり、電源をオフにするまでの間は、停止位置が記憶されます。番組ごとに停止位置が記憶されます。

通常画面で **再生** を押す

最後に再生した番組を、停止した位置から再生します。また、最後に再生した番組が無い場合は最後に録画された番組を最初から再生します。

再生を停止したいときは

停止 を押す

- 再生が停止し、録画一覧に戻ります。(停止位置が記憶されます。)

画面表示を表示したいときは

画面表示 を押す

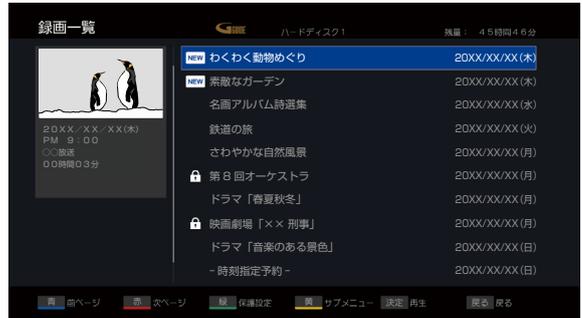
「画面表示」が表示されます。

録画一覧から再生したいときは

1 **録画一覧** を押す

- 録画一覧が表示されます。

2 見たい番組を選ぶ



青 ……前のページに移動

赤 ……次のページに移動

3 **再生** または **決定** を押して、再生を始める

選択した番組の停止した位置から再生します。

お知らせ

- 続き再生が始まる位置は、番組により多少ずれることがあります。
- 録画時間はおよその目安です。
- 録画日付の新しい順に上から表示します。
- 再生開始時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- 番組の変わり目などで画面が一瞬静止画になったり、ブロックノイズが見えたりすることがあります。
- 番組の再生が終わると自動的に停止し、録画一覧が表示されます。

いろいろな見かた

最初から再生

1 録画一覧表示中に見たい番組を選んで **黄** を押す

2 「最初から再生」を選んで **決定** を押す
選択した番組が最初から再生されます。

USB-HDDに録画した番組を見る(再生する)(つづき)

■ 続きから再生

- 1 録画一覧表示中に見たい番組を選んで
■を押す
- 2 ▲▼で「続きから再生」を選んで決定を押す
選択した番組が続きから再生されます。

■ 再生速度を変えて見る

◆ 早送り／早戻し

- 早戻し 早送り
- 再生中に ◀▶ を押す
押すごとに5段階で速度が変わります。再生を押すと通常の速度に戻ります。

◆ 再生を一時止める

- 一時停止
- 再生中に || を押す
一時停止 または 再生を押すと、解除されます。

■ 見たいところまで飛ばす

- スキップ スキップ
- 再生中に ◀▶ を押す
押すごとに前後のチャプターに飛びます。チャプターは、10分ごとに自動で記録されています。
 - 再生中に ▶ を押す
押すごとに10段階(約30秒毎)で飛ばす先が変わります。
 - 再生中に ◀ を押す
押すごとに10段階(約10秒毎)で戻る先が変わります。

■ 音声の切り換え

- 音声切換
- 再生中に ■ を押す
押すごとに音声切り換わります。

お知らせ

音声切換は、番組ごとに設定が可能です。

■ 字幕の切り換え

- 字幕
- 再生中に ■ を押す
押すごとに字幕言語が切り換わります。

■ 設定を変更する

- 1 再生中に メニュー を押す
- 2 変更したい設定を選んで決定を押す
「画面モード」P.36、「映像モード」P.59、「音声モード」P.63、「映像切換」P.46、「音声切換」P.34、「字幕切換」P.35、「ヘッドホン音量」P.46の各設定を調整できます。

■ 追っかけ再生

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら(停止させずに)番組の最初から見るができます。

- 1 録画中に 録画一覧 を押す
- 2 録画中の番組(録画)を選ぶ
- 3 再生を押して、追っかけ再生を始める

■ 追っかけ再生をやめるときは

- 4 停止を押す
 - 再生が停止します。(録画は続きます。)
 - このあと、録画も停止させるときは、「録画を停止したいときは」P.93をご覧ください。

お知らせ

- 追っかけ再生中に早送りなどを行って、再生が録画に追いついた場合は、通常再生に切り換わります。
- 追っかけ再生中にスキップなどを行って、再生が録画に追いつく場合は、その操作は実行できません。

番組を保護する・保護を解除する

1 録画一覧 を押して録画一覧を表示する

2 保護または保護を解除する番組を選んで黄を押す

録画一覧を表示中に番組を選んで緑を押して保護または保護を解除することもできます。

3 「保護設定／解除」を選んで決定を押す



- 番組を保護すると、録画一覧の番組名にロックマークが表示されます。

お知らせ

録画中の番組は保護できません。

番組をムーブ(移動)する

USB-HDDを接続している場合は、録画した番組を別のUSB-HDDにムーブ(移動)することができます。

番組をムーブ(移動)する

録画一覧で番組を個別にムーブ(移動)する場合

1 録画一覧 を押して録画一覧を表示する

2 黄を押す

3 「ムーブ(移動)」を選んで決定を押す

4 ムーブ(移動)先のハードディスクを選んで決定を押す

5 ムーブ(移動)する番組を選んで決定を押す

- この手順を繰り返して、ムーブ(移動)したい番組をすべて選びます。
- 複数の番組を移動対象にして、一括でムーブ(移動)することができます。
- 番組を移動対象にすると、☑(チェック)が付きます。
- 移動対象からはずしたい場合は、該当する番組を選んで決定ボタンを押します。

6 「はい」を選んで決定を押す

- ムーブ(移動)が開始されます。
- ムーブ(移動)中は、進行状態を%表示します。
- ムーブ(移動)中に録画予約の開始時刻になるとムーブ(移動)は中止します。

お知らせ

録画中はムーブ(移動)はできません。

ムーブ(移動)を中止するときは

1 移動中にメニューを押す

2 「ムーブ(移動)中止」が選ばれているので決定を押す

3 「はい」を選んで決定を押す

- ムーブ(移動)が中止されます。

番組を消去する

番組を消去する

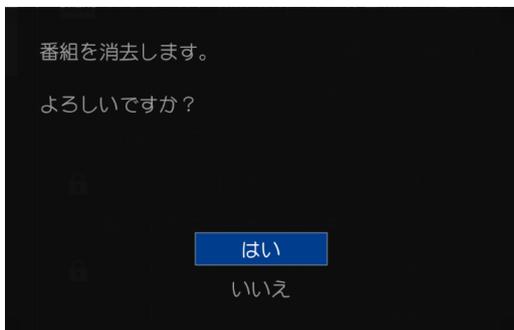
■ 録画一覧で番組を個別に消去する場合

- 1 録画一覧 を押して録画一覧を表示する
- 2 消去する番組を選んで **黄** を押す
- 3 「番組消去」を選んで **決定** を押す



- 保護されている番組（**🔒**マークのある番組）は、消去できません。消去したい場合は、保護を解除 **P.10** ▶ してから消去してください。

4 「はい」を選んで **決定** を押す



- 番組が消去されます。

5 消去が終わったら、**戻る** を押す

お知らせ

録画中の番組は消去できません。

■ 番組を一括消去する場合

- 1 録画一覧 を押して録画一覧を表示する
- 2 消去する番組を選んで **黄** を押す
- 3 「複数番組消去」を選んで **決定** を押す

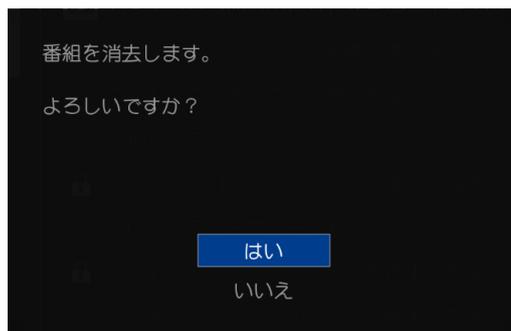


4 さらに消去する番組を選んで **決定** を押す

- この手順を繰り返して、消去したい番組をすべて選びます。
- 複数の番組を消去対象にして、一括で消去することができます。
- 番組を消去対象にすると、**☑** (チェック) が付きます。
- 消去対象からはずしたい場合は、該当する番組を選んで **決定** ボタンを押します。

5 「決定」を選んで **決定** を押す

6 「はい」を選んで **決定** を押す



7 消去が終わったら、**戻る** を押す

お知らせ

録画中の番組は消去できません。

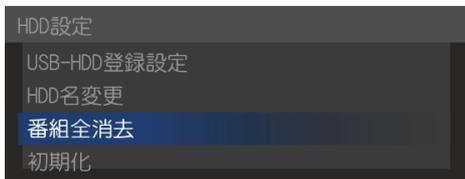
保護されていない番組を全消去する

1 **メニュー** を押し、**▲▼**、**決定** で「機能設定」を表示させる

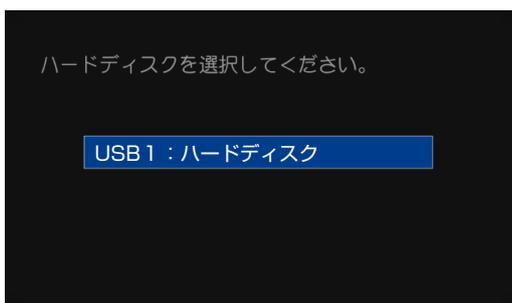
2 「接続機器設定」を選んで **決定** を押す

3 「HDD 設定」を選んで **決定** を押す

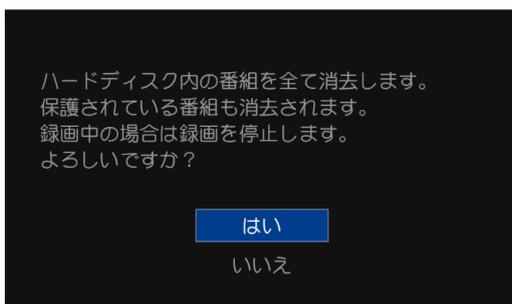
4 「番組全消去」を選んで **決定** を押す



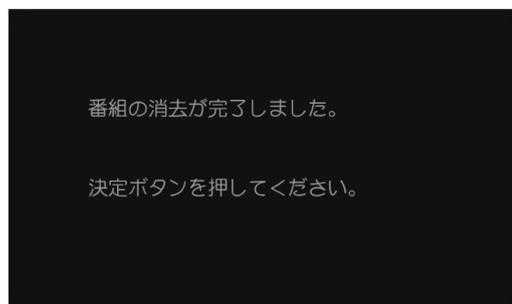
5 下の画面が表示されたら、**決定** を押す



6 「はい」を選んで **決定** を押す



7 番組全消去が完了して下の画面が表示されたら、**決定** を押す



8 **メニュー** を押す

お知らせ

録画中の番組は録画を停止し、番組を消去します。

USB-HDDを初期化する／番組を全消去する／登録を解除する

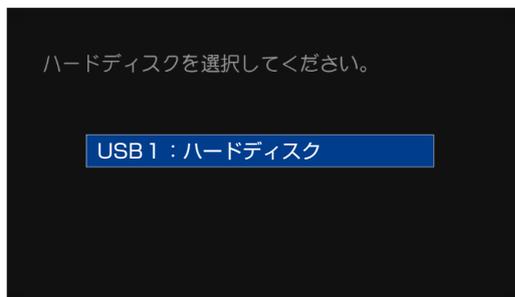
接続中のUSB-HDDの初期化や接続されていないUSB-HDDの登録を解除できます。初期化や登録解除を行うと、そのUSB-HDD内の番組は、保護されている番組も含めすべて再生できなくなりますのでご注意ください。

USB-HDDを初期化する

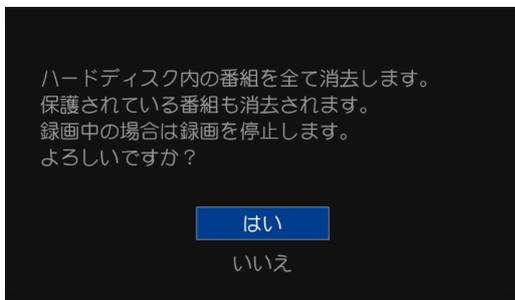
- 1 P.103 ▶ 手順3の後に、「初期化」を選んで**決定**を押す



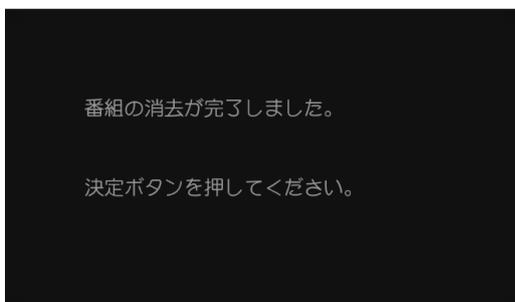
- 2 下の画面が表示されたら、**決定**を押す



- 3 「はい」を選んで**決定**を押す



- 4 初期化が完了して下の画面が表示されたら、**決定**を押す



- 5 **メニュー**を押す

お知らせ

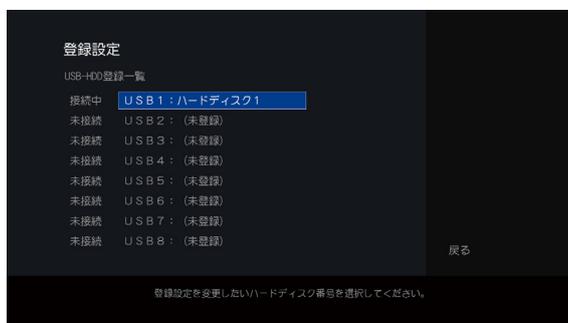
録画中の番組は録画を停止し、番組を消去します。

USB-HDDの登録を解除する

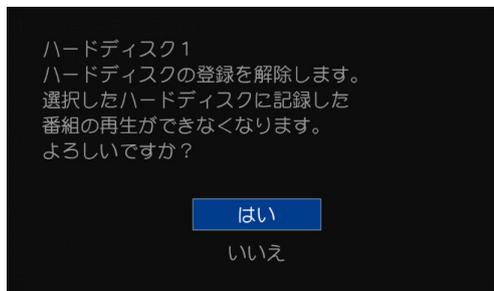
- 1 P.103 ▶ 手順3の後に、「USB-HDD登録設定」を選んで**決定**を押す



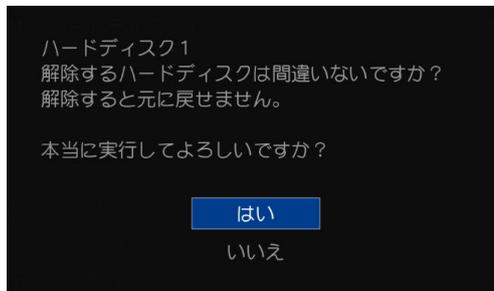
- 2 登録解除したいUSB-HDDを選んで**決定**を押す



- 3 「はい」を選んで**決定**を押す



- 4 もう一度「はい」を選んで**決定**を押す



- 5 **メニュー**を押す

お知らせ

録画中の番組は録画を停止し、番組を消去します。

miniB-CASカードについて

地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴するためには、miniB-CASカードを必ず本機に挿入しておく必要があります。

- 2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用することになりました。miniB-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を受信できません。
- 2004年4月から、デジタル放送には、「コピーワンス(1回だけ録画可能)」のコピー制御信号が付いています。

● 限定受信システム (CAS : Conditional Access Systems) とは

限定受信システム (CAS) とは、有料放送の契約をした視聴者だけにスクランブル (放送内容をわからなくする技術) を解除して視聴できるようにする技術システムのことです。デジタル放送ではスクランブルの解除以外に、データ放送の双方向サービスや放送局からのメッセージ送付にも利用されます。

● (株)B-CASとは

デジタル放送の限定受信システム (CAS) を管理するため設立された (株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行・管理をしています。

miniB-CASカードに個人情報を書き込まれることはありません。

付属のminiB-CASカード台紙に記載の内容をよくお読みください。

■ miniB-CASカードについてのお問い合わせは (2018年4月現在)

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター

TEL: 0570-000-250 (IP電話からの場合は045-680-2868)

受付時間 10:00～20:00 (年中無休)

<http://www.b-cas.co.jp/>

デジタル放送について

本機は、地上・BS・110度CSデジタルチューナーを搭載しています。

UHFアンテナ (地上デジタル対応) や衛星アンテナ (BS・110度CS対応) を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送を受信することができます。

地上デジタル放送

- デジタル放送全般については、一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 (A-PAB) のホームページ <http://www.apab.or.jp/> をご覧ください。
- 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくはお買い上げ店にお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、CATV (ケーブルテレビ) でも受信できます。お住まいの地域のCATVで地上デジタル放送が開始されているかは、CATV放送会社にお問い合わせください。CATV放送会社によっては、放送方式が異なります。本機はすべての周波数 (VHF帯、MID帯、SHB帯、UHF帯) に対応する【CATVパススルー対応】の受信機です。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません。

デジタル放送について(つづき)

BSデジタル放送

- 放送衛星 (Broadcasting Satellite) を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

■ 「WOWOW」カスタマーセンター

TEL: フリーダイヤル 0120-580-807
受付時間 9:00～20:00(年中無休)
<http://www.wowow.co.jp/>

■ 「スター・チャンネル」カスタマーセンター

TEL: 0570-013-111 または 044-540-0809
受付時間 10:00～18:00(年中無休)
<http://www.star-ch.jp/>

110度CSデジタル放送

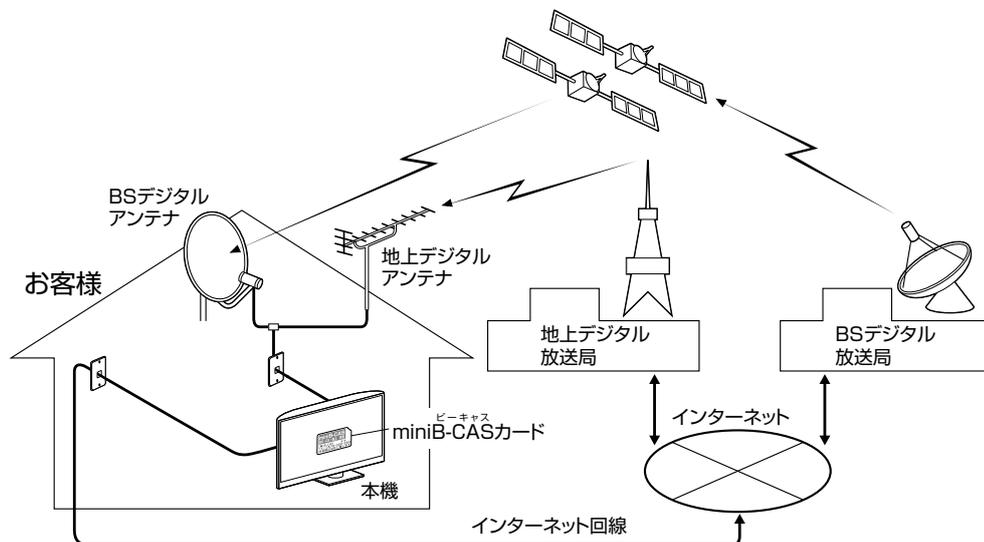
- BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星 (Communication Satellite) を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。ほとんどの放送が有料です。
- 110度CSデジタル放送を視聴するには、「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。110度CSデジタル放送には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。本機ではCS1とCS2がCSにまとめられています。

■ 「スカパー！」カスタマーセンター(総合窓口)

TEL: フリーダイヤル 0120-039-888
受付時間 10:00～20:00(年中無休)
<https://www.skyperfectv.co.jp>

● 双方向サービスとは

データ放送で行われるサービスの1つで、インターネットまたは電話の回線を使い番組に連動して、放送局と視聴者で双方向のやり取りができます。たとえばテレビ画面を見ながら、クイズの解答やショッピングなどいろいろなサービスが考えられています。本機で双方向サービスを利用するには、インターネット回線を接続してください。▶P.26

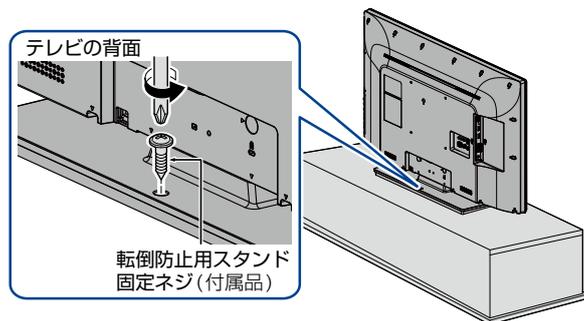


スタンドの取りはずしかた

!お願い

- 作業を始める前に、電源プラグをコンセントから抜き、ケーブル類ははずしてください。
- 指示されたネジ以外ははずさないでください。

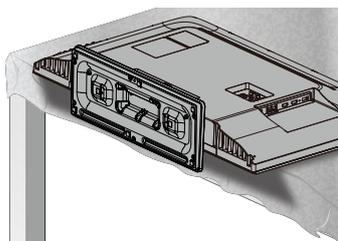
- 1** プラスドライバーを使って、本機をテレビ台や家具などに取り付けられた転倒防止用スタンド固定ネジを取りはずす
本機を持ち上げ、テレビ台などから取りはずす



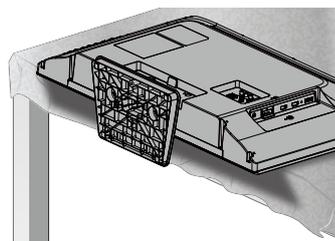
- 2** 液晶パネル面を下にして、柔らかい布を敷いた平らなテーブルの上に置く

- 画面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- テーブルは必ず安定した場所に置いてください。
- テーブルは必ず本機の重さに耐えることができ、本機より大きいものを使用してください。

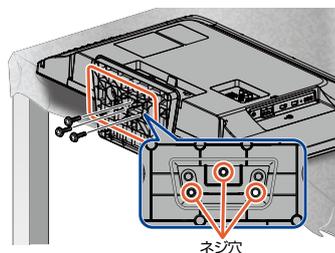
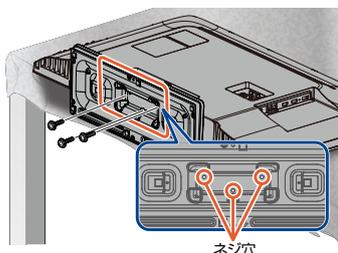
FL-40H1010



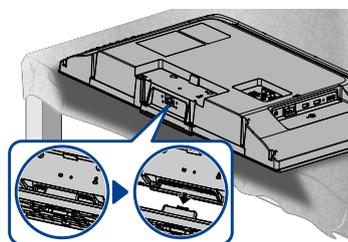
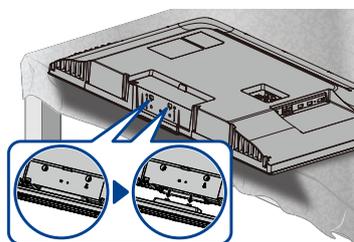
FL-32H1010 / FL-24H1010



- 3** ネジ穴に取り付けたスタンド取付ネジ (M4 × 20 mm、または4 × 14 mm) を3箇所取りはずす



- 4** 本機からスタンドをゆっくりと取りはずす



!お願い

- **FL-40H1010** のスタンドの取りはずしは、必ず大人2人以上で作業を行ってください。
- スタンド取付ネジをドライバーでゆるめる際は、ネジに合ったドライバーをご使用ください。
- 取りはずしたスタンドやネジなどは大切に保存してください。
- スタンドを再度取り付ける場合は、必ず元のネジで取り付けてください。
- スタンドを取りはずすときに、液晶テレビを落としたり、バランスを崩したりしないよう気を付けてください。

仕様

仕様、および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

型番	FL-40H1010	FL-32H1010	FL-24H1010
種類	地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョン液晶テレビ		
電源	AC100 V 50 / 60 Hz		
消費電力	起動時: 65 W	起動時: 45 W	起動時: 38 W
	待機時: 0.1 W 「クイック起動」を「入」に設定時: 約 12 W ^{*1}		
年間消費電力量 ^{*2}	68 kWh / 年 [標準 ^{*3} 時] 区分名 ^{*4} : DF1 受信機型サイズ: 40V	54 kWh / 年 [標準 ^{*3} 時] 区分名 ^{*4} : DN1 受信機型サイズ: 32V	44 kWh / 年 [標準 ^{*3} 時] 区分名 ^{*4} : DK1 受信機型サイズ: 24V
音声	実用最大出力 JEITA	8 W + 8 W (同時出力)	
	スピーカー	(11 cm × 4.1 cm) × 2	
アンテナ入力	UHF 1軸 75 Ω 不平衡形		
BS・110度CSアンテナ入力	75 Ω 不平衡形 (C15形) 兼コンバーター用電源 (DC 15 V) 出力		
受信チャンネル	地上デジタル: 000~999ch BSデジタル: 000~999ch 110度CSデジタル: 000~999ch		
液晶パネル	液晶パネル	40V型カラー TFT 液晶	32V型カラー TFT 液晶
	表示画素数	1920 ドット × 1080 ライン	1366 ドット × 768 ライン
有効表示領域	幅87.8 × 高さ48.5 / 対角100.3 cm	幅69.8 × 高さ39.2 / 対角80.0 cm	幅52.1 × 高さ29.3 / 対角59.8 cm
ヘッドホン	φ 3.5 ステレオミニジャック		
ビデオ入力端子	(映像) 1.0 V (p-p) 75 Ω (同期負極性) (音声) 150 mV (rms) ハイインピーダンス		
HDMI入力端子	3系統 3端子 ARC対応 (HDMI1 入力端子のみ)		
LAN端子	RJ-45 10BASE-T / 100BASE-TX		
USB端子 (録画用)	ハイスピードUSB Type A DC 5 V (録画専用)		
外形寸法	スタンドあり	幅91.4 × 高さ56.9 × 奥行19.4 cm	幅73.4 × 高さ48.0 × 奥行18.0 cm
	スタンドなし	幅91.4 × 高さ53.6 × 奥行9.5 cm	幅73.4 × 高さ44.4 × 奥行9.2 cm
質量	スタンドあり	10.0 kg	6.0 kg
	スタンドなし	8.9 kg	5.8 kg
キャビネット材質	前: PC + ABS - GF10樹脂 後: PS樹脂		前: PC + ABS樹脂 後: PS樹脂
使用周囲温度	5℃ ~ 40℃		

リモコン	型番	FRM-104TV
	電源	DC 3 V 単4形乾電池2本
	質量	約 130 g (乾電池含む)
	操作範囲	左右各約30° 以内、上約15° 下約30° 以内

- テレビのV型(32V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用です。電源電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。また、アフターサービスもできません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
No servicing is available outside of Japan.
- 本商品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

※1 「クイック起動」を「入」に設定した場合のみの消費電力となりますので、以下の動作をしているときはさらに消費電力が増加します。

- ・ 本機で受信したデジタル放送を録画しているとき
- ・ BS・110度CSアンテナへの電源供給を本機から行うために、「アンテナ電源」を「供給する」および「テレビ連動」に設定しているとき

※2 省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

※3 一般的にご家庭でご使用される際のメーカー推奨の画質設定の一つです。このモデルでは、映像モード=スタンダードをおすすめしています。

※4 「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態および付加機能の有無などに基づいた区分を行っています。「区分名」とは、その区分名称をいいます。

保証とアフターサービス

■ 保証書(梱包箱に貼り付けしています)について

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店からお受け取りください。
- 保証書裏面の「無料修理規定」をよくお読みください。また、当社のお客様サポートサイト(funai.jp/cs/)の「修理規約」も合わせてお読みください。
- 保証書は、納品書や領収書と共に大切に保管してください。

製品本体の保証期間および保証の対象外となる部品に関しては、保証書に記載しています。

■ ご不明な点や修理に関するご相談

- この取扱説明書の「困ったときは」や、当社のお客様サポートサイト(funai.jp/cs/)に従ってお調べください。それでも解決しない場合には、お買い上げの販売店か、「船井電機お客様ご相談窓口」までご相談ください。

■ 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 部品について

- 修理の際に、当社の判断により、再生部品または代替部品を使用することがあります。
- 修理などで交換した部品は、任意に引き取らせていただきます。

■ 記録内容の補償について

- 記録媒体を搭載または使用する製品の場合は、故障または修理・交換により記録内容が消失などすることがありますが、記録内容の補償はいたしません。

※この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、修理対応もできません。

■ 修理を依頼される時

- 不具合があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、当社の窓口へお問い合わせください。
- **保証期間中は**
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。
- **保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合はご希望より有料修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。
- **修理料金のしくみ**
技術料+部品代+出張料などで構成されています。
※修理のための製品の取りはずし・再設置は、販売店様もしくはお客様でご対応をお願いします。
- 製品の設定(他機器との接続・調整・取扱説明など)を依頼されると、有料となることがあります。
- **修理不可の場合**
製品の状態やその他の事情により、修理に代えて製品交換で対応する場合があります。交換品は、新品同等の機械的・電気的に動作確認を行った交換用製品となります。
なお、交換後の製品は、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

ご連絡いただきたい内容

- お名前
- ご住所
- 電話番号
- お買い上げ製品の型番(この取扱説明書または保証書に記載)
- お買い上げ製品の製造番号(保証書または本機背面のラベルに記載)
- お買い上げ日
- 症状(故障または不具合の内容)
「症状診断シート」(次頁)をご活用ください。

相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- お客様より船井電機株式会社およびグループ会社にお電話でお問い合わせいただいた場合には、正確にご回答するため、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。また、折り返しお電話させていただくための、「発信者番号表示」を採用しています。あらかじめご了承ください。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、当社のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務委託会社に個人情報を提供させていただくことがあります。

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。(2018年4月現在)

症状診断シート

本機の故障・不具合などのお問い合わせの際に、円滑にご対応させていただくため、以下の内容をご確認いただき、お知らせいただきますようお願いいたします。

【ご確認事項】 ※以下□の内容は、お客様ご相談窓口またはサービスの担当者にお伝えください。

全情報の初期化：本機を修理する過程でやむを得ず記録内容が失われたり、全情報の初期化が必要になったりする場合があります。全情報の初期化を行うと本機の記録内容はすべて消去されます。また、USBメモリーが付属する機種や外付けハードディスクは、それらの登録情報も初期化する場合があります。USB機器*や内蔵ハードディスクの初期化を行うと記録内容（保護された番組を含む）はすべて消去されます。*USB機器は再登録も必要となります。

- 同意する
 同意しない（**ご注意**：全情報の初期化にご同意いただけない場合は、修理をおことわりすることがあります。）

【不具合症状】

発生区分： 地デジ BS / CS ハードディスク USB機器 BDディスク DVDディスク
 その他（ ）

発生頻度： 常時 時々 その他（ ）

症状：（できるだけくわしく） 例：地上デジタル放送の〇〇チャンネルが受信できない。

受信環境： 戸建住宅（個別受信） マンションなど（共同受信） ケーブルテレビ（社名： ）

接続機器：
 テレビ（メーカー名： 、型番[機種名]： ）
 レコーダー（メーカー名： 、型番[機種名]： ）
 外付けHDD（メーカー名： 、型番[機種名]： ）
 その他（ ）

ご購入メモ

ご購入記録として下記内容をご記入いただき、お問い合わせや修理のご依頼の際にご活用ください。（この製品の型番、製造番号は保証書及び本機背面などに記載してあります。）

お買い上げ年月日	年 月 日	miniB-CASカード番号**
お買い上げ店名／電話番号	☎	
お買い上げ製品の型番	<input type="checkbox"/> FL-40H1010 <input type="checkbox"/> FL-32H1010 <input type="checkbox"/> FL-24H1010 （お買い上げいただいた製品の型番の□にチェックを入れてください。）	
お買い上げ製品の製造番号		

**「miniB-CASカード情報」画面 P.48 で確認できる「カードID」の番号を記入してください。お問い合わせの際に必要な場合があります。

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

● **長年ご使用の製品の点検を！**

（熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながったりすることもあります。）



このような症状はありませんか

- 映像や音がでない。
- 変なにおいがしたり、煙がでたりする。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。

➔

ご使用中止

このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

さまざまな情報

サポート動画のご案内

製品情報のページで、サポート動画をご覧いただけます。
サポート動画では接続方法や使いかたをわかりやすく説明しています。

サポート動画



funai.jp/cs/product/

よくあるご質問

■ 電源

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグが抜けていませんか。 ● 指定(表示)以外の電源電圧(交流200V)に電源プラグを挿していませんか。 →安全のための保護回路が動くため、電源が入らなくなります。 一旦電源プラグを今のコンセントから抜いて、約10分ほど時間をおいてから、指定(表示)の電源電圧(交流100V)につなぎ直し、正常動作するかご確認ください。正常動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 	29 7
電源が入らない。 電源LED(青色)が点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、電源を入れ直してください。それでも電源が入らない場合は、安全のための保護回路がはたしている可能性があります。 →電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。 	
電源が入らない。 本機の電源ボタンで電源が入るが、リモコンでは電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ● リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。 ● テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 ● テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 	17 17
急に電源が切れた。	<ul style="list-style-type: none"> ● 無操作電源オフ、無信号電源オフが「入」になっていませんか。 ● おやすみタイマーの設定がされていた可能性があります。 →再度電源を入れた際、おやすみタイマーの設定をしていないことを確認し、同じ症状が起こらないか確認してください。 	66 34
テレビの電源を入れるとき、起動に時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「クイック起動」が「切」のときに電源を入れた際、起動に時間がかかる場合があります。 →内部システムによる仕様のため、故障ではありません。 	84
テレビの電源をオフにすると、HDMIケーブルでつないだレコーダーの電源が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「HDMI機器制御」が「入」、「テレビ電源切連動」が「入」になっていませんか。 →「テレビ電源切連動」が「入」になっている場合は、本機の電源をオフにするとHDMI-CEC対応機器の電源も連動して「切」になります。 HDMIケーブルで接続した他社製品も同様に動作をするものがあります。 	70
リモコンで電源を切ったあと、しばらくして動作音がした。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切ったあとデジタル放送のデータ取得の動作をしており、取得動作を終了する際に動作音がしますが、故障ではありません。電源を切ってから取得動作を終了するまでの時間は、送られてくるデータの量に応じて変化します。 	
電源を切っているときに動作音がした。	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル放送のデータ取得のための動作音です。故障ではありません。 	

■ リモコン

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ● リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。 ● テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 ● テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 ● デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、数字ボタン(1~12)がデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。 →チャンネル▲▼や番組表でチャンネル切替をしてください。 	17 14
チャンネル▲▼で、特定のチャンネルだけ選べない。	<ul style="list-style-type: none"> ● スキップされていませんか。 →選みたいチャンネルのスキップを解除してください。 	75

困ったときは (つづき)

■ テレビを見ているとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
リモコンや本機のボタンで操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜き、しばらくしてから電源プラグを挿しなおしてみてください。 →本機は、パソコンのような複雑なプログラムにより動作しています。まれに動作が不安定になったとき、動作を止めることがあります。電源プラグを挿し直すことで、不安定要素が解消され正常動作に戻ります。 	
映像も音も出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナ線がはずれていませんか。 ● 入力端子の接続と入力切換ボタンの操作が合っていますか。 ● 外部機器の接続コードがはずれていませんか。 	20~22 34 23~25
映像は出るが、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 消音になっていませんか。または音量が0になっていませんか。 ● ビデオなどの入力端子がはずれていませんか。 ● ヘッドホン端子にヘッドホンが挿し込まれていませんか。 →「ヘッドホン出力」を「スピーカー非連動」にすると、ヘッドホンとスピーカーの両方から音を出すことができますようになります。 	14 23~25 13
ビデオを見ているときに、片側のスピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオ入力端子の接続コードがはずれていないか調べてください。 	23
音がつまったような感じがする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ぴったり音量」が「入」になっていると音量を抑える効果によりつまったように感じることがあります。 	64
音の大きさが変化する。人の声に変化する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ぴったり音量」が「入」になっていると音量を補正する効果により変動することがあります。 	64
音声に異音が入ったり映像にノイズが出たりする。	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビや接続機器の近くで携帯電話や無線機などを使用していませんか。 →携帯電話などを離して使用してください。 	
映りが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナ接続コネクタへのつなぎかたを確認してください。 ● アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ● アンテナが風でこわれたり、まがったりしていませんか。 ● アンテナは正しい方向に向いていますか。 ● 自動車、オートバイ、電車、ヘッドライヤーなどからの妨害電波が入っています。 →アンテナを原因となるものから離してください。 ● コントラストの調整を確認してください。 ● チャンネルの設定をやり直してください。 ● USB-HDD をご使用になっている場合は、USB-HDD による受信妨害が引き起こされることがあります。USB-HDD の電源をオフにすることで改善される場合は、本機と USB-HDD の位置や向き、距離を変えてみてください。 	20~22 60 72, 74 28
色がつかない。 色がおかしい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 色の濃さの調整をしてください。 ● 色あいの調整をしてください。 ● チャンネルの設定をやり直してください。 	60 60 72, 74
画面の横幅が圧縮されて、左右に黒い帯が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面モードが「ノーマル」になっていませんか。 →「メニュー」→「テレビ操作」→「画面モード」で、映像に合った画面サイズを選んでください。 	36, 37
画面モードで「ダイナミック」を選んでいるのに、左右に黒い帯が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオやゲーム画面などでは、左右の黒い帯が残る場合があります。 	36, 37
字幕が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面モードによっては切れる場合があります。 →「メニュー」→「テレビ操作」→「画面モード」で、映像に合った画面サイズを選んでください。 	36, 37
画面が暗い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像モードが変更されていませんか。 ● コントラストの調整を確認してください。 	59 60
外部入力映らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオ、HDMI の接続ケーブルがはずれていませんか。 	23~25
テレビの上部や液晶パネル面の温度が高い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機上面や液晶パネル面の温度が高くなりますが、性能品質には問題ありません。(本機の通風孔をふさがないように、お使いください。) 	

■ テレビを見ているとき (つづき)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
テレビから時々「ピシッ」と音がする。	<ul style="list-style-type: none"> 室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮するときに発生する音です。画面や音声に異常がなければ心配ありません。 	

■ デジタル放送のとき (共通)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
デジタル放送が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> miniB-CASカードは、正しく挿入されていますか。 miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。 	19
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、1～12 ボタンがデータ操作に使われる場合があります、チャンネルを切り換えられないことがあります。 →チャンネル▲▼や番組表でチャンネル切換をしてください。 	
字幕や文字スーパーが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 「字幕」が「切」に設定されていませんか。 →「日本語」、「英語」または「外国語」に設定してください。 「文字スーパー」が「切」に設定されていませんか。 →「日本語」または「英語」に設定してください。 字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。 	35
番組表に表示されないチャンネルがある。	<ul style="list-style-type: none"> 飛び越し (スキップ) 設定になっていませんか。 	75

■ 地上デジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
地上デジタル放送が映らない。 映像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。 →地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。 	20
	<ul style="list-style-type: none"> 地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか。 →従来のアナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定期間に対応している場合があります、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要な場合があります。 	75
映像や音が出ない、または時々出なくなる。 映像が静止する、または時々静止する。	<ul style="list-style-type: none"> UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。または、アンテナ線の劣化などありませんか。 →「受信状態の確認」でアンテナレベルを確認することができます。何らかの要因でアンテナレベルが低くなっている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。 アンテナレベルが低い状態でご覧になっていませんか。 →アンテナレベルが低いと、天候や近隣の環境 (建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など) の影響を受けやすく、受信状態が悪化し映像が乱れたり、映らなくなったりすることがあります。 	49
番組表が表示されない。 番組表に表示されない番組がある。	<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ時には、番組表は表示されません。チャンネル設定後に、番組表の番組データを受信するまでは表示されません。番組表を取得するには、電源を「切」にしてお待ちください。(取得には通常、数十分かかります。) 電源を「入」にして最初に番組表を表示するときは、番組データ受信に時間がかかります。 	40
地上デジタルの放送局のロゴマークが表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> 地上デジタル放送の各放送局を一定時間、選局していると、放送局のロゴマークが表示されるしくみになっています。 放送時間と受信のタイミングで日数がかかることもあります。 	

困ったときは (つづき)

■ BS・110度CSデジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
BS・110度CSデジタル放送が映らない。 映像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「メニュー」→「放送受信設定」→「BS / CSデジタル設定」→「アンテナ電源」で「テレビ連動」を選んでいませんか。 ● BS・110度CSアンテナとの接続状態を確かめてください。 ● BS・110度CSアンテナケーブルを分配器で増設されているときは、「電流通過型」のご利用をおすすめします。 ● 分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応のものを正しく使用していますか。 ● アンテナ接続コネクタがプラスチックのものをお使いの場合は、正しく加工されていますか。 →「アンテナレベル」でレベルが「24以上」になっているか、ご確認ください。 	76 49
BS・110度CSデジタル放送の映りが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナの方向が強風や衝撃で正しい方向からはずれていませんか。 ● アンテナへの積雪や雨、雷雲などによる電波の減衰が原因となることがあります。 →「アンテナレベル」でレベルが「24以上」になっているか、ご確認ください。 	49
データ番組の操作をしていたら、チャンネルが切り変わった。	<ul style="list-style-type: none"> ● データ番組のユーザー登録画面などで数字入力する場合がありますが、画面上の番号を選んで入力するときに間違えてリモコンの数字ボタン(1 ~ 12)を押すと、チャンネルが切り換わってしまうことがあります。 	
特定のチャンネルの映像や音声が時々出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機とアンテナを接続するとき、衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していないですか。 →BS・110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合は、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声がなくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよいBS・110度CSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。 	
有料放送の視聴ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● miniB-CASカードは、正しく挿入されていますか。 miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。 ● 有料放送を視聴するための手続きをされていますか。 →視聴契約の手続きをしてください。 	19 106
BSデジタル放送は映るのに、110度CSデジタル放送が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 110度CSデジタル対応のアンテナを使用していますか。 ● ブースターや分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応の2.1GHz以上まで対応しているものを使用していますか。 ● 契約が必要なチャンネルは、契約しないと見られません。 ● 110度CSデジタル放送は、周波数が高いため従来のBSの配線設備では見られないことがあります。 	
急に画像や音質が少し悪くなった。	<ul style="list-style-type: none"> ● 降雨対応放送になっていませんか。 →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。 	118

BS・110度CSアンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な受信障害

- BS放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、アンテナに雪が付着すると電波が弱くなり、一時的に画面にモザイク状のノイズが入ったり、映像が停止したり、音声がとぎれたり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。

■ USB-HDD

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
USB-HDDが認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 最低容量(64GB)未満、最大容量(4TB)を超えるUSB-HDDが接続されていませんか。→最低容量以上、最大容量以下のUSB-HDDを接続ください。 	
録画できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「録画禁止」番組を録画していませんか。 ● USB-HDDの容量や番組数がいっぱいになっていませんか。→不要な番組を消去するか、別のUSB-HDDに録画してください。 ● バスパワー型のUSB-HDDは動作保証外です。セルフパワー型のUSB-HDDをご使用ください。 ● USB端子は奥までしっかり挿入されていますか。 ● USB-HDDの電源が切れていませんか。 ● USB-HDDの接続ケーブルはしっかり接続されていますか。 	
録画予約できない。録画予約した番組が録画されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電があったときは、正しく録画されません。(「テレビからのお知らせ」で確認できます。) ● 初期化(フォーマット)、ダウンロード更新など、中断できない動作中は、予約録画できません。 ● バスパワー型のUSB-HDDは動作保証外です。セルフパワー型のUSB-HDDをご使用ください。 ● USB-HDDの電源が切れていませんか。 	
番組の最初から再生が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 続き再生になっていませんか。 	99
番組の消去ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 番組が保護されている場合は、消去はできません。→番組の保護設定を解除してください。 ● 録画中は番組の消去はできません。 	101
消去番組を元に戻せない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 消去された内容は、元に戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、消去してください。 	
初期化(再フォーマット)した内容を元に戻せない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 初期化(再フォーマット)して消去された内容は、元に戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、初期化してください。 	

メッセージ表示一覧

本機では、お知らせで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて画面中央に「メッセージ」が表示されます。代表的なメッセージと意味については下記の通りです。

メッセージ	コード番号	メッセージの意味	参照ページ
miniB-CASカードを正しく挿入してください。	—	<ul style="list-style-type: none"> ● miniB-CASカードが挿入されていません。miniB-CASカードを正しく挿入してください。miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。 	19
このチャンネルは存在しません。	E204	<ul style="list-style-type: none"> ● チャンネル3桁入力選局で、放送されていないチャンネルが入力されています。 	32
地上デジタル放送を受信するためには「メニュー」→「放送受信設定」→「かんたん一括設定」でチャンネルスキャンを行ってください。	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 地上デジタル放送を受信するために、「放送受信設定」で、「かんたん一括設定」を行ってください。 	72
放送を受信できません。	E202	<ul style="list-style-type: none"> ● 地上デジタル放送の「地上デジタル設定」で、「再スキャン」を行ってください。 ● アンテナレベルが低くて受信できません。アンテナの向きや接続を確認してください。また、放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。 	72、73
悪天候などにより、降雨対応放送に切り換えました。	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示ができない場合もあります。 	118
このチャンネルは契約されていません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 未契約の有料番組を選んでいるか、未契約の映像・音声の信号を選んでいます。 	106
このデータ放送は対象地域外のため、ご覧になれません。	—	<ul style="list-style-type: none"> ● データ放送が地域制限などによって視聴できない場合があります。 	
このminiB-CASカードは使用できません。カスタマーセンターへご連絡ください。	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用できないカードが挿入されています。miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。 	19
このminiB-CASカードは使用できません。正しいminiB-CASカードを挿入してください。	—	<ul style="list-style-type: none"> ● カードが故障しているか、間違ったカードを挿入しています。miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。 	19、105
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	<ul style="list-style-type: none"> ● 選局したチャンネルが非放送番組です。 	
このチャンネルは現在放送されていません。	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 選局したチャンネルが放送休止中です。 	
この受信機では、このチャンネルは選局できません。	E210	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機では選局できないチャンネルです。 	
データ放送を受信できません。別のチャンネルを選局した後に再度ご覧のチャンネルを選局してください。	—	<ul style="list-style-type: none"> ● データ放送のデータが受信できません。一旦、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。 	
データの表示ができませんでした。別のチャンネルを選局した後に再度ご覧のチャンネルを選局してください。	—	<ul style="list-style-type: none"> ● データ放送のデータが受信できません。一旦、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。 	

お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず電源プラグを抜いてください。

液晶パネル

液晶画面には、映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために特殊な表面処理を施しています。誤ったお手入れをした場合は、画面を損傷する原因にもなりますので次のことを必ずお守りください。

- 表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭きとってください。また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。ホコリのついた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面が剥がれることがあります。
 - 画面の清掃には、水、イソプロピルアルコール、ヘキサンをご使用ください。研磨剤が入った洗剤は、表面を傷つけるので使用しないでください。アセトンなどのケトン系、エチルアルコール、トルエン、エチル酸、塩化メチルは、画面に永久的な損傷を起こす可能性がありますので、クリーナーの成分には十分ご注意ください。酸やアルカリもお避けください。
 - 水滴や溶剤などがかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
 - 清掃目的以外（静電気防止など）でも画面に溶剤などを使用されますと画面の光沢ムラなどになることがあります。ムラなどになった場合は、水ですぐに拭き取ってください。
- ※表面は傷つきやすいので硬いもので押ししたり、こすったり、叩いたりしないように、取り扱いには十分ご注意ください。画面についたキズは修理できません。
- ※手指で触れる、などにより表面が汚れることのないように十分にご注意ください。

キャビネット

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげたりする原因になります。
【化学ぞうきんご使用の際はその注意書に従ってください】



- 柔らかい布で軽くふきとってください。特にパネルのまわりは傷つきやすいので、メガネふきなどの柔らかい布でふきとってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞りふいてください。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってテレビ内部に浸入すると故障の原因になります。

電源プラグ

- ほこりなどは定期的にとってください。電源プラグにほこりがついたり、コンセントの挿し込みが不完全だったりすると、火災の原因になります。

内部

掃除は、販売店に依頼してください。

- 1年に一度くらいを目安にしてください。内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。

アイコン一覧

デジタル放送では、アイコン（機能表示のシンボルマーク）によって画面表示の情報をお知らせします。放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

■ 番組表・番組内容

アイコン	アイコンの意味
	番組の映像信号情報 上:画面の縦横比 下:信号方式
	有料放送 未契約
	有料放送 契約済み
	無料放送
 ~ 	4歳から視聴可能 ~ 20歳から視聴可能
	モノラル音声
	主+副 音声
	マルチ放送 (映像や音声などが複数あり、切り換えできる番組)

アイコン	アイコンの意味
	ステレオ音声
	マルチチャンネル音声
	字幕有り
	録画予約済み番組
	視聴予約済み番組

用語の説明

緊急警報放送

緊急警報放送とは、電波法施行規則第2条で規定する緊急警報信号を使用して、地震など大規模災害が発生した場合や、津波警報が発表された場合など、災害の発生に伴う被害の予防や軽減に役立たせることを目的とした放送です。

降雨対応放送

衛星放送では、雨の影響で電波が弱くなったとき急激に画質が劣化することがあります。

BSデジタル放送では、最低限必要な情報は電波が弱くても受信できるようなデータを送ることができます。

降雨対応放送が行われている場合は、電波が弱くなると引き続き受信できるように降雨対応放送へ自動的に切り換わります。降雨対応放送では少し画質、音質が悪くなり、番組情報などのデータも表示されない場合があります。

サラウンド

デジタル放送では、AAC方式の最大5.1チャンネルサラウンド音声の番組も行われ、臨場感ある音声をお楽しみいただけます。
[5.1チャンネル:5チャンネルステレオ+低域強調チャンネル]

多チャンネル放送

デジタル放送では、デジタル圧縮技術により、多くのチャンネルで放送されています。

CSデジタル放送では200チャンネルを超える多チャンネル放送が行われています。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることなどができます。例えば、お客様の住んでいる所の天気予報をいつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

その他、通信回線を使用する視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向（インタラクティブ）サービスなどがあります。

デジタルハイビジョン

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送には、デジタルハイビジョン放送があります。ハイビジョンの映像は標準画質映像の画面アスペクト比4:3に対し、16:9で構成されており、有効走査線数は1080本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。

デジタル放送

デジタル放送の特長

- ・高画質・高音質
- ・1つの放送電波に複数のチャンネルを送ることができる
- ・映像や音声だけでなく、文字や図形なども送ることができる

デジタル放送の方式

このテレビは、次のデジタル放送の方式に対応しています。

映像フォーマット	有効走査線数	総走査線数	走査方式
480i(525i)	480本	525本	インターレース(飛び越し走査)
480p(525p)	480本	525本	プログレッシブ(順次走査)
1080i(1125i)	1080本	1125本	インターレース(飛び越し走査)
720p(750p)	720本	750本	プログレッシブ(順次走査)

電子番組ガイド(EPG : Electronic Program Guide)

番組表のことをいいます。8日分の番組情報が送られてくるので、番組表から番組を選んだり、番組の詳細情報を見たりすることができます。本機では、Gガイドを利用して番組表を表示しています。

マルチビュー放送

マルチビュー放送では、1チャンネルで主番組、副番組の複数映像を放送します。例えば、野球放送の場合は、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送を行う、などが考えられます。

ADSL モデム

本機やパソコンなどをADSL回線に接続する際に必要となる信号変換機です。公衆電話回線網を通じて送られてくるADSL信号とイーサネットの信号を相互間で変換して通信させるデータ回線装置のことです。

ARC(オーディオリターンチャンネル)

テレビとAVアンプをHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能で、光デジタルケーブルが不要になります。テレビもAVアンプもARCに対応している必要があります。

CATVパススルー対応

CATV(ケーブルテレビ)で地上デジタル放送を伝送する方式のうちには、UHF以外の周波数帯域に変換して伝送する方式があります。これを周波数変換パススルー方式と呼びます。この方式での地上デジタル放送を受信するためには【CATVパススルー対応】の受信機が必要です。

DTS TruSurround™

DTS TruSurround™は、TVのスピーカーを通して、豊かな重低音、伸びやかな高音、明瞭な台詞と共に、真の臨場感あふれるサラウンド体験を実現します。

HDMI(High Definition Multimedia Interface)

ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、DVDプレーヤーなどと接続できるAV用のデジタルインターフェースです。

映像信号と音声信号、制御信号を1本のケーブルで接続できます。

HDMI-CEC

HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)は、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

MPEG-2 AAC

MPEGは、Moving Picture Experts Groupの略称です。

MPEG-2は、通信・放送・コンピュータ業界で汎用的に使えることをめざして1994年11月に制定され、動画のコマ間の情報差だけを記録する方式で大幅なデータ圧縮を実現しています。

AACは、Advanced Audio Codingの略称で、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD並の音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5ch+低域強調チャンネル(ウーハー)のサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

PCM

Pulse Code Modulationの略称でCDなどで使われているデジタル信号です。

著作権などについて

■商標・登録商標について

- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
Gガイドは、米国TiVo Corporationおよび/またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国TiVo Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- SVGA、XGA、SXGAは米国IBM社の登録商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>.
Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS TruSurround is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront、NetFrontロゴは日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。© 2018 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.



なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されています。それぞれ当社または第三者の著作権が存在します。

- 本製品は、FreeTypeを使用しています。
Portions of this software are copyright (C) 1996-2000 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
- 本製品は、OpenSSLを使用しています。
OpenSSL License
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)
Original SSLeay License
This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com)
- 本製品は、ntupdateを使用しています。
Copyright (C) University of Delaware 1992-2009
Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

- 本製品は、libxml2を使用しています。
libxml2 is free software available under the MIT License.
The MIT License
Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Right Reserved.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

本製品には、以下のオープンソースのソフトウェアが搭載されています。

- 第三者の著作権が存在し、フリーソフトウェアとして配布されるソフトウェア
- GNU General Public License (以下、GPL) に基づき利用許諾されるソフトウェア
- GNU Lesser General Public License (以下、LGPL) に基づき利用許諾されるソフトウェア

本製品に組み込まれたGPLおよびLGPLのオープンソースのソフトウェアは、以下に記載のGPLおよびLGPLの条件によりソースコードの入手、再配布の権利があります。組み込まれたGPLおよびLGPLのオープンソースのソフトウェア・リストおよびソースコードの入手方法については、下記にご連絡ください。

〒574-0013

大阪府大東市中垣内7丁目7番1号 船井電機株式会社
なお、オープンソースのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

当社または第三者が著作権を持つソフトウェアについては、ソースコードの配布対象ではありません。

This product uses some open source software: GPL software:linux, gcc, binutils, busybox, u-boot, ethtool, iproute2, initscripts, attr, e2fsprogs, util-linux-ng, libcap, FreeType, LGLP software:directfb, glibc, libiconv MIT/X:ncurses, popt BSD:strace, netkit-telnet, xinetd zlib/libpng License:zlib, libpng libjpeg license:LibJPEG SGI FREE SOFTWARE LICENSE B :OpenSSL

GPL

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it. For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered

independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free

著作権などについて (つづき)

Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the program's name and an idea of what it does. Copyright (C) yyyy name of author

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA. Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yooyodnyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

If you are interested in obtaining GPL source code used in this product, please contact

LGPL

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for

all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is

not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- The modified work must itself be a software library.
- You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the

user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

- Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

- Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

- If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

- Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

- Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or

著作権などについて (つづき)

concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY AS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.> Copyright (C)
<year> <name of author>
```

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

```
<signature of Ty Coon>, 1 April 1990 Ty Coon, President of Vice
That's all there is to it!
```

If you are interested in obtaining LGPL source code used in this product, please contact

ncurses

Copyright (C) 1998-2004,2006 Free Software Foundation, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the Software), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

popt

Copyright (C) 1998 Red Hat Software

BSD

Copyright (C) 2003-2010, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

zlib/libpng License

zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.3, July 18th, 2005 Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler

jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

The data format used by the zlib library is described by RFCs (Request for Comments) 1950 to 1952 in the files <http://www.ietf.org/rfc/rfc1950.txt> (zlib format), [rfc1951.txt](http://www.ietf.org/rfc/rfc1951.txt) (deflate format) and [rfc1952.txt](http://www.ietf.org/rfc/rfc1952.txt) (gzip format).

OpenSSL

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (C) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL

Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project
for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscape's SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

MPL

MOZILLA PUBLIC LICENSE Version 1.1

1. Definitions.
 - 1.0.1. "Commercial Use" means distribution or otherwise making the Covered Code available to a third party.
 - 1.1. "Contributor" means each entity that creates or contributes to the creation of Modifications.
 - 1.2. "Contributor Version" means the combination of the Original Code, prior Modifications used by a Contributor, and the Modifications made by that particular

Contributor.

1.3. "Covered Code" means the Original Code or Modifications or the combination of the Original Code and Modifications, in each case including portions thereof.

1.4. "Electronic Distribution Mechanism" means a mechanism generally accepted in the software development community for the electronic transfer of data.

1.5. "Executable" means Covered Code in any form other than Source Code.

1.6. "Initial Developer" means the individual or entity identified as the Initial Developer in the Source Code notice required by Exhibit A.

1.7. "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.8. "License" means this document.

1.8.1. "Licensable" means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently acquired, any and all of the rights conveyed herein.

1.9. "Modifications" means any addition to or deletion from the substance or structure of either the Original Code or any previous Modifications. When Covered Code is released as a series of files, a Modification is:

A. Any addition to or deletion from the contents of a file containing Original Code or previous Modifications.

B. Any new file that contains any part of the Original Code or previous Modifications.

1.10. "Original Code" means Source Code of computer software code which is described in the Source Code notice required by Exhibit A as Original Code, and which, at the time of its release under this License is not already Covered Code governed by this License.

1.10.1. "Patent Claims" means any patent claim(s), now owned or hereafter acquired, including without limitation, method, process, and apparatus claims, in any patent Licensable by grantor.

1.11. "Source Code" means the preferred form of the Covered Code for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an Executable, or source code differential comparisons against either the Original Code or another well known, available Covered Code of the Contributor's choice. The Source Code can be in a compressed or archival form, provided the appropriate decompression or de-archiving software is widely available for no charge.

1.12. "You" (or "Your") means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License or a future version of this License issued under Section 6.1. For legal entities, "You" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of more than fifty percent (50%) of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Source Code License.

2.1. The Initial Developer Grant. The Initial Developer hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, subject to third party intellectual property claims:

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Initial Developer to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Original Code (or portions thereof) with or without Modifications, and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patents Claims infringed by the making, using or selling of Original Code, to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the Original Code (or portions thereof).

(C) the licenses granted in this Section 2.1(a) and (b) are effective on the date Initial Developer first distributes Original Code under the terms of this License.

(d) Notwithstanding Section 2.1(b) above, no patent license is granted: 1) for code that You delete from the Original Code; 2) separate from the Original Code; or 3) for infringements caused by: i) the modification of the Original Code or ii) the combination of the Original Code with other software or devices.

2.2. Contributor Grant. Subject to third party intellectual property claims, each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Contributor, to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Modifications created by such Contributor (or portions thereof) either on an unmodified basis, with other Modifications, as Covered Code and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patent Claims infringed by the making, using, or selling of Modifications made by that Contributor either alone and/or in combination with its Contributor Version (or portions of such combination), to make, use, sell, offer for sale, have made, and/or otherwise dispose of: 1) Modifications made by that Contributor (or portions thereof); and 2) the combination of Modifications made by that Contributor with its Contributor Version (or portions of such combination).

(C) the licenses granted in Sections 2.2(a) and 2.2(b) are effective on the date Contributor first makes Commercial Use of the Covered Code.

(d) Notwithstanding Section 2.2(b) above, no patent license is granted: 1) for any code that Contributor has deleted from the Contributor Version; 2) separate from the Contributor Version; 3) for infringements caused by: i) third party modifications of Contributor Version or ii) the combination of Modifications made by that Contributor with other software (except as part of the Contributor Version) or other devices; or 4) under Patent Claims infringed by Covered Code in the absence of Modifications made by that Contributor.

著作権などについて (つづき)

3. Distribution Obligations.

3.1. Application of License.

The Modifications which You create or to which You contribute are governed by the terms of this License, including without limitation Section 2.2. The Source Code version of Covered Code may be distributed only under the terms of this License or a future version of this License released under Section 6.1, and You must include a copy of this License with every copy of the Source Code You distribute. You may not offer or impose any terms on any Source Code version that alters or restricts the applicable version of this License or the recipients' rights hereunder. However, You may include an additional document offering the additional rights described in Section 3.5.

3.2. Availability of Source Code.

Any Modification which You create or to which You contribute must be made available in Source Code form under the terms of this License either on the same media as an Executable version or via an accepted Electronic Distribution Mechanism to anyone to whom you made an Executable version available; and if made available via Electronic Distribution Mechanism, must remain available for at least twelve (12) months after the date it initially became available, or at least six (6) months after a subsequent version of that particular Modification has been made available to such recipients. You are responsible for ensuring that the Source Code version remains available even if the Electronic Distribution Mechanism is maintained by a third party.

3.3. Description of Modifications.

You must cause all Covered Code to which You contribute to contain a file documenting the changes You made to create that Covered Code and the date of any change. You must include a prominent statement that the Modification is derived, directly or indirectly, from Original Code provided by the Initial Developer and including the name of the Initial Developer in (a) the Source Code, and (b) in any notice in an Executable version or related documentation in which You describe the origin or ownership of the Covered Code.

3.4. Intellectual Property Matters

(a) Third Party Claims.

If Contributor has knowledge that a license under a third party's intellectual property rights is required to exercise the rights granted by such Contributor under Sections 2.1 or 2.2, Contributor must include a text file with the Source Code distribution titled "LEGAL" which describes the claim and the party making the claim in sufficient detail that a recipient will know whom to contact. If Contributor obtains such knowledge after the Modification is made available as described in Section 3.2, Contributor shall promptly modify the LEGAL file in all copies Contributor makes available thereafter and shall take other steps (such as notifying appropriate mailing lists or newsgroups) reasonably calculated to inform those who received the Covered Code that new knowledge has been obtained.

(b) Contributor APIs.

If Contributor's Modifications include an application programming interface and Contributor has knowledge of patent licenses which are reasonably necessary to implement that API, Contributor must also include this information in the LEGAL file.

(c) Representations.

Contributor represents that, except as disclosed pursuant to Section 3.4(a) above, Contributor believes that Contributor's Modifications are Contributor's original creation(s) and/or Contributor has sufficient rights to grant the rights conveyed by this License.

3.5. Required Notices.

You must duplicate the notice in Exhibit A in each file of the Source Code. If it is not possible to put such notice in a particular Source Code file due to its structure, then You must include such notice in a location (such as a relevant directory) where a user would be likely to look for such a notice. If You created one or more Modification(s) You may add your name as a Contributor to the notice described in Exhibit A. You must also duplicate this License in any documentation for the Source Code where You describe recipients' rights or ownership rights relating to Covered Code. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of the Initial Developer or any Contributor. You must make it absolutely clear that any such warranty, support, indemnity or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer.

3.6. Distribution of Executable Versions.

You may distribute Covered Code in Executable form only if the requirements of Section 3.1-3.5 have been met for that Covered Code, and if You include a notice stating that the Source Code version of the Covered Code is available under the terms of this License, including a description of how and where You have fulfilled the obligations of Section 3.2. The notice must be conspicuously included in any notice in an Executable version, related documentation or collateral in which You describe recipients' rights relating to the Covered Code. You may distribute the Executable version of Covered Code or ownership rights under a license of Your choice, which may contain terms different from this License, provided that You are in compliance with the terms of this License and that the license for the Executable version does not attempt to limit or alter the recipient's rights in the Source Code version from the rights set forth in this License. If You distribute the Executable version under a different license You must make it absolutely clear that any terms which differ from this License are offered by You alone, not by the Initial Developer or any Contributor. You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of any such terms You offer.

3.7. Larger Works.

You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In such a case, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code.

4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation.

If it is impossible for You to comply with any of the terms of this License with respect to some or all of the Covered Code due to statute, judicial order, or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be included in the LEGAL file described in Section 3.4 and must be included with all distributions of the Source Code. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

5. Application of this License.

This License applies to code to which the Initial Developer has attached the notice in Exhibit A and to related Covered Code.

6. Versions of the License.

6.1. New Versions.

Netscape Communications Corporation ("Netscape") may publish revised and/or new versions of the License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.

6.2. Effect of New Versions.

Once Covered Code has been published under a particular version of the License, You may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Covered Code under the terms of any subsequent version of the License published by Netscape. No one other than Netscape has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

6.3. Derivative Works.

If You create or use a modified version of this License (which you may only do in order to apply it to code which is not already Covered Code governed by this License), You must (a) rename Your license so that the phrases "Mozilla", "MOZILLAPL", "MOZPL", "Netscape", "MPL", "NPL" or any confusingly similar phrase do not appear in your license (except to note that your license differs from this License) and (b) otherwise make it clear that Your version of the license contains terms which differ from the Mozilla Public License and Netscape Public License. (Filling in the name of the Initial Developer, Original Code or Contributor in the notice described in Exhibit A shall not of themselves be deemed to be modifications of this License.)

7. DISCLAIMER OF WARRANTY.

COVERED CODE IS PROVIDED UNDER THIS LICENSE ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES THAT THE COVERED CODE IS FREE OF DEFECTS, MERCHANTABILITY, FIT FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE COVERED CODE IS WITH YOU. SHOULD ANY COVERED CODE PROVE DEFECTIVE IN ANY RESPECT, YOU (NOT THE INITIAL DEVELOPER OR ANY OTHER CONTRIBUTOR) ASSUME THE COST OF ANY NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF ANY COVERED CODE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER.

8. TERMINATION.

8.1. This License and the rights granted hereunder will terminate automatically if You fail to comply with terms herein and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of the breach. All sublicenses to the Covered Code which are properly granted shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, must remain in effect beyond the termination of this License shall survive.

8.2. If You initiate litigation by asserting a patent infringement claim (excluding declaratory judgment actions) against Initial Developer or a Contributor (the Initial Developer or Contributor against whom You file such action is referred to as "Participant") alleging that:

(a) such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent, then any and all rights granted by such Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 of this License shall, upon 60 days notice from Participant terminate prospectively, unless if within 60 days after receipt of notice You either: (i) agree in writing to pay Participant a mutually agreeable reasonable royalty for Your past and future use of Modifications made by such Participant, or (ii) withdraw Your litigation claim with respect to the Contributor Version against such Participant. If within 60 days of notice, a reasonable royalty and payment arrangement are not mutually agreed upon in writing by the parties or the litigation claim is not withdrawn, the rights granted by Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 automatically terminate at the expiration of the 60 day notice period specified above.

(b) any software, hardware, or device, other than such Participant's Contributor Version, directly or indirectly infringes any patent, then any rights granted to You by such Participant under Sections 2.1(b) and 2.2(b) are revoked effective as of the date You first made, used, sold, distributed, or had made, Modifications made by that Participant.

8.3. If You assert a patent infringement claim against Participant alleging that such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent where such claim is resolved (such as by license or settlement) prior to the initiation of patent

infringement litigation, then the reasonable value of the licenses granted by such Participant under Sections 2.1 or 2.2 shall be taken into account in determining the amount or value of any payment or license.

8.4. In the event of termination under Sections 8.1 or 8.2 above, all end user license agreements (excluding distributors and resellers) which have been validly granted by You or any distributor hereunder prior to termination shall survive termination.

9. LIMITATION OF LIABILITY.

UNDER NO CIRCUMSTANCES AND UNDER NO LEGAL THEORY, WHETHER TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), CONTRACT, OR OTHERWISE, SHALL YOU, THE INITIAL DEVELOPER, ANY OTHER CONTRIBUTOR, OR ANY DISTRIBUTOR OF COVERED CODE, OR ANY SUPPLIER OF ANY OF SUCH PARTIES, BE LIABLE TO ANY PERSON FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY CHARACTER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF GOODWILL, WORK STOPPAGE, COMPUTER FAILURE OR MALFUNCTION, OR ANY AND ALL OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, EVEN IF SUCH PARTY SHALL HAVE BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION OF LIABILITY SHALL NOT APPLY TO LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY RESULTING FROM SUCH PARTY'S NEGLIGENCE TO THE EXTENT APPLICABLE LAW PROHIBITS SUCH LIMITATION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS EXCLUSION AND LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

10. U.S. GOVERNMENT END USERS.

The Covered Code is a "commercial item," as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101 (Oct. 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept. 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

11. MISCELLANEOUS.

This License represents the complete agreement concerning subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. This License shall be governed by California law provisions (except to the extent applicable law, if any, provides otherwise), excluding its conflict-of-law provisions. With respect to disputes in which at least one party is a citizen of, or an entity chartered or registered to do business in the United States of America, any litigation relating to this License shall be subject to the jurisdiction of the Federal Courts of the Northern District of California, with venue lying in Santa Clara County, California, with the losing party responsible for costs, including without limitation, court costs and reasonable attorneys' fees and expenses. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not apply to this License.

12. RESPONSIBILITY FOR CLAIMS.

As between Initial Developer and the Contributors, each party is responsible for claims and damages arising, directly or indirectly, out of its utilization of rights under this License and You agree to work with Initial Developer and Contributors to distribute such responsibility on an equitable basis. Nothing herein is intended or shall be deemed to constitute any admission of liability.

13. MULTIPLE-LICENSED CODE.

Initial Developer may designate portions of the Covered Code as "Multiple-Licensed". "Multiple-Licensed" means that the Initial Developer permits you to utilize portions of the Covered Code under Your choice of the NPL or the alternative licenses, if any, specified by the Initial Developer in the file described in Exhibit A.

EXHIBIT A -Mozilla Public License.

"The contents of this file are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/MPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is _____.

The Initial Developer of the Original Code is _____.

Portions created by _____ are Copyright (C) _____

_____. All Rights Reserved.

Contributor(s): _____.

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the _____ license (the "[] License"), in which case the provisions of [] License are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of the [] License and not to allow others to use your version of this file under the MPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the [] License. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the MPL or the [] License."

[NOTE: The text of this Exhibit A may differ slightly from the text of the notices in the Source Code files of the Original Code. You should use the text of this Exhibit A rather than the text found in the Original Code Source Code for Your Modifications.]

LibJPEG

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

SGI_Free

SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 1.0 [1/25/2000])

1. Definitions.

- "Additional Notice Provisions" means such additional provisions as appear in the Notice in Original Code under the heading "Additional Notice Provisions."
- "API" means an application programming interface established by SGI in conjunction with the Original Code.
- "Covered Code" means the Original Code or Modifications or the combination of the Original Code and Modifications, in each case including portions thereof.
- "Hardware" means any physical device that accepts input, processes input, stores the results of processing, and/or provides output.
- "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.
- "Licensable" means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently acquired, any and all of the rights conveyed herein.
- "License" means this document.
- "Modifications" means any addition to the substance or structure of the Original Code and/or any addition to or deletion from previous Modifications. When Covered Code is released as a series of files, a Modification is:
 - Any addition to the contents of a file containing Original Code and/or any addition to or deletion from previous Modifications.
 - Any new file that contains any part of the Original Code or previous Modifications.
- "Notice" means any notice in Original Code or Covered Code, as required by and in compliance with this License.
- "Original Code" means source code of computer software code which is described in the source code Notice required by Exhibit A as Original Code, and updates and error corrections specifically thereto.
- "Recipient" means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License or a future version of this License issued under Section 8. For legal entities, "Recipient" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with Recipient. For purposes of this definition, "control" of an entity means (a) the power, direct or indirect, to direct or manage such entity, or (b) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.
- "SGI" means Silicon Graphics, Inc.

2. License Grant and Restrictions.

- License Grant. Subject to the provisions of this License and any third party intellectual property claims, for the duration of intellectual property protections inherent in the Original Code, SGI hereby grants Recipient a worldwide, royalty-free, non-exclusive license, to do the following: (i) under copyrights Licensable by SGI, to reproduce, distribute, create derivative works from, and, to the extent applicable, display and perform the Original Code alone and/or as part of a Larger Work; and (ii) under any patent claims Licensable by SGI and embodied in the Original Code, to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the Original Code. Recipient accepts the terms and conditions of this License by undertaking any of the aforementioned actions.
- Restriction on Patent License. Notwithstanding the provisions of Section 2.1(ii), no patent license is granted: 1) separate from the Original Code; nor 2) for infringements caused by (i) modification of the Original Code, or (ii) the combination of the Original Code with other software or Hardware.
- No License For Hardware Implementations. The licenses granted in Section 2.1 are not applicable to implementation in Hardware of the algorithms embodied in the Original Code.
- Modifications License and API Compliance. Modifications are only licensed under Section 2.1(i) to the extent such Modifications are fully compliant with any API as may be identified in Additional Notice Provisions as appear in the Original Code.

3. Redistributions.

A. Retention of Notice/Copy of License. The Notice set forth in Exhibit A, below, must be conspicuously retained or included in any and all redistributions of Covered Code. For distributions of the Covered Code in source code form, the Notice must appear in every file that can include a text comments field; in executable form, the Notice and a copy of this License must appear in related documentation or collateral where the Recipient's rights relating to Covered Code are described. Any Additional Notice Provisions which actually appears in the Original Code must also be retained or included in any and all redistributions of Covered Code.

B. Alternative License. Provided that Recipient is in compliance with the terms of this License, Recipient may distribute the source code and/or executable version(s) of Covered Code under (1) this License; (2) a license identical to this License but for only such changes as are necessary in order to clarify Recipient's role as licensor of Modifications, without derogation of any of SGI's rights; and/or (3) a license of Recipient's choosing, containing terms different from this License, provided that the license terms include this Section 3 and Sections 4, 6, 7, 10, 12, and 13, which terms may not be modified or superseded by any other terms of such license. If Recipient elects to use any license other than this License, Recipient must make it absolutely clear that any of its terms which differ from this License are offered by Recipient alone, and not by SGI.

C. Indemnity. Recipient hereby agrees to indemnify SGI for any liability incurred by SGI as a result of any such alternative license terms Recipient offers.

著作権などについて (つづき)

4. Termination. This License and the rights granted hereunder will terminate automatically if Recipient breaches any term herein and fails to cure such breach within 30 days thereof. Any sublicense to the Covered Code that is properly granted shall survive any termination of this License, absent termination by the terms of such sublicense. Provisions that, by their nature, must remain in effect beyond the termination of this License, shall survive.

5. No Trademark Or Other Rights. This License does not grant any rights to: (i) any software apart from the Covered Code, nor shall any other rights or licenses not expressly granted hereunder arise by implication, estoppel or otherwise with respect to the Covered Code; (ii) any trade name, trademark or service mark whatsoever, including without limitation any related right for purposes of endorsement or promotion of products derived from the Covered Code, without prior written permission of SGI; or (iii) any title to or ownership of the Original Code, which shall at all times remain with SGI. All rights in the Original Code not expressly granted under this License are reserved.

6. Compliance with Laws; Non-Infringement. Recipient hereby assures that it shall comply with all applicable laws, regulations, and executive orders, in connection with any and all dispositions of Covered Code, including but not limited to, all export, re-export, and import control laws, regulations, and executive orders, of the U.S. government and other countries. Recipient may not distribute Covered Code that (i) in any way infringes (directly or contributorily) the rights (including patent, copyright, trade secret, trademark or other intellectual property rights of any kind) of any other person or entity or (ii) breaches any representation or warranty, express, implied or statutory, to which, under any applicable law, it might be deemed to have been subject.

7. Claims of Infringement. If Recipient learns of any third party claim that any disposition of Covered Code and/or functionality wholly or partially infringes the third party's intellectual property rights, Recipient will promptly notify SGI of such claim.

8. Versions of the License. SGI may publish revised and/or new versions of the License from time to time, each with a distinguishing version number. Once Covered Code has been published under a particular version of the License, Recipient may, for the duration of the license, continue to use it under the terms of that version, or choose to use such Covered Code under the terms of any subsequent version published by SGI. Subject to the provisions of Sections 3 and 4 of this License, only SGI may modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

9. DISCLAIMER OF WARRANTY. COVERED CODE IS PROVIDED "AS IS." ALL EXPRESS AND IMPLIED WARRANTIES AND CONDITIONS ARE DISCLAIMED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY IMPLIED WARRANTIES AND CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, SATISFACTORY QUALITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, AND NON-INFRINGEMENT. SGI ASSUMES NO RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE SOFTWARE. SHOULD THE SOFTWARE PROVE DEFECTIVE IN ANY RESPECT, SGI ASSUMES NO COST OR LIABILITY FOR SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY IS AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF ANY COVERED CODE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT SUBJECT TO THIS DISCLAIMER.

10. LIMITATION OF LIABILITY. UNDER NO CIRCUMSTANCES NOR LEGAL THEORY, WHETHER TORT (INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, NEGLIGENCE OR STRICT LIABILITY), CONTRACT, OR OTHERWISE, SHALL SGI OR ANY SGI LICENSOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY CHARACTER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF GOODWILL, WORK STOPPAGE, LOSS OF DATA, COMPUTER FAILURE OR MALFUNCTION, OR ANY AND ALL OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, EVEN IF SUCH PARTY SHALL HAVE BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION OF LIABILITY SHALL NOT APPLY TO LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY RESULTING FROM SGI'S NEGLIGENCE TO THE EXTENT APPLICABLE LAW PROHIBITS SUCH LIMITATION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THAT EXCLUSION AND LIMITATION MAY NOT APPLY TO RECIPIENT.

11. Indemnity. Recipient shall be solely responsible for damages arising, directly or indirectly, out of its utilization of rights under this License. Recipient will defend, indemnify and hold harmless Silicon Graphics, Inc. from and against any loss, liability, damages, costs or expenses (including the payment of reasonable attorneys fees) arising out of Recipient's use, modification, reproduction and distribution of the Covered Code or out of any representation or warranty made by Recipient.

12. U.S. Government End Users. The Covered Code is a "commercial item" consisting of "commercial computer software" as such terms are defined in title 48 of the Code of Federal Regulations and all U.S. Government End Users acquire only the rights set forth in this License and are subject to the terms of this License.

13. Miscellaneous. This License represents the complete agreement concerning the its subject matter. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed so as to achieve as nearly as possible the same legal and economic effect as the original provision and the remainder of this License will remain in effect. This License shall be governed by and construed in accordance with the laws of the United States and the State of California as applied to agreements entered into and to be performed entirely within California between California residents. Any litigation relating to this License shall be subject to the exclusive jurisdiction of the Federal Courts of the Northern District of California (or, absent subject matter jurisdiction in such courts, the courts of the State of California), with venue lying exclusively in Santa Clara County, California, with the losing party responsible for costs, including without limitation, court costs and reasonable attorneys fees and expenses. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not apply to this License.

Exhibit A

License Applicability. Except to the extent portions of this file are made subject to an alternative license as permitted in the SGI Free Software License B, Version 1.0 (the "License"), the contents of this file are subject only to the provisions of the License. You may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at Silicon Graphics, Inc., attn: Legal Services, 1600 Amphitheatre Parkway, Mountain View, CA 94043-1351, or at:

<http://oss.sgi.com/projects/FreeB>

Note that, as provided in the License, the Software is distributed on an "AS IS" basis, with ALL EXPRESS AND IMPLIED WARRANTIES AND CONDITIONS DISCLAIMED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY IMPLIED WARRANTIES AND CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, SATISFACTORY QUALITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, AND NON-INFRINGEMENT.

Original Code. The Original Code is: [name of software, version number, and release date], developed by Silicon Graphics, Inc. The Original Code is Copyright (C) [dates of first publication, as appearing in the Notice in the Original Code] Silicon Graphics, Inc. Copyright in any portions created by third parties is as indicated elsewhere herein. All Rights Reserved.

Additional Notice Provisions: [such additional provisions, if any, as appear in the Notice in the Original Code under the heading "Additional Notice Provisions"]

ijgjpeg

ライセンス条件 ----- LEGAL ISSUES

=====

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy. This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
- (2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
- (3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by

patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.) So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce uncompressed GIFs. This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

"The Graphics Interchange Format(C) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

libpng

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.6.21, January 15, 2016, are Copyright (C) 2000-2002, 2004, 2006-2016 Glenn Randers-Pehrson, are derived from libpng-1.0.6, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Mans Rullgard
Cosmin Truta
Gilles Vollant
James Yu

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (C) 1998-2000 Glenn Randers-Pehrson, are derived from libpng-0.96, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (C) 1996-1997 Andreas Dilger, are derived from libpng-0.88, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (C) 1995-1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

END OF COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s", png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31)" and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative. OSI has not addressed the additional disclaimers inserted at version 1.0.7.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
15-Jan-16

zlib

```
/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library  
version 1.2.8, April 28th, 2013
```

Copyright (C) 1995-2013 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

```
*/
```

あ

アイコン……………118
 明るさ……………60
 暗証番号……………67～69
 アンテナ電源……………76
 アンテナの接続……………20～22
 アンテナレベル……………49, 75, 76
 一時停止 (ボタン)……………15, 100
 イベントリレー……………95
 今すぐ録画……………93
 色あい……………60
 色温度……………60
 色の濃さ……………60
 色ボタン……………14
 映像切換……………46
 映像モード (切換)……………59
 お知らせ・情報 (メニュー)……………47, 48
 おやすみタイマー (ボタン)……………15, 34
 音質設定の初期化……………86
 音声切換 (ボタン)……………15, 34
 音声設定……………62～65
 音声モード (切換)……………63
 音量 (ボタン)……………12, 14, 32

か

画質設定……………59～61
 画質設定の初期化……………86
 画面設定……………71
 画面表示 (ボタン)……………15, 35, 99
 画面モード……………36, 37
 かんたん一括設定……………30, 31, 72
 機能LED……………12
 機能設定の初期化……………86
 緊急警報放送……………84, 118
 クイック起動……………84
 黒レベル……………60
 決定ボタン……………14, 44
 県域設定……………78
 降雨対応放送……………118
 高音……………62, 63
 困ったときは……………111～115
 コントラスト……………60
 コントロール部……………12
 コンポーネント映像……………23

さ

サービス切換……………33
 再スキャン……………72, 73
 再生 (ボタン)……………15, 99
 左右バランス……………62, 63
 サラウンド……………118
 時刻指定予約……………55, 96
 視聴制限設定……………67, 68
 視聴予約……………53～58
 字幕 (ボタン)……………15, 35
 シャープネス……………60
 受信状況の確認……………49, 75
 省エネ設定……………66
 消音 (ボタン)……………14
 初期スキャン……………72, 73
 数字ボタン……………14, 32, 74
 スタンド……………18, 107
 スピーカー出力……………65
 すべての初期化……………86
 制限設定……………67～69
 静止画……………47

接続機器設定……………70
 設定初期化……………86, 87
 設定 (メニュー)……………44, 45, 59～87
 側面端子入力……………13
 その他の設定……………80～85

た

ダウンロード……………85
 多チャンネル放送……………118
 地上デジタルアンテナ入力端子……………13, 20
 ～22
 地上デジタル放送……………32, 105
 地上デジタルボタン……………14, 32
 チャンネルスキップ……………75
 チャンネル設定……………72～75
 チャンネル▲▼ボタン……………12, 14, 32
 注目番組一覧……………42
 低音……………62, 63
 停止 (ボタン)……………15, 93, 99, 100
 データ放送……………33, 118
 デジタル音声出力設定……………64, 65
 デジタルハイビジョン……………119
 デジタル放送……………105, 106, 119
 テレビからのお知らせ……………47
 テレビ操作 (メニュー)……………44, 45
 電源 (ボタン)……………12, 14, 29, 32
 電源LED……………12
 電子番組ガイド (EPG)……………119

な

入力切換 (ボタン)……………12, 14, 34
 ネットワーク接続設定……………80～83
 ネットワーク設定の初期化……………86
 ノイズ低減……………60

は

早送り (ボタン)……………15, 100
 早戻し (ボタン)……………15, 100
 番組検索 (ジャンル/出演者)……………41
 番組検索からの予約……………54
 番組内容……………15, 43
 番組表 (ボタン)……………14, 38～42
 番組表からの予約……………54
 番組表設定……………79
 ぴったり音量……………64
 ビデオ入力端子……………13, 23
 付属品……………17
 ヘッドホン音量……………46
 ヘッドホン出力……………65
 ヘッドホン端子……………13
 放送局からのお知らせ……………47
 放送受信設定……………72～79
 放送波による自動更新……………85

ま

マルチビュー放送……………46, 119
 無信号電源オフ……………66
 無操作電源オフ……………66
 メニュー (ボタン)……………12, 14, 44
 文字スーパー……………77
 戻るボタン……………14, 44

や

郵便番号設定……………78
 予約一覧……………57, 97

ら

リモコン受光部……………12, 14
 リモコンの準備……………17
 録画 (ボタン)……………14, 93
 録画一覧 (ボタン)……………15, 99
 録画一覧 (メニュー)……………44, 45, 99
 録画番組の消去……………102
 録画番組の全消去……………103
 録画予約……………94～98

A、B、C・・・

AAC (MPEG-2 AAC)……………119
 ADSL モデム……………27, 119
 ARC (オーディオリターンチャンネル)……………25, 70, 119
 BS・110 度 CS-IF 入力端子……………13, 21
 BS デジタル放送……………32, 33, 106
 BS ボタン……………14, 32
 BS ラジオ放送……………33
 CATV (ケーブルテレビ) 放送……………22
 CATV パススルー対応……………119
 CS ボード……………48
 CS ボタン……………14, 32
 DTS TruSurround™……………64, 119
 d データボタン……………14, 33
 EPG (電子番組ガイド)……………119
 HDMI……………119
 HDMI-CEC……………24, 50, 70, 119
 HDMI 映像・音声入力端子……………13, 23, 24, 25
 LAN 端子……………13, 26, 27
 miniB-CAS カード……………19, 105
 miniB-CAS カード情報……………48
 MPEG-2 AAC……………119
 PCM……………25, 64, 119
 USB-HDD について……………88～90
 USB-HDD の初期化……………104
 USB-HDD の登録……………91, 92
 USB-HDD の登録解除……………104
 USB-HDD の取り付け……………28
 USB-HDD の取りはずし……………28

1、2、3・・・

3 桁入力……………14, 32
 110 度 CS デジタル放送……………32, 33, 106

記号

▲▼◀▶ボタン……………14, 44

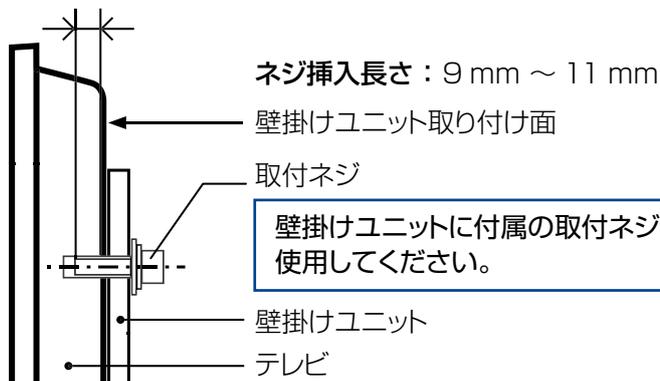
壁掛けユニット取り付け時について



壁掛けユニット（市販品）取り付け時の注意

- 壁掛け工事は必ず専門業者に依頼してください。
- 壁掛けの場合は、通風孔からの空気の流れにより、壁を汚す原因となる場合があります。
- 壁掛け工事が不完全ですと、けがの原因になります。
- 壁掛けユニット（市販品）を取り付ける際は、壁掛けユニットに付属の取付ネジを使用してください。
- 壁掛けユニットに付属の取付ネジ以外は使用しないでください。
- 壁掛けユニット取り付け面からのネジ挿入長さは下図のように設定されています。
- 必ず設定範囲内の長さのネジを使用して取り付けてください。
- ケーブルの端子形状／サイズによっては壁面と干渉しご使用できません。設置前にご確認ください。

ネジ挿入長さ



取り付け部断面図の一例

注意

ネジの長さが短すぎるとテレビの重さを維持することができず、落下してけがの原因となることがあります。また、長すぎるとネジを完全に締めることができません。壁掛けユニット取り付け面からのネジの長さは非常に重要です。

※ 本機に対応する壁掛けユニットについては、当社のホームページ (funai.jp/cs/) でご確認ください。

取扱説明書を読んでも使いかたがわからないときや、困ったときは・・・

まずは、お買い上げの販売店へお問い合わせいただくか、
船井電機 お客様サポートサイト funai.jp/cs/
をご覧ください。製品の取扱いに関するお役立ち情報が満載です。



● 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、当社の窓口へお問い合わせください。

船井電機 お客様ご相談窓口

 **0120-055-271** (通話料
無 料)

受付時間 9:00~18:00
(年末年始を除く)

※時間帯によっては、お電話が混み合っつながりにくいことがあります。あらかじめご了承ください。
※FAXをご利用の方は、こちらまで FAX: 06-6746-3374

オンラインショッピングのご案内

リモコンなどの付属品をご購入いただけます。
お気軽にご利用ください。

船井サービス ONLINE SHOP



<http://www.funai-service.co.jp/shop/>

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。(2018年10月現在)



船井電機株式会社

AB82CJT-40FX
AB8F6JT-32HB
AB8F5JT-32HL
AB8L1JT-24HX

★★